

番号-所属	番号-通番	事業名	担当課名
660010	1	休日の部活動の段階的な地域移行(休日の地域クラブ活動)推進事業(地域指導者配置)	ぎふ魅力づくり推進政策課
660010	2	休日の部活動の段階的な地域移行(休日の地域クラブ活動)推進事業(岐阜市中学校部活動地域移行検討委員会)	ぎふ魅力づくり推進政策課
660020	1	GIFUナイトビュー事業(岐阜城パノラマ夜景)	観光コンベンション課
660020	2	GIFUナイトビュー事業(灯り物語)	観光コンベンション課
660020	3	岐阜市まちなか博士育成・まちなか案内人活動支援事業	観光コンベンション課
660020	4	シェアサイクル事業	観光コンベンション課
660020	5	フォトツーリズム推進事業	観光コンベンション課
660020	6	ロケツーリズム推進事業	観光コンベンション課
660020	7	クアオルトぎふの魅力づくり	観光コンベンション課
660020	8	笑いと感動のまちづくり事業	観光コンベンション課
660020	9	岐阜観光コンベンション協会運営負担金(コンベンション推進)	観光コンベンション課
660020	10	岐阜観光コンベンション協会運営負担金(観光振興)	観光コンベンション課
660020	11	岐阜・下呂・郡上観光宣伝協議会	観光コンベンション課
660020	12	東海地区外国人観光客誘致促進協議会	観光コンベンション課
660020	13	外国人観光客誘客受入環境整備推進事業	観光コンベンション課
660020	14	境川ふれあい夏祭り花火大会負担金	観光コンベンション課
660020	15	長良川流域観光推進協議会	観光コンベンション課
660020	16	日本観光振興協会負担金	観光コンベンション課
660020	17	岐阜県観光連盟負担金	観光コンベンション課
660020	18	ぎふ長良川花火大会負担金	観光コンベンション課
660020	19	道の駅柳津交流センター運営管理	観光コンベンション課
660020	20	長良川うかいミュージアム(岐阜市長良川鶺鴒伝承館)運営管理	観光コンベンション課
660020	21	長良川国際会議場運営管理	観光コンベンション課
660020	22	じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター)運営管理	観光コンベンション課
660020	23	岐阜城運営管理	観光コンベンション課
660020	24	観光交流協定等に基づく誘客促進事業	観光コンベンション課
660040	1	鶺鴒観覧船事業	鶺鴒観覧船事務所
660040	2	船員互助会助成金	鶺鴒観覧船事務所
660040	3	ウミウ捕獲技術保存協議会	鶺鴒観覧船事務所

番号-所属	番号-通番	事業名	担当課名
660040	4	長良川遊覧船事業	鶯飼観覧船事務所
660040	5	「ぎふ長良川の鶯飼&観光PRオリジナルTシャツ」販売事業	鶯飼観覧船事務所
660040	6	観覧船予約システム(オンライン決済)の運用	鶯飼観覧船事務所
660050	1	アートライブ・ウエルカム!アーティスト	文化芸術課
660050	2	岐阜市民文化祭(市民芸術祭)	文化芸術課
660050	3	岐阜市民文化祭(美術展覧会)	文化芸術課
660050	4	岐阜市民文化祭(市民文芸祭)	文化芸術課
660050	5	長良川薪能	文化芸術課
660050	6	さんぽde野外ライブ	文化芸術課
660050	7	岐阜文化再発見～民話ライブ～	文化芸術課
660050	8	こよみのよぶね	文化芸術課
660050	9	各種芸術文化団体への補助金	文化芸術課
660050	10	文化会館施設整備	文化芸術課
660050	11	文化会館指定管理	文化芸術課
660060	1	岐阜市多文化交流推進事業	国際課
660060	2	外国人のための日本語講座事業補助金	国際課
660070	1	岐阜市スポーツ協会事業補助金	市民スポーツ課
660070	2	市民総合スポーツ大会	市民スポーツ課
660070	3	各種スポーツ大会出場補助事業	市民スポーツ課
660070	4	新春ぎふシティマラソン大会	市民スポーツ課
660070	5	「岐阜スүүース」連携推進	市民スポーツ課
660070	6	岐阜市スポーツ少年団事業補助金	市民スポーツ課
660070	7	岐阜市スポーツ推進委員支援事業補助金	市民スポーツ課
660070	8	岐阜市スポーツ指導員支援事業補助金	市民スポーツ課
660070	9	「FC岐阜」連携推進	市民スポーツ課
660070	10	地域体育振興事業補助金	市民スポーツ課
660070	11	強化指定選手事業	市民スポーツ課
660070	12	学校体育施設開放事業	市民スポーツ課
660070	13	岐阜市レクリエーション普及事業補助金	市民スポーツ課

番号-所属	番号-通番	事業名	担当課名
660070	14	屋外体育施設管理	市民スポーツ課
660070	15	屋内体育施設管理	市民スポーツ課
660070	16	岐阜市公共施設予約システム事業	市民スポーツ課
660070	17	屋外体育施設管理	市民スポーツ課
660070	18	スポーツスタートアップ事業	市民スポーツ課
660070	19	トップアスリート次世代継承事業	市民スポーツ課
660070	20	アクションスポーツ・eスポーツ普及推進事業	市民スポーツ課
660070	21	岐阜県民スポーツ大会派遣補助金	市民スポーツ課
660070	22	高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン	市民スポーツ課
660070	23	市民スポーツ・レクリエーション活動推進事業	市民スポーツ課
660080	1	岐阜市文化財未来継承事業補助金	文化財保護課
660080	2	岐阜市郷土の宝顕彰事業補助金	文化財保護課
660080	3	岐阜まつり記録保存調査事業	文化財保護課
660080	4	遺跡発掘調査事業	文化財保護課
660080	5	歴史遺産活用推進事業	文化財保護課
660080	6	史跡岐阜城跡山麓居館跡整備事業	文化財保護課
660080	7	史跡岐阜城跡整備事業	文化財保護課
660080	8	長良川鶺鴒文化未来継承事業	文化財保護課
660080	9	長良川流域の文化的景観保存調査事業	文化財保護課
660080	10	岐阜市文化財保護費補助金	文化財保護課
660090	1	歴史博物館総合展示室リニューアル事業	歴史博物館
660090	2	博物館(本館)展覧会開催事業	歴史博物館
660090	3	博物館(分館 加藤栄三・東一記念美術館)展覧会開催事業	歴史博物館
660150	1	シビックプライド事業	ぎふメディアコスモス事業課
660150	2	みんなの森 ぎふメディアコスモスの季刊紙発行	ぎふメディアコスモス事業課
660150	3	メディコス「文化の広場」交流事業	ぎふメディアコスモス事業課
660180	1	読書活動推進事業補助金	図書館
660180	2	絵本といっしょ(乳幼児読み聞かせ)事業	図書館
660180	3	図書館資料整備	図書館

番号-所属	番号-通番	事業名	担当課名
660180	4	郷土資料デジタル化業務委託	図書館
660180	5	シビックプライドライブラリー活用事業（みんなの図書館おとなの夜学）	図書館
660180	6	めざせ直木賞作家！ ぼくのわたしのショートショート発表会	図書館
660180	7	作家と語ろうin岐阜事業	図書館
660180	8	はじめての図書館事業	図書館
660210	1	科学館運営（施設管理・常設展示・プラネタリウム）	科学館
660210	2	科学館教育活動	科学館
660210	3	ぎふサイエンスフェスティバル	科学館
660210	4	夏の特別展	科学館

事業評価シート(令和6年度事業)

番号	0660010	001
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	休日の部活動の段階的な地域移行(休日の地域クラブ活動)推進事業(地域指導者配置)					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	ぎふ魅力づくり推進政策課	
実施方法	直営		補助等の種類		実施主体	市
開始・終了年度	令和	5	年度～	年度	根拠法令・関連計画	運動部活動の地域移行に関する検討会議提言 文化部活動の地域移行に関する検討会議提言

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	休日の学校部活動が地域移行した地域クラブ活動において、活動を充実させ、持続可能な地域クラブ活動の形成を目指すことで部活動の地域移行を推進する。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	休日の地域クラブ活動に対し、地域の専門的な実技指導力を有する者を配置する。					
事業の 対象	何を	地域クラブ地域指導者				
	誰に	各地域クラブ				
	どのくらい	350人配置する				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	地域移行するクラブが増加するため、地域指導者の謝金及び保険料を215人分増額した。					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	20,930	650	21,385	650
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	20,930	650	21,385	650

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	0	11,589	22,979
決算額(C)	0	9,647	11,889
差額(B-C)	0	1,942	11,090
執行率(C/B)	-	83%	52%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	0	30,577	33,274

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	7,809	10,455
差額(E-F)	0	-7,809	-10,455
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	0	22,768	22,819

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	地域指導者配置数		単位	人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値	-	135	350	
実績値	-	135	224	
達成率	-	100.0%	64.0%	

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	休日の部活動の地域クラブへの移行			
指標	地域クラブの数		単位	団体
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値（以上）	-	106	175	
実績値	-	106	147	
達成率	-	100.0%	84.0%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	5	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	国及び県は令和7年度末までに休日の学校部活動を全て地域クラブに移行するとの方針を示しており、市において休日に活動する学校部活動(212団体)が移行した地域クラブの指導者(212団体×指導者2人=424人)の配置は必要である。
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1 必要性はあまり高くない	
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	
3 市が実施することにより事業効果が高くなる				
1 市が実施する必要性はあまり高くない				
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	1	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	指導者の実績報告書の提出の確認や毎月指導者に個々に支払いを行っており、効率化されていない。	
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している		
		1 効率化されていない		
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3		5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)
			3 相関関係を示すデータがある	
			1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	14/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	休日の部活動のために出勤する教員の業務負担軽減と働き方改革につながっている。また、持続可能な地域クラブの体制の構築及び地域全体で子どもたちの活動を支える仕組みを整えることで、今後懸念される少子化への対応や地域力の向上、生涯スポーツの推進につながる。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	5	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	38/50	継続	・40点以上: 拡充 ・25点以上: 継続 ・15点以上: 改善 ・0点以上: 縮小・廃止
地域クラブ活動において、地域指導者を配置することで、持続可能な活動にしており、現状維持が望ましい。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号	0660010	002
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	休日の部活動の段階的な地域移行(休日の地域クラブ活動)推進事業(岐阜市中学校部活動地域移行検討委員会)					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	ぎふ魅力づくり推進政策課	
実施方法	直営		補助等の種類		実施主体	市
開始・終了年度	令和	5	年度～	年度	根拠法令・関連計画	運動部活動の地域移行に関する検討会議提言 文化部活動の地域移行に関する検討会議提言

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	休日の学校部活動が地域移行した地域クラブ活動において、活動を充実させ、持続可能な地域クラブ活動の形成を目指すことで部活動の地域移行を推進する。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	岐阜市中学校部活動地域移行検討委員会を設置し、令和7年度末の地域移行完了のための方策及び、令和8年度以降の体制を構築するための方策について審議する。					
事業の対象	何を	岐阜市中学校部活動地域移行検討委員会				
	誰に	休日の学校部活動が地域移行した地域クラブ				
	どのくらい	6回開催する				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	20,930	650	21,385	650
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	20,930	650	21,385	650

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	0	200	466
決算額(C)	0	235	385
差額(B-C)	0	-35	81
執行率(C/B)	-	118%	83%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	0	21,165	21,770

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	104	385
差額(E-F)	0	-104	-385
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般財源(D-F)	0	21,061	21,385

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	委員会開催数		単位	回
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	-		3	6
実績値	-		3	5
達成率	-		100.0%	83.3%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	休日の部活動の地域クラブへの移行			
指標	地域クラブの数		単位	団体
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値（以上）	-		106	175
実績値	-		106	147
達成率	-		100.0%	84.0%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	岐阜市中学校部活動地域移行検討委員会において、令和7年度末までの地域移行の完了及び令和8年度以降の体制構築のための方策を審議することは必要性が高い。
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1 必要性はあまり高くない	
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	
3 市が実施することにより事業効果が高くなる				
1 市が実施する必要性はあまり高くない				
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	要点を整理し会議を実施したため、会議の回数を6→5回に減らした。	
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している		
		1 効率化されていない		
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3		5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)
			3 相関関係を示すデータがある	
			1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	14/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	岐阜市中学校部活動地域移行検討委員会において、令和7年度末までの地域移行の完了及び令和8年度以降の体制構築のための方策を審議し、持続可能な地域クラブの体制の構築及び地域全体で子どもたちの活動を支える仕組みを整えることで、今後懸念される少子化への対応や地域力の向上、生涯スポーツの推進につながる。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	5	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
				現状維持	38/50	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・40点以上: 拡充 ・25点以上: 継続 ・15点以上: 改善 ・0点以上: 縮小・廃止
岐阜市中学校部活動地域移行検討委員会において、令和7年度末までの地域移行の完了及び令和8年度以降の体制構築のための方策を審議することで、持続可能な体制を構築することにつながるため、現状維持が望ましい。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660020

001

【1.基本情報】

事業名	GIFUナイトビュー事業(岐阜城パノラマ夜景)					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	観光コンベンション課	
実施方法	補助等		補助等の種類	その他負担金	実施主体	GIFUナイトビュー事業実行委員会
開始・終了年度	平成	13	年度～		年度	根拠法令・関連計画

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	本市の貴重な観光資源である金華山・長良川を活用した事業の実施により、全国から幅広く観光客の誘致を図り、地域経済の活性化に寄与する					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	岐阜城パノラマ夜景(岐阜城)					
事業の 対象	何を	イベント				
	誰に	市民・観光客				
	どのくらい	計100日間程度				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	-					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	954	30	966	30	987	30
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	954	30	966	30	987	30

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	3,000	3,000	3,000
決算額(C)	2,629	3,000	3,000
差額(B-C)	371	0	0
執行率(C/B)	88%	100%	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	3,583	3,966	3,987

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	3,583	3,966	3,987

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	イベント開催日数		単位	日
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値	70	96	99	
実績値	77	95	99	
達成率	110.0%	99.0%	100.0%	

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	天守閣から360度に広がるパノラマ夜景を提供し、岐阜市の夜の観光スポットの中核を担った。			
指標	イベント参加者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値(以上)	12,000	12,000	14,000	
実績値	9,689	14,022	18,877	
達成率	80.7%	116.9%	134.8%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)	
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	5	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	来場者アンケートより下記の効果が推計され、実施する必要性並びに効果が高い事業である。 ・市内での宿泊に関わる効果 約6,000万円 ・市内での飲食に関わる効果 約4,000万円 計:1億円	
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある		
			1 必要性はあまり高くない		
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない		市が運営する岐阜城を活用した事業であり、官民連携で事業を進めるに当たり、市が参画して実施する必要がある。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる		
			1 市が実施する必要性はあまり高くない		
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	予算は据え置きで、日数の増加を実現できる体制が構築されている。		
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
		1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	開館日数と入場者数は一定程度連動している。	
			3 相関関係を示すデータがある		
			1 つながっていない又は不明確		
	アウトカム目標達成度	14/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	岐阜城パノラマ夜景は、山上に城を有し、かつ眼下に美しい景色が広がる他市には無い「岐阜市ならではの」事業である。テーマパークのように大きな費用を掛けずに、集客できる希少な取組であり、継続して取り組むことが必要である。	
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である		
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない		
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	10	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	未来のまちづくり構想 ・持続可能な観光まちづくり	
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である		
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)		
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)		
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない		

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	45/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
岐阜市におけるナイトタイムコンテンツの中核を担う岐阜城パノラマ夜景は、山上に城を有し、かつ眼下に美しい景色が広がる他市には無い「岐阜市ならではの」事業として、外部から多くの観光客を集客できる重要な取組であり、継続して実施することが必要である。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660020

002

【1.基本情報】

事業名	GIFUナイトビュー事業(灯り物語)					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	観光コンベンション課	
実施方法	補助等		補助等の種類	その他負担金	実施主体	GIFUナイトビュー事業実行委員会
開始・終了年度	令和	2	年度～		年度	根拠法令・関連計画

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	本市の貴重な観光資源である金華山・長良川を活用した事業を実施することにより、全国から幅広く観光客の誘致を図り、地域の活性化に寄与する。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	ぎふ灯り物語の開催					
事業の 対象	何を	イベント				
	誰に	市民・観光客				
	どのくらい	計9日間程度				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	関連イベント及び演出等の変更					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,226	70	2,254	70	2,303	70
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,226	70	2,254	70	2,303	70

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	12,000	12,000	12,000
決算額(C)	12,000	12,000	12,000
差額(B-C)	0	0	0
執行率(C/B)	100%	100%	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	14,226	14,254	14,303

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	12,000	12,000	12,000
決算額(F)	9,407	8,536	10,708
差額(E-F)	2,593	3,464	1,292
執行率(F/E)	78%	71%	89%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般財源(D-F)	4,819	5,718	3,595

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	イベント開催日数		単位	日
	令和4年度	令和5年度		
目標値	9	9	9	9
実績値	8	8	8	9
達成率	88.9%	88.9%	88.9%	100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	他市では味わえない「岐阜市ならではの」イベント実施により、閑散期の夜に、1万人を超える観光客の誘客を実現した。			
	指標	イベント参加者数		単位
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値(以上)	10,000	11,000	10,000	
実績値	9,134	7,016	15,168	
達成率	91.3%	63.8%	151.7%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	5	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	会場となる岐阜公園周辺は、鶺鴒のオフシーズンとなる冬の宿泊者数が少なく、当該時期の誘客増に繋がる取組に民間から強い期待が寄せられている。 R6長良川温泉宿泊者数(出典:岐阜市宿泊統計) 鶺鴒開催時期(5~10月平均)約23,000人 冬季(1~2月平均)約15,000人
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1 必要性はあまり高くない	
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	当該イベントは有料事業として実施するも、入場料に必要なコストを賄うことは困難な状況である。一方で、閑散期における岐阜公園周辺でのイベント実施の必要性は高いため、官民連携して、継続的に取り組む必要がある。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる	
			1 市が実施する必要性はあまり高くない	
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	民間の事業者間で競争を働かせるため、プロポーザル方式での契約で、受託事業者を選定している。	
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している		
		1 効率化されていない		
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	5	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	事業の実施により、着実に集客数は伸びている。 (R5:7,016人⇒R6:15,168人)
			3 相関関係を示すデータがある	
			1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	12/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	岐阜市の伝統的工芸品である「岐阜提灯」や「岐阜和傘」を活用するとともに、「信長公居館跡」や「岐阜大仏」といった岐阜市を代表する文化財を抱える場所において、実施される「岐阜市ならではの」事業である。課題とされている鶺鴒のオフタイムシーズンにおけるナイトタイムコンテンツの中核を担うとともに、岐阜城楽市等との相乗効果も期待される重要な事業である。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	10	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	未来のまちづくり構想 ・持続可能な観光まちづくり
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		拡充		拡充	45/50	拡充	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
岐阜市におけるナイトタイムコンテンツの中核を担うとともに、鶺鴒のオフタイムシーズンに開催する「岐阜市ならではの」希少なイベントとして、日数のさらなる延長を含む、拡充が必要である。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660020

003

【1.基本情報】

事業名	岐阜市まちなか博士育成・まちなか案内人活動支援事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	観光コンベンション課	
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	17	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	「岐阜市まちなか博士認定制度」を実施することにより、市民のホスピタリティ(親切なおもてなし)および知識の向上、観光ガイドなどの人材育成を図り、官民協働による観光を中心としたまちなかの活性化につなげることを目的とする。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	岐阜市まちなか博士認定試験の実施、岐阜市まちなか案内人の会の活動の充実と組織体制の更なる強化の支援					
事業の 対象	何を	岐阜市の歴史・地理・文化等の知識、教養の習得及び岐阜公園周辺・川原町界隈を中心とした観光案内				
	誰に	市民などの試験申込者並び試験合格者及びまちなか案内人(観光ガイド)				
	どのくらい	認定試験は年一回、岐阜市まちなか案内人の会の活動は毎日				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,544	80	2,576	80	2,632	80
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,544	80	2,576	80	2,632	80

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	1,813	930	1,302
決算額(C)	1,070	383	984
差額(B-C)	743	547	318
執行率(C/B)	59%	41%	76%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	3,614	2,959	3,616

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	3,614	2,959	3,616

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	岐阜市まちなか案内人の会員数		単位	人
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	50		50	60
実績値	53		63	75
達成率	106.0%		126.0%	125.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	観光客に対し、おもてなしの心を持って接することで、観光客の満足度向上に寄与できた。			
指標	案内件数		単位	件
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値(以上)	100		100	100
実績値	93		128	109
達成率	93.0%		128.0%	109.0%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	5	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	岐阜公園をはじめとする岐阜市の観光地を訪れる観光客に対し、地域の文化や歴史、グルメといった各種情報を対面で伝える観光ボランティアの安定的な輩出における仕組みの根幹を担っており、必要性は高い。一方で、全国的に観光ボランティアは減少傾向にあり、確保に向けた取組が求められる中、市がまちなか博士育成事業を実施し、ボランティア育成を支える仕組みに基づいて、まちなか観光を推進することは、岐阜公園の再整備により観光客増を目指す本市の方向性とも合致するものである。 毎年:受験者200名程度、合格者100名程度、まちなか案内人登録10名程度
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1 必要性はあまり高くない	
必要性	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	民間による実施では、有料化等により受験者が減る可能性があるとともに、岐阜市のローカル観光情報を扱うため、市での実施が不可欠と考える。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる	
			1 市が実施する必要性はあまり高くない	
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	紙代など、実施に必要な不可欠なもののみを予算計上しており、これ以上は難しい状態まで効率化している。岐阜市まちなか案内人の会は、岐阜市まちなか博士認定試験合格者の有志で組織されており、まちなか博士育成事業と連携した観光ボランティアガイドとして効率的な仕組みを実現している。
			3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している	
			1 効率化されていない	
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	5	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	前述のとおり、毎年の受験者数は安定的に推移しており、受験者等の不足感も生じていない。本事業により、岐阜市まちなか博士認定試験の合格者に活動の場を提供するとともに、本市の魅力をより詳細に説明できる人材が育成され、本市の観光振興に寄与している。
			3 相関関係を示すデータがある	
			1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	14/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	岐阜公園を訪れる観光客数の増加が見込まれる中、観光ボランティアを安定的に輩出する仕組みの根幹を担う。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	未来のまちづくり構想 ・持続可能な観光まちづくり
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	45/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	これまでまちなか博士認定試験を延べ約6千人が受験申込し、合格者がまちなか案内人となり、まちなか歩き・まちなか観光の推進や市民の知識向上に大きく貢献しており、今後観光ガイドの体制整備を進めていく上での母体となるため、継続的に事業を実施していく。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660020

004

【1.基本情報】

事業名	シェアサイクル事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	観光コンベンション課	
実施方法	委託(民間)		補助等の種類		実施主体	ecobike(株)
開始・終了年度	令和	4	年度～		根拠法令・関連計画	岐阜市シェアサイクル事業実施要綱

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	本市の観光振興に資する二次交通手段を確立させ、本市へのさらなる誘客を図るため、また観光客のみならず、市民も利用しやすい日常の足として利用促進を図る。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	市内に設置するサイクルポート間で自由に貸出・返却が可能なシェアサイクルを導入。また、短時間から利用できる料金設定により、市民にとっても一層利用しやすい環境を整える。アプリからの乗車手続きとキャッシュレス決済への対応により、利用者の利便性向上を図る。					
事業の 対象	何を	シェアサイクル(シェアサイクルポート)				
	誰に	市民及び観光客				
	どのくらい	JR岐阜駅などの24ヶ所のポートで、合計130台の自転車を貸し出す。				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,862	90	2,898	90	2,961	90
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,862	90	2,898	90	2,961	90

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	18,651	18,572	19,268
決算額(C)	18,645	18,559	19,087
差額(B-C)	6	13	181
執行率(C/B)	100%	100%	99%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	21,507	21,457	22,048

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	14,165	14,121	7,500
決算額(F)	14,532	15,721	6,743
差額(E-F)	-367	-1,600	757
執行率(F/E)	103%	111%	90%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	6,975	5,736	15,305

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	シェアサイクルポートの数		単位	箇所
	令和4年度	令和5年度		
目標値	24	25		24
実績値	24	25		24
達成率	100.0%	100.0%		100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	市内中心部における24時間利用可能な移動手段の提供			
指標	シェアサイクル利用件数		単位	件
	令和4年度	令和5年度		
目標値（以上）	-	27,000		27,000
実績値	15,650	22,672		26,292
達成率	-	84.0%		97.4%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	本市を訪れる観光客は主に自家用車を利用して来訪するが、主要な観光資源は市中心部に集積し、さらなる駐車場整備には限りがあるため、自転車などの2次交通の整備を進め、移動手段の多様化を進めていくことが求められている。
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1 必要性はあまり高くない	
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	
3 市が実施することにより事業効果が高くなる				
1 市が実施する必要性はあまり高くない				
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	5	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	無人による運用で、一部を除き、24時間稼働している。 【委託料】レンタサイクル事業(～R4.3)…24,035千円(R3年度) シェアサイクル事業(R4.4～)…18,213千円(R6年度)	
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している		
		1 効率化されていない		
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3		5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)
			3 相関関係を示すデータがある	
			1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	12/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	無人運用で24時間利用可能なシステムであり、少子高齢化の進展に伴い労働人口の減少が避けられない岐阜市においても、有用な取組と考えられる。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	41/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	本市を訪れる観光客は主に自家用車を利用して来訪するが、主要な観光資源は市中心部に集積し、さらなる駐車場整備には限りがある。そのため、シェアサイクルなど2次交通の整備により、移動手段の多様化を進めていく必要がある。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660020

005

【1.基本情報】

事業名	フォトツーリズム推進事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	観光コンベンション課	
実施方法	委託(民間)		補助等の種類		実施主体	岐阜市
開始・終了年度	令和	2	年度～		根拠法令・関連計画	岐阜市観光ビジョン(付表3)

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	本事業は新しい観光の在り方の一つである「写真撮影」を切り口とした「フォトツーリズム」の魅力を発掘・発信し、本市への誘客を図る。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	フォトスポットをまとめたWEBサイト「カメラと旅する岐阜市」を活用し、市内を写真撮影しながら旅する楽しさを発信する					
事業の 対象	何を	岐阜市の写真スポットWEBサイト「カメラと旅する岐阜市」の更新(掲載情報更新)による情報発信				
	誰に	20～30代の観光客				
	どのくらい	5コンテンツ				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	WEBサイトの更新による情報発信に限定し、実施した。					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,498	110	3,542	110	987	30
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,498	110	3,542	110	987	30

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	5,875	4,540	500
決算額(C)	5,844	4,538	495
差額(B-C)	31	2	5
執行率(C/B)	99%	100%	99%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	9,342	8,080	1,482

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	2,862	0	0
決算額(F)	2,833	0	0
差額(E-F)	29	0	0
執行率(F/E)	99%	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	6,509	8,080	1,482

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	WEBサイト更新回数		単位	回
	令和4年度	令和5年度		
目標値	2	3		5
実績値	2	3		5
達成率	100.0%	100.0%		100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	事業実施による新たな写真スポットの認知向上			
	R5まで:ぎふ観光フotonコンテスト応募作品数(公財)岐阜観光コンベンション協会主催)	R6:WEBサイト「カメラと旅する岐阜市」PV数	単位	R5まで:点/R6:数
指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値(以上)	400	400	12,000	
実績値	311	303	13,269	
達成率	77.8%	75.8%	110.6%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	市民の情報取得手段が、TVなどのマスメディアからSNS等のソーシャルメディアに移りつつある中、近年「月と岐阜城」が注目を集め、撮影しながら観光地を巡る「フォトツーリズム」に対するニーズが増加している。このような中、風光明媚な景勝地のみならず、レトロな商店街など、岐阜市の持つ多面的な魅力に対する情報発信を行い誘客推進に活用する必要がある。
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1 必要性はあまり高くない	
必要性	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	各々の場所が持つ魅力そのものを、市へ訪問する魅力へと繋げるには、市がWEBサイトを持つことは有用であると考えられる。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる	
			1 市が実施する必要性はあまり高くない	
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	5	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	市による「スマホ撮影ツアー」の実施を取りやめ、情報発信に特化した取り組みを行った。(予算額R5:4,540千円⇒R6:500千円)
			3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している	
			1 効率化されていない	
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	WEBサイトを毎年、更新し、ぎふ灯り物語など各種コンテンツの充実を図ったところ、PV数の増加に繋がっている。
			3 相関関係を示すデータがある	
			1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	11/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	既に長良川プロムナードは、中秋の名月である10月を含む、秋を中心に多くのカメラマンが訪れる観光スポット化するとともに、同様に美しい写真を撮影できる「岐阜城パノラマ夜景」や「ぎふ灯り物語」などが、新たな岐阜市の魅力を体験できる観光地として育ちつつある。このように、フォトツーリズムは冬場や夜間といったこれまで観光客が少なかった時期への集客を促進させる取組であり、岐阜市の抱える課題解消に寄与するものである。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	5	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	岐阜市観光ビジョン
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	33/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	当該WEBサイトの毎年の情報更新により、プロカメラマンによる最新の岐阜市の魅力が発信できることから、現状維持で継続していく必要がある。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660020

006

【1.基本情報】

事業名	ロケツーリズム推進事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	観光コンベンション課	
実施方法	補助等	補助等の種類		その他	実施主体	岐阜市
開始・終了年度	令和	2	年度～		根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	本市へのロケ誘致を積極的に進め、ロケツーリズム(映画、ドラマ、CM、アニメ等のロケ地を巡る観光の形態)による観光誘客につなげる。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	ロケの受け入れ態勢の構築、ロケの誘致、ロケ支援を実施。					
事業の 対象	何を	ロケ支援				
	誰に	映像制作会社				
	どのくらい	令和2年度:3件、令和3年度:31件、令和4年度:30件、令和5年度:58件、令和6年度:59件				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	13,229	416	13,395	416	13,686	416
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	13,229	416	13,395	416	13,686	416

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	4,697	3,014	2,941
決算額(C)	1,573	1,522	1,403
差額(B-C)	3,124	1,492	1,538
執行率(C/B)	33%	50%	48%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	14,802	14,917	15,089

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	14,802	14,917	15,089

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	ロケツーリズム協議会でのロケ営業回数		単位	回
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	2	4		3
実績値	2	4		3
達成率	100.0%	100.0%		100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	事業を実施することで、市内でのロケ実施件数が増える。			
指標	ロケ支援回数		単位	回
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値(以上)	30	40		50
実績値	30	58		59
達成率	100.0%	145.0%		118.0%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	本事業は観光客を誘致するための手段であり、岐阜市の魅力を発掘・発信に必要性のある事業である。
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1 必要性はあまり高くない	
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	
3 市が実施することにより事業効果が高くなる				
1 市が実施する必要性はあまり高くない				
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	5	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	市内ロケ番組の放映時間を広告費換算した場合、約2,960百万円(R6年度)となる。広告費を負担することなく、市の魅力発信ができるため、極めて効率的である。	
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している		
		1 効率化されていない		
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3		5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)
			3 相関関係を示すデータがある	
			1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	15 / 15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	「内閣官房 新しい資本主義実現会議基礎資料」にてインバウンドにおける潜在的な聖地巡礼者の需要は260万人と見込まれ、4,000億円の国内消費支出が期待されており、ロケツーリズム推進は将来の課題解決に有効な事業である。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	40 / 50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	観光客を誘致するための手段として非常に有効かつ効率的な事業であることから、継続して実施していく。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660020

007

【1.基本情報】

事業名	クアオルトぎふの魅力づくり					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	観光コンベンション課	
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	令和	3	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	クアオルト健康ウォーキングと本市の歴史資産、温泉等を組み合わせたヘルスツーリズムなど「クアオルト(=健康保養地)ぎふ」の魅力づくりを推進する。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	観光、企業、保険者、医療機関、健康関連事業者等とともに官民一体となってクアオルト健康ウォーキングを推進することにより、市民の健康増進に加え、本市への交流人口の増加を図る。					
事業の 対象	何を	岐阜市クアオルト健康ウォーキング				
	誰に	クアオルト健康ウォーキング定期講座の参加者				
	どのくらい	年間1,000人以上				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	954	30	966	30	987	30
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	954	30	966	30	987	30

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	1,026	849	840
決算額(C)	619	538	487
差額(B-C)	407	311	353
執行率(C/B)	60%	63%	58%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	1,573	1,504	1,474

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	55	0	0
決算額(F)	37	0	0
差額(E-F)	18	0	0
執行率(F/E)	67%	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	1,536	1,504	1,474

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	実践団体支援事業(団体からの申込に応じて開催する個人講座)の開催		単位	回数
	令和4年度	令和5年度		
目標値	15	15	15	15
実績値	16	9	9	10
達成率	106.7%	60.0%	60.0%	66.7%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	クアオルト健康ウォーキング参加人数		
	参加人数	単位	人
指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値(以上)	1,000	1,000
実績値	815	885	830
達成率	81.5%	88.5%	83.0%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	ヘルスツーリズム等、観光ニーズの多様化は今後ますます進むものと予想され、本事業の推進は観光客の満足度向上のためにも必要である。
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1 必要性はあまり高くない	
必要性	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	市民の健康増進のほか、本市の新たな観光資源の発掘及び情報発信を通して本市への観光客誘致を目的としており、市が担う必要がある。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる	
			1 市が実施する必要性はあまり高くない	
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	観光、企業、保険者、医療機関、観光関連事業者等からなる協議会を組織しており、定期的な情報共有や意見交換を行いながら事業を進めている。
			3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している	
			1 効率化されていない	
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	ヘルスツーリズムに関する取り組みは本事業のみであり、本市の観光振興に大いに寄与している。
			3 相関関係を示すデータがある	
			1 つながっていない又は不明確	
有効性	アウトカム目標達成度	12/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	市民の健康寿命の延伸と密接に関わっており、また地域の交流人口の増加など、地域活性化に結びつく事業である。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	10	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	未来のまちづくり構想 ・人生100年時代、伸ばそう健康寿命
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	41/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
本事業はクアオルト健康ウォーキングと地域資源(自然や温泉など)を組み合わせたヘルスツーリズムなど、「クアオルト=(健康保養地)ぎふ」の動機づくりを目的としており、幅広い世代への情報発信が不可欠であるため継続すべき事業である。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号	0660020	008
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	笑いと感動のまちづくり事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	観光コンベンション課	
実施方法	補助等		補助等の種類	その他負担金	実施主体	岐阜市笑いと感動のまちづくり実行委員会
開始・終了年度	平成	15	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市笑いと感動のまちづくり実行委員会規約

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	落語の祖・安楽庵策伝ゆかりの岐阜市を拠り所に、日本一元気な県都・岐阜市の実現を目指す。「笑いと感動」を切り口として、まちづくりの観点から、町の活性化や人の健康、及び地域への愛情や誇りを育むことを目的として、本事業を推進する。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	①全日本学生落語選手権「策伝大賞」 ②有料落語会 ③落語出前授業 ④親子教室イベント ⑤共催事業 等					
事業の 対象	何を	①全日本学生落語選手権「策伝大賞」 ②有料落語会 ③落語出前授業 ④親子教室イベント ⑤共催事業 等				
	誰に	①落語関係者約150人、観客約1,200人 ②観客約1,400人 ③市内小学4年生約210人 ④市内小学生等約60人 ⑤観客等190名				
	どのくらい	①選手権開催(2日間) ②有料落語会開催(1日間) ③落語出前講座(年3回) ④親子教室イベント(年1回) ⑤共催事業(年2回)				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	-					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	4,134	130	4,186	130	4,277	130
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	4,134	130	4,186	130	4,277	130

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	13,000	13,000	13,000
決算額(C)	12,981	12,251	12,710
差額(B-C)	19	749	290
執行率(C/B)	100%	94%	98%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	17,115	16,437	16,987

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般財源(D-F)	17,115	16,437	16,987

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	策伝大賞予選会の出場者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	150		150	120
実績値	144		159	132
達成率	96.0%		106.0%	110.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

学生落語の全国大会として周知され、決勝大会の観覧者数は常に定員を超える。※令和6、7年度は長良川国際会議場が休館のため、会場を変更して実施。				
成果	策伝大賞予選会、決勝大会の観覧者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値（以上）	1,000		1,000	1,000
実績値	1,072		1,170	1,017
達成率	107.2%		117.0%	101.7%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記) 3 ある程度のニーズがあり必要性がある 1 必要性はあまり高くない	「策伝大賞」決勝大会観覧者アンケートから、事業を「良い」と評価する回答が9割超と一定のニーズがあるほか、決勝大会における岐阜市外からの観覧者は約4割、有料落語会における岐阜市外からの観覧者は約5割と、イベント参加者及び観覧者に対し、岐阜市の魅力をPRする機会を創出している。
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない 3 市が実施することにより事業効果が高くなる 1 市が実施する必要性はあまり高くない	市が20数年間に渡り参画してきたことにより、学生落語日本一を決める大会として広く認知され、全国の落研が目標とする唯一無二の大会に育った。江戸時代の僧、安楽庵策伝の所縁は岐阜市にあり、全国から岐阜市へ毎年誘客できる数少ないイベントであることから地元自治体である市が担う必要がある。
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記) 3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している 1 効率化されていない	桂文枝師匠、立川志の輔師匠といった落語会の大御所が参画いただけるのは、これまでの落語を通じた縁があってこそであり、新たに立ち上げた場合と比較し、費用対効果が高いと思われる。
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記) 3 相関関係を示すデータがある 1 つながっていない又は不明確	学生落語日本一を決める大会として認知され、全国から有名大学が岐阜市に集まり、切磋琢磨する唯一無二の大会として育った。そのことから、アマチュアながら千人を超える観客をコンスタントに集客できる大会として育ち、冬場の閑散期における誘客の取組として機能している。
	アウトカム目標達成度	15 / 15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である 3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である 1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	学生落語の全国大会として広く認知され、全国の学生や観覧者に対し、岐阜市の魅力をPRする機会を創出しているほか、落語出前授業等を通じた地域活性化にもつながる事業である。
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である 8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である 5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記) 3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記) 1 事業が市の計画に直接的に関係していない	未来のまちづくり構想 ・人を魅了し、交流を生み出すまちへ

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	40 / 50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
学生落語日本一を決める大会として広く認知されていることから、閑散期となる冬の集客イベントとして継続して実施する必要がある。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660020

009

【1.基本情報】

事業名	岐阜観光コンベンション協会運営負担金(コンベンション推進)					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	観光コンベンション課	
実施方法	補助等		補助等の種類	その他負担金	実施主体	(公財)岐阜観光コンベンション協会
開始・終了年度	平成	17	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	岐阜市及び周辺の産業、技術及び文化、歴史などの資源を活用し、コンベンションの誘致、開催支援、及び国際会議観光都市岐阜の広報、宣伝等の事業を行うことにより、岐阜市におけるコンベンション並びに観光の振興を図り、もって国際相互理解の増進並びに地域経済の活性化及び文化の向上に資すること					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	・コンベンション振興のための広報、宣伝、誘致及び受入 ・コンベンションの開催に係る支援 ・観光及びコンベンションに係る環境基盤					
事業の 対象	何を	本市のコンベンション関連情報				
	誰に	コンベンション主催者となり得るすべての人々				
	どのくらい	定期的なコンベンション主催者に対する誘致活動、国内観光客誘致、海外旅行者誘致など				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	32	1	32	1	33	1
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	32	1	32	1	33	1

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	19,813	20,727	20,727
決算額(C)	19,813	20,727	20,727
差額(B-C)	0	0	0
執行率(C/B)	100%	100%	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	19,845	20,759	20,760

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	19,845	20,759	20,760

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	公益目的事業 コンベンション開催助成		単位	千円
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値	10,000	10,000	10,000	
実績値	2,140	6,436	4,480	
達成率	21.4%	64.4%	44.8%	

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	各種誘致活動や開催助成などを実施し、市内でのコンベンション開催に繋げた。			
指標	市内コンベンション開催件数		単位	件
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値（以上）	300	300	300	
実績値	203	255	275	
達成率	67.7%	85.0%	91.7%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	大規模会議といったMICE誘致の取組は、国内外から多くの人を岐阜市に集めることで、各参加者等による宿泊・交通・飲食・観光消費が増加し、地域経済に良影響を及ぼすほか、国際会議などを通じた岐阜市の知名度向上といった「人、モノ、カネ、情報」を動かす都市におけるハブ機能を担っている。
	3 ある程度のニーズがあり必要性がある			
1 必要性はあまり高くない				
国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか		5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	各都市におけるMICE誘致は、市のみならず各都道府県も加わっての競争であるため、岐阜市への誘致は少なくとも市の関与は不可欠と考える。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる	
			1 市が実施する必要性はあまり高くない	
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入		5	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	国際会議場等のコンベンション施設を持つ岐阜市において、コンベンション推進は、市や民間事業者も協働して進めていくべき施策であるが、現在は岐阜観光コンベンション協会が市内唯一の実施機関として、市の事務負担は0(ゼロ)で、一元的に実施している。
			3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している	
			1 効率化されていない	
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	コロナ禍を経て、WEB会議の導入などにより、開催件数自体が減少したが、徐々に開催件数は回復しつつある。
	3 相関関係を示すデータがある			
	1 つながっていない又は不明確			
	アウトカム目標達成度	11 / 15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	「人、モノ、カネ、情報」を動かすMICE誘致は、都市の活力にも直結する重要な取組であり、将来に向けても必要な事業である。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	10	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	未来のまちづくり構想 ・人を魅了し、交流を生み出すまちへ
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	40 / 50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
国際会議場等の施設を持つ岐阜市において、「人、モノ、カネ、情報」を動かすコンベンション推進は重要な取組であり、市や民間事業者など様々な主体が協働して進めるべき施策である。その旗振り役を岐阜観光コンベンション協会が役割を担っていることから、今後も引き続き支援すべきである。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660020

010

【1.基本情報】

事業名	岐阜観光コンベンション協会運営負担金(観光振興)					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	観光コンベンション課	
実施方法	補助等		補助等の種類	その他補助金	実施主体	(公財)岐阜観光コンベンション協会
開始・終了年度	平成	元	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜観光コンベンション協会定款

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	岐阜市及び周辺の産業、技術及び文化、歴史などの資源を活用し、コンベンションの誘致、開催支援、及び国際会議観光都市岐阜の広報、宣伝等の事業を行うことにより、岐阜市におけるコンベンション並びに観光の振興を図り、もって国際相互理解の増進並びに地域経済の活性化及び文化の向上に資すること					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	・観光及びコンベンションに係る環境基盤の整備 ・観光振興のための広報、宣伝、誘致及び受入 ・岐阜市の運営する観覧船事業の支援					
事業の 対象	何を	本市の観光情報				
	誰に	旅行会社等観光関係事業者および観光客				
	どのくらい	各種商談会参加、宿泊キャンペーン開催、観光展出演				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	令和6年3月29日に地域DMO候補法人となり、今年度より市全体の観光振興に係る合意形成を図る役割を担うこととなった。					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	32	1	32	1	33	1
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	32	1	32	1	33	1

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	37,787	56,694	61,116
決算額(C)	37,787	48,133	61,116
差額(B-C)	0	8,561	0
執行率(C/B)	100%	85%	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	37,819	48,165	61,149

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	37,819	48,165	61,149

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	未来の岐阜ツーリズム会議の開催		単位	回
	令和4年度	令和5年度		
目標値	-	-	-	2
実績値	-	-	-	2
達成率	-	-	-	100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	各種誘致活動の取組により、市の観光資源が集積する長良川温泉周辺の宿泊者数増に繋げることができた。			
指標	長良川温泉旅館宿泊者数（県内を除く）		単位	人泊
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値（以上）	250,000	250,000	250,000	
実績値	129,733	177,347	209,243	
達成率	51.9%	70.9%	83.7%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	地域DMO候補法人として、今年度より未来の岐阜ツーリズム会議を主催し、多様なステークホルダーのとりまとめ役を担っている。
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1 必要性はあまり高くない	
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	
3 市が実施することにより事業効果が高くなる				
1 市が実施する必要性はあまり高くない				
効率性	効率がされているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	各種PRIに関する実働部隊として、観光ポスター・チラシ作成などを行うとともに、国内外から観光客を誘致するため、各ステークホルダーと連携して、各種観光展への出展・商談会への参加・セールスコールを実施した。
			3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している	
			1 効率化されていない	
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	地域DMO候補法人として、各ステークホルダーとともに各種誘致活動に取り組んだこともあり、宿泊者数も順調に回復している。
			3 相関関係を示すデータがある	
			1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	9 / 15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	観光は、宿泊、飲食、交通など幅広い分野に波及する裾野が広い産業である。 一方、多様な意見を吸い上げられず、特定の分野に偏った取組となると地域との軋轢が生じさせる要因ともなるため、協会を中心とした多様な意見を吸い上げて進めていくことは、将来に向けても重要な取組と考える。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	10	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	未来のまちづくり構想 ・持続可能な観光まちづくり
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	38 / 50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	地域DMO候補法人として、岐阜市における多様なステークホルダーの連携促進とともに観光振興を進める重要な役割を担っており、その役割を果たせるよう、今後も引き続き支援すべきである。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660020

011

【1.基本情報】

事業名	岐阜・下呂・郡上観光宣伝協議会					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	観光コンベンション課	
実施方法	補助等		補助等の種類	その他補助金	実施主体	岐阜・下呂・郡上観光宣伝協議会
開始・終了年度	平成	16	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜・下呂・郡上観光宣伝協議会規約

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	岐阜県を代表する主要観光地である岐阜市、下呂市、郡上市の3市が共同して観光客の誘致及び宣伝を行い、お互いの相乗効果を図るとともに、パブリシティの効用を一層高めること					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	3市への観光客誘致宣伝活動					
事業の 対象	何を	岐阜市の観光情報				
	誰に	観光客となりうる全ての人々(外国を含む)				
	どのくらい	旅行商品9種、WEB記事4社				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,180	100	3,220	100	3,290	100
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,180	100	3,220	100	3,290	100

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	2,010	2,010	4,510
決算額(C)	2,002	2,004	4,500
差額(B-C)	8	6	10
執行率(C/B)	100%	100%	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	5,182	5,224	7,790

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	2,500
決算額(F)	0	0	2,500
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	100%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般財源(D-F)	5,182	5,224	5,290

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	台湾市場における広告等の発信回数 (R5年度までは香港市場)		単位	回
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	10	10		10
実績値	21	19		20
達成率	210.0%	190.0%		200.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	ターゲット諸国において観光地・旅行先として認知される			
	指標	台湾からの岐阜市内宿泊者数 (岐阜ホテル会、長良川温泉旅館協同組合、岐阜都ホテル) (R5までは香港市場)	単位	人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値(以上)	7,000	7,000	10,000	
実績値	398	6,307	9,538	
達成率	5.7%	90.1%	95.4%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)	
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	インバウンドは、宿泊日数が長期に及ぶため、観光コンテンツが少ない各市町村単位でのプロモーションでは効果はあまり望めない。近隣の市町村の連携による誘客事業はインバウンド誘致の面から重要である。	
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある		
			1 必要性はあまり高くない		
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない		下呂市・郡上市はそれぞれインバウンド誘客に向けて積極的に事業展開しており、3市で協議会を設立し、共同して観光客の誘致及び宣伝を展開していく上では、岐阜市としても事業を担う必要がある。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる		
			1 市が実施する必要性はあまり高くない		
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	1市単独ではできない事業を3市でそれぞれ負担し、県や国からの補助金を得て効率的に実施できている。近年では中部国際空港等とも連携して、情報を収集し、事業を広域に展開するなど効率的に実施できている。		
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
		1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3		5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	広告発信回数は前年より増加している。アウトカムの台湾からの宿泊者数(長良川温泉)は、前年(R5)より約1,600人増加している。
				3 相関関係を示すデータがある	
				1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	8 / 15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	インバウンドの増加は、岐阜市の観光振興に結びつく。	
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である		
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない		
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である		未来のまちづくり構想に関わる事業である。 ・持続可能な観光まちづくり
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である		
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)		
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)		
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない		

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		改善	31 / 50	継続	・40点以上: 拡充 ・25点以上: 継続 ・15点以上: 改善 ・0点以上: 縮小・廃止
	インバウンドは、宿泊日数が長期に及ぶため、観光コンテンツが少ない各市町村単位でのプロモーションでは効果はあまり望めない。そのため、岐阜・下呂・郡上の3市が協同して観光客の誘致及び宣伝を行い、インバウンド誘致を進めていく必要がある。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660020

012

【1.基本情報】

事業名	東海地区外国人観光客誘致促進協議会					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	観光コンベンション課	
実施方法	補助等		補助等の種類	加入団体負担金	実施主体	東海地区外国人観光客誘致促進協議会
開始・終了年度	平成	10	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	外国人観光客の誘致					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	岐阜県、静岡県、愛知県、三重県及び名古屋市長、静岡市、浜松市及び観光関係団体などが連携し、東海地区への外国人観光客の誘致を目指し、海外プロモーション、海外エージェンツ、プレス招聘事業などを行っている。岐阜市は岐阜県部会の会員として、岐阜県、県内市町村、観光関係団体などと連携を図り、各種事業を行っている。					
事業の 対象	何を	岐阜市の観光情報				
	誰に	外国人観光客				
	どのくらい	海外向けプロモーション(台湾、シンガポール、タイ、フィリピンほか) など				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	32	1	966	30	987	30
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	32	1	966	30	987	30

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	200	200	200
決算額(C)	200	200	200
差額(B-C)	0	0	0
執行率(C/B)	100%	100%	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	232	1,166	1,187

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般財源(D-F)	232	1,166	1,187

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	プロモーション及び商談会の実施件数		単位	件数
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	6	6		6
実績値	6	19		13
達成率	100.0%	316.7%		216.7%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	長良川温泉宿泊者数		
	指標	単位	人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（以上）	300	100,000	100,000
実績値	114	61,389	77,215
達成率	38.0%	61.4%	77.2%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)	
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	インバウンドは、宿泊日数が長期に及ぶため、観光コンテンツが少ない各市町村単位でのプロモーションでは効果があまり望めない。県や近隣の市町村等の連携による誘客事業はインバウンド誘致の面から重要である。	
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある		
			1 必要性はあまり高くない		
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない		県が中心となり各市町村が主体となって行うべき事業である。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる		
			1 市が実施する必要性はあまり高くない		
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	1市単独では実施できない事業を県及び参加団体の負担で行うため、費用対効果は高い。		
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
		1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	事業の実施により、アウトカムの実績値も伸びている。	
			3 相関関係を示すデータがある		
			1 つながっていない又は不明確		
	アウトカム目標達成度	7/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	インバウンドの増加は、岐阜市の観光振興に間接的に結びつく。	
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である		
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない		
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	未来のまちづくり構想に関わる事業である。 ・持続可能な観光まちづくり	
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である		
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)		
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)		
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない		

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	30/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
インバウンドは、宿泊日数が長期に及ぶため、観光コンテンツが少ない各市町村単位でのプロモーションでは効果があまり望めない。そのため、県や他の協議会加盟市町村と連携してPRを実施することにより、インバウンド誘客促進を進めていく必要がある。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660020

013

【1.基本情報】

事業名	外国人観光客誘客受入環境整備推進事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	観光コンベンション課	
実施方法	補助等		補助等の種類	その他補助金	実施主体	岐阜市
開始・終了年度	平成	30	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市外国人観光客受入環境整備支援事業補助金交付要綱

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	外国人観光客を受け入れる民間事業者の受入環境整備の面から事業者をサポートすることで外国人観光客の誘客を促進する。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	外国人観光客の受入環境整備を行う事業者を岐阜市外国人観光客受入環境整備支援事業補助金交付要綱に基づき、多言語化対応他支援メニューにより、支援する。					
事業の 対象	何を	多言語化対応・無料講習無線LAN(Wi-Fi)整備・施設内トイレ整備・クレジットカード・電子マネー決済対応などの支援メニュー				
	誰に	岐阜市内の観光施設・宿泊施設・飲食施設・小売業など				
	どのくらい	外国人観光客受入環境整備の支援				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,067	65	2,093	65	2,139	65
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,067	65	2,093	65	2,139	65

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	2,000	4,203	1,000
決算額(C)	507	3,921	958
差額(B-C)	1,493	282	42
執行率(C/B)	25%	93%	96%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	2,574	6,014	3,097

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	2,574	6,014	3,097

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	外国人観光客受入環境整備支援事業補助金の交付件数		単位	件
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	5	5		5
実績値	2	4		5
達成率	40.0%	80.0%		100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	外国人観光客の受入環境を整備することで、本市が観光地・旅行先として認知される。			
指標	岐阜市観光案内所外国人利用者件数		単位	件
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値(以上)	3,000	3,000		3,000
実績値	1,066	2,936		4,205
達成率	35.5%	97.9%		140.2%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)	
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	岐阜市観光案内所の外国人利用者数は、令和6年度に目標値を達成し、前年より利用者は1,000人以上増加と、インバウンド需要が継続しており、今後も外国人受入環境整備に対応する必要がある。	
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある		
			1 必要性はあまり高くない		
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない		外国人受入環境の整備にかかる費用は高額であり、民間事業者のみの負担では限界がある。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる		
			1 市が実施する必要性はあまり高くない		
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	補助金の交付を通じて、民間事業者と連携して、訪日外国人観光客の受入環境整備事業を実施している。		
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
		1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	訪日外国人観光客は増加しており、補助金の申請件数も増加している。観光地点別観光客数は、R5より約66万人増加しており、事業の成果であるアウトカムにもつながっている。	
			3 相関関係を示すデータがある		
			1 つながっていない又は不明確		
	アウトカム目標達成度	10/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	インバウンドの増加は、岐阜市の観光振興に間接的に結びつく。	
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である		
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない		
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	未来のまちづくり構想に関わる事業である。 ・持続可能な観光まちづくり	
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である		
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)		
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)		
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない		

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	33/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	インバウンドを推進するうえで、多言語化など外国人観光客を受入する環境整備は重要であり、今後も継続していく。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660020

014

【1.基本情報】

事業名	境川ふれあい夏祭り花火大会負担金					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	観光コンベンション課	
実施方法	補助等		補助等の種類	その他負担金	実施主体	境川ふれあい夏祭り花火大会実行委員会
開始・終了年度	平成	14	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	市民をはじめ、本市を訪れる多くの県内外の人々にゆとりと潤い、そして安らぎを与えている自然いっぱいの境川緑道公園一帯を会場に、多くの人々がともにふれあい、交流を深め地域の連帯感を醸成し、活力とにぎわいあふれる地域づくりに寄与し、地域振興を図るイベントとして、柳津地域のみならず市南部最大のイベントとして位置付けるとともに岐阜圏域の最後の花火大会を飾るにふさわしいイベントとして開催する。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	境川緑道公園での花火大会の開催。郷土芸能「天保宮下太鼓」「うずら太鼓」の披露等					
事業の 対象	何を	境川ふれあい夏祭り花火大会の開催				
	誰に	境川ふれあい夏祭り花火大会実行委員会				
	どのくらい	年1回				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	32	1	32	1	33	1
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	32	1	32	1	33	1

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	6,000	6,000	6,000
決算額(C)	0	6,000	6,000
差額(B-C)	6,000	0	0
執行率(C/B)	0%	100%	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	32	6,032	6,033

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	32	6,032	6,033

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	境川ふれあい夏祭りの開催回数		単位	回
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	-	1		1
実績値	-	1		1
達成率	-	100.0%		100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	毎年、多くの関係者による取組で、1万人を超える観光客を誘客している。			
指標	来場者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値(以上)	-	20,000		15,000
実績値	-	15,000		15,000
達成率	-	75.0%		100.0%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記) 3 ある程度のニーズがあり必要性がある 1 必要性はあまり高くない	夏における市南部地域の花火イベントとしての側面のみならず、境川流域の地域間の連携を深める夏祭りを兼ねた大規模イベントである。 市内のみならず羽島市、羽島郡を中心に市外からも観光客を集客するイベントとなっている。
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない 3 市が実施することにより事業効果が高くなる 1 市が実施する必要性はあまり高くない	運営は地域主体の実行委員会が行っており、市は、費用の一部を負担しているため、適切な地域と市との役割分担が行われている。
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記) 3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している 1 効率化されていない	実行委員会事務局により協賛金獲得なども含め、工夫して運営を行っている。
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記) 3 相関関係を示すデータがある 1 つながっていない又は不明確	市南部における定番イベントとして、地域間の連携を深める夏祭りという側面に加え、市内外から多くの観光客を集めるイベントとして、毎年1万人を超える観光客をコンスタントに呼び込むなど、事業効果が得られている。
	アウトカム目標達成度	11 / 15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である 3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である 1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	市南部地域の主要イベントかつ地域の夏祭りとして、子どもたちの地域活動に関わる機会創出や地域コミュニティの活性化、シビックプライドの醸成に寄与している。
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である 8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である 5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記) 3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記) 1 事業が市の計画に直接的に関係していない	未来のまちづくり構想 ・つながり支え合う地域コミュニティへ ・持続可能な観光まちづくり

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		改善	36 / 50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	市内外から観光客を集める市南部を代表するイベントであるとともに、地域間の連携を深める夏祭りとして、子どもの地域活動の機会促進、地域コミュニティ活性化が図られるため、引き続き支援していく。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660020

015

【1.基本情報】

事業名	長良川流域観光推進協議会						
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	補助等		補助等の種類	加入団体負担金	実施主体	長良川流域観光推進協議会	
開始・終了年度	平成	28	年度～		年度	根拠法令・関連計画	長良川流域観光推進協議会規約

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	長良川上・中流域に存在する魅力的な地域資源を観光資源として活用し、当該流域を周遊・滞在する観光地づくりについて、観光事業者とともに推進する。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	当該流域における周遊・滞在型観光造成事業、情報発信事業					
事業の 対象	何を	当該流域における周遊・滞在型観光				
	誰に	市民、企業等				
	どのくらい	通年利用ができる体験プログラムの他、交通機関と連動した観光企画を各時期に展開				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,590	50	1,610	50	1,645	50
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,590	50	1,610	50	1,645	50

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	1,000	1,000	1,000
決算額(C)	1,000	1,000	1,000
差額(B-C)	0	0	0
執行率(C/B)	100%	100%	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	2,590	2,610	2,645

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	500	500	500
決算額(F)	500	500	494
差額(E-F)	0	0	6
執行率(F/E)	100%	100%	99%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	2,090	2,110	2,151

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	着地型観光コンテンツ数		単位	種類
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	30	30		100
実績値	101	106		106
達成率	336.7%	353.3%		106.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	岐阜市宿泊者数の増加			
指標	～R5/長良川温泉宿泊者数、R6/国内外観光客の岐阜市宿泊者数	単位	人	
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値(以上)	300,000	300,000	700,000	
実績値	184,000	224,000	654,300	
達成率	61.3%	74.7%	93.5%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)	
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	県・市連携のスケールメリットを生かした誘客を図っていくため、今後も必要と考えられる事業である。	
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある		
			1 必要性はあまり高くない		
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない		協議会の事務局は県が担い、民間の協力も得ながら各種事業を実施している。岐阜市への誘客推進を図るため、市も事業を担う必要がある。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる		
			1 市が実施する必要性はあまり高くない		
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	本市の新たな体験型観光商品の開発や、市単独では困難な事業について、国補助金等を得て、県・市連携して実施しており、費用対効果は高い。		
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
		1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3		5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	着地型商品数の増加に伴い、長良川温泉宿泊者数も増加している。
				3 相関関係を示すデータがある	
				1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	10/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	世界農業遺産など、長良川流域におけるテーマを有する広域連携が生み出す誘客施策は効果的であり、引き続き事業を継続していく必要がある。	
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である		
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない		
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	未来のまちづくり構想 ・持続可能な観光まちづくり	
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である		
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)		
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)		
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない		

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	33/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	世界農業遺産「清流長良川の鮎」推進協議会の専門部会(観光部会)として、今後も、岐阜県と4市で連携し、長良川流域の観光資源を活用した誘客促進を進めていく必要がある。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660020

016

【1.基本情報】

事業名	日本観光振興協会負担金					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	観光コンベンション課	
実施方法	補助等		補助等の種類	加入団体負担金	実施主体	公益社団法人 日本観光振興協会
開始・終了年度	平成	元	年度～		年度	根拠法令・関連計画

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	本市における国内外の観光客の増加促進					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	・全国広域観光振興事業(観光地域づくり基盤形成事業、広域観光促進事業など) ・観光人材育成事業(観光セミナーの開催、研修会等の開催) ・観光交流活性化事業(地域インバウンド推進事業など)					
事業の 対象	何を	岐阜市の観光情報				
	誰に	国内外の観光客				
	どのくらい	人材育成研修支援、地域社会支援、観光展開催 など				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	32	1	32	1	33	1
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	32	1	32	1	33	1

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	270	270	270
決算額(C)	270	270	270
差額(B-C)	0	0	0
執行率(C/B)	100%	100%	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	302	302	303

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	302	302	303

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)）

指標	～R5/日本観光振興協会負担金 R6/市や観光コンベンション協会が参加した観光展及び商談会		単位	～R5/千円 R6/回
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値	270	270	4	
実績値	270	270	1	
達成率	100.0%	100.0%	25.0%	

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	岐阜市宿泊者数の増加		単位	～R5/回 R6/人
	令和4年度	令和5年度		
指標	～R5/市や観光コンベンション協会が参加した観光展及び商談会 R6/国内外観光客の岐阜市宿泊者数			
目標値(以上)	4	4	700,000	
実績値	1	1	654,300	
達成率	25.0%	25.0%	93.5%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)	
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	国が新たな観光ビジョンを策定し、観光先進国に向けて事業展開する中、本市においても、国と連携した観光誘客施策は重要である。日本観光振興協会が運営するホームページでの情報発信が行えるメリットがある。	
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある		
			1 必要性はあまり高くない		
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない		岐阜市への誘客推進を図るため、市も事業を担う必要がある。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる		
			1 市が実施する必要性はあまり高くない		
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	市単独では実施できない観光展に参加できるなど、スケールメリットを生かした事業に参加でき、費用対効果は高い。		
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
		1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	同協会が主催する観光展への参加や、フォーラムなどに参加することで効果的な誘客活動、情報収集ができる。	
			3 相関関係を示すデータがある		
			1 つながっていない又は不明確		
	アウトカム目標達成度	6 15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	外国人観光客を誘致するうえで、国と連携し、事業展開することは重要であり、今後も同協会への加入は必要である。	
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である		
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない		
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	未来のまちづくり構想 ・持続可能な観光まちづくり	
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である		
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)		
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)		
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない		

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	29 50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	国内外への誘客促進に取り組む中で、広域連携を進めることは重要であり、今後も同連盟への加入が必要と考えられる。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660020

017

【1.基本情報】

事業名	岐阜県観光連盟負担金					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	観光コンベンション課	
実施方法	補助等		補助等の種類	加入団体負担金	実施主体	一般社団法人岐阜県観光連盟
開始・終了年度	平成	元	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	本市における観光客の誘致					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	・旅行商品販売促進事業(国内誘客促進事業、海外誘客促進事業など) ・情報発信促進事業(インターネットメディア事業、観光情報発信事業など) ・DMO強化事業					
事業の 対象	何を	本市を含む国内観光情報				
	誰に	国内外の観光客・旅行会社など				
	どのくらい	商談会、国内観光物産展、ホームページ「ぎふの旅ガイド」運営など				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	159	5	161	5	165	5
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	159	5	161	5	165	5

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	423	423	423
決算額(C)	423	423	423
差額(B-C)	0	0	0
執行率(C/B)	100%	100%	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	582	584	588

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	582	584	588

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	～R5/岐阜県観光連盟負担金 R6/市や観光コンベンション協会が参加した観光展及び商談会		単位	～R5/千円 R6/回
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値	423	423	5	
実績値	423	423	7	
達成率	100.0%	100.0%	140.0%	

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	岐阜市宿泊者数の増加			
指標	国内外観光客の岐阜市宿泊者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値(以上)	700,000	700,000	700,000	
実績値	610,910	659,966	654,300	
達成率	87.3%	94.3%	93.5%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)	
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	観光情報源が多様化する中、同連盟が運営するHP「ぎふの旅ガイド」は個人・団体等様々なユーザーに活用されており、本市への誘客促進を図るうえで重要である。	
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある		
			1 必要性はあまり高くない		
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない		同連盟は、県内の観光振興の取りまとめを担う一般社団法人であり、代替できる組織は存在しない。その会員になることで広域的な連携のもと誘客に取り組むことが可能になる。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる		
			1 市が実施する必要性はあまり高くない		
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	市単独では実施が難しい観光展への参加、広域連携が図られたHPの運営など、スケールメリットを生かした事業に参画できることから、費用対効果は高い。		
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
		1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3		5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	同連盟が主催する観光展への参加や、広域連携が図られたHPの運営に協力することにより、効果的な誘客促進につながっており、今後も効果が見込まれる。
				3 相関関係を示すデータがある	
				1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	12/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	観光客を誘致するうえで、同連盟と連携し、事業展開することは重要であり、今後も同連盟への加入は必要である。	
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である		
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない		
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である		未来のまちづくり構想 ・持続可能な観光まちづくり
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である		
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)		
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)		
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない		

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	35/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
国内外への誘客促進に取り組む中で、広域連携を進めることは重要であり、今後も同連盟への加入が必要と考えられる。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660020

018

【1.基本情報】

事業名	ぎふ長良川花火大会負担金					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	観光コンベンション課	
実施方法	補助等		補助等の種類	その他負担金	実施主体	ぎふ長良川花火大会実行委員会
開始・終了年度	令和	4	年度～	年度	根拠法令・関連計画	ぎふ長良川花火大会実行委員会規約

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	岐阜市の夏の風物詩であった、長良川全国花火大会、全国選抜長良川中日花火大会が2019年を最後に中止となったことから、オール岐阜の一大イベントとして、観光資源としての認知度が高く、観光誘客のコンテンツとして極めて有効なイベントである花火大会を「ぎふ長良川花火大会」として開催し、観光誘客、シビックプライドの醸成に寄与することを目的とする。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	岐阜市内長良川河畔					
事業の 対象	何を	ぎふ長良川花火大会の開催				
	誰に	ぎふ長良川花火大会実行委員会				
	どのくらい	年1回				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	8,268	260	16,744	520	17,108	520
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	8,268	260	16,744	520	17,108	520

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	20,000	25,000	20,000
決算額(C)	20,000	25,000	20,000
差額(B-C)	0	0	0
執行率(C/B)	100%	100%	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	28,268	41,744	37,108

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	25,000	0
決算額(F)	0	25,000	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	100%	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	28,268	16,744	37,108

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	大会開催数		単位	回
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	-		1	1
実績値	-		1	1
達成率	-		100.0%	100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	毎年、多くの観光客を誘客している。			
	指標	来場者数		単位
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値(以上)	-		100,000	120,000
実績値	-		100,000	120,000
達成率	-		100.0%	100.0%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	5	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	夏季の主要イベントとして定着しており、シビックプライド醸成に寄与するとともに、毎年約12万人程の観光客が来場するため、社会のニーズに合っている。 来場者アンケートより必要性が高い事業である。 ・花火大会の満足度(とても満足、満足)64% ・次回の来訪以降(ぜひ来場したい、来場したい)63% 令和6年度市民意識調査より市の魅力となる事業である。 ・長良川の花火大会は岐阜市の魅力であるとの回答59.9%
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1 必要性はあまり高くない	
必要性	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	市のみならず、政財界が連携して取り組むべき象徴的な事業であり、負担金の抛出の必要性は非常に高い。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる	
			1 市が実施する必要性はあまり高くない	
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	5	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	実行委員会において可能な範囲でDX化することで、事務の負担を減らし効率的に事業を実施している。 また、持続可能なイベントとなるよう、初回から有料席を導入し、今年度は12種類もの席を設けることで費用負担が抑えられる仕組みを構築している。
			3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している	
			1 効率化されていない	
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	5	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	岐阜市の夏の風物詩であり、市を代表するイベントの一つとして、市内外から多くの観光客を集めるイベントである。 また、市外へ向けて岐阜市のPRが行われており事業効果が得られている。(観光客数R5:10万人⇒R6:12万人)
			3 相関関係を示すデータがある	
			1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	15 / 15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	夏季における主要イベントとして定着しており、市民だけでなく市外・県外から一定の観光客を集め、シビックプライドの醸成や観光客の滞在時間拡大に寄与する事業である。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	未来のまちづくり構想 ・持続可能な観光まちづくり
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	44 / 50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
シビックプライド醸成に加え、市外から多くの観光客を集める市を代表する象徴的なイベントとして、継続的に取り組んでいく。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660020

019

【1.基本情報】

事業名	道の駅柳津交流センター運営管理					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	観光コンベンション課	
実施方法	委託(民間)		補助等の種類		実施主体	株式会社チューキョーP&G
開始・終了年度	平成	16	年度～		根拠法令・関連計画	岐阜市道の駅柳津交流センター条例

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	一般道の利用者等に対し、良好な休憩の場を提供するとともに、地場産品の販売等を通して商業をはじめとする産業の活性化を図るため、施設を供与する。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	道の駅柳津交流センターの運営(利用受付、物販館等の貸出、利用料金の徴収など)、施設内外の保全、施設および設備等の保守管理。					
事業の 対象	何を	道の駅柳津交流センターの施設等				
	誰に	施設利用者				
	どのくらい	65,000人				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	954	30	966	30	987	30
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	954	30	966	30	987	30

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	13,529	17,729	12,989
決算額(C)	12,949	16,468	12,539
差額(B-C)	580	1,261	450
執行率(C/B)	96%	93%	97%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	13,903	17,434	13,526

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	1	1	1
決算額(F)	1	1	1
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	100%	100%	100%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般財源(D-F)	13,902	17,433	13,525

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	開館日数		単位	日
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	310		362	361
実績値	335		362	361
達成率	108.1%		100.0%	100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	一般道の利用者等に対し、良好な休憩の場を提供するとともに、地場製品の販売等を通して商業をはじめとする産業の活性化を図っている。			
指標	来場者数(レジ通過者)		単位	人
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値(以上)	65,000		65,000	65,000
実績値	54,081		53,078	57,822
達成率	83.2%		81.7%	89.0%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	経過年数19年 年間利用者数(レジ通過者) 57,822人(前年度比+8.9%)
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1 必要性はあまり高くない	
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	一般道の利用者等に対し、良好な休憩の場を提供するとともに、地場製品の販売等を通して商業をはじめとする産業の活性化を図る施設であるため、市が実施する必要がある。なお、当該施設は、県と市で共同設置したもので、運営管理は県との協定により市で実施している。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる	
			1 市が実施する必要性はあまり高くない	
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	指定管理(利用料金)制度を導入し、民間のノウハウによる効率化を図っている。	
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している		
		1 効率化されていない		
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	年間利用者数(レジ通過者) 57,822人(前年度比+8.9%)
			3 相関関係を示すデータがある	
			1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	12/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	県においてマンホールトイレが整備され、防災拠点としても重要である。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	未来のまちづくり構想に密接に関係している ・活力と暮らしやすさのあるまちへ
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	35/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	施設の設置目的である一般道路の利用者等に対し良好な休憩の場を提供するとともに、地場製品の販売等を通じて商業を始めとする産業の活性化を図り、市民と来訪者との交流を促進するため、指定管理者の民間ノウハウを活かした運営が必要である。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660020

020

【1.基本情報】

事業名	長良川うかいミュージアム(岐阜市長良川鶴飼伝承館)運営管理					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	観光コンベンション課	
実施方法	委託(民間)		補助等の種類		実施主体	JNFうかいミュージアム
開始・終了年度	平成	24	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市長良川鶴飼伝承館条例

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	岐阜市を代表する伝統文化である“ぎふ長良川の鶴飼”を「護り」「伝え」「広める」活動を通して、その魅力を広く紹介・発信するため、施設を供与する。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	長良川うかいミュージアム(岐阜市長良川鶴飼伝承館)の運営(利用受付、貸室等の貸出し、利用料金の徴収など)、「長良川鶴飼文化」の発信、施設内外の保全、施設および設備等の保守管理、指定事業および自主事業の実施を行う。					
事業の 対象	何を	長良川うかいミュージアム(岐阜市長良川鶴飼伝承館)の施設等				
	誰に	観光客、市民などの施設利用者				
	どのくらい	155,000人				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,131	67	2,157	67	2,204	67
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,131	67	2,157	67	2,204	67

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	131,293	133,744	105,990
決算額(C)	132,182	127,393	105,886
差額(B-C)	-889	6,351	104
執行率(C/B)	101%	95%	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	134,313	129,550	108,090

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	2,273	29,173	2,791
決算額(F)	2,791	23,322	2,628
差額(E-F)	-518	5,851	163
執行率(F/E)	123%	80%	94%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	131,522	106,228	105,462

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	開館日数		単位	日
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	332		333	332
実績値	332		332	332
達成率	100.0%		99.7%	100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	観光地・旅行先として長良川うかいミュージアムが認知される			
指標	来場者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値（以上）	140,000		155,000	169,400
実績値	115,008		128,932	124,170
達成率	82.1%		83.2%	73.3%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記) 3 ある程度のニーズがあり必要性がある 1 必要性はあまり高くない	経過年数12年 来場者数124,170人(前年度比▲3.7%) その内 観覧者数 44,105人(前年度比+14.2%)
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない 3 市が実施することにより事業効果が高くなる 1 市が実施する必要性はあまり高くない	岐阜市を代表する伝統文化である“ぎふ長良川の鶺鴒”を「護り」「伝え」「広める」活動を通して、その魅力を広く紹介・発信する施設であるため、岐阜市が実施する必要がある。
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記) 3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している 1 効率化されていない	指定管理(利用料金)制度を導入し、民間のノウハウによる効率化を図っている。
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記) 3 相関関係を示すデータがある 1 つながっていない又は不明確	利用者アンケートの結果 1847名のうち施設の全体的満足度約95%から肯定的な評価をいただいている。
	アウトカム目標達成度	11/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である 3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である 1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	“ぎふ長良川の鶺鴒”の伝統文化を「護り」「伝え」「広める」ことで、持続可能な観光まちづくりに結び付く。
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	10	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である 8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である 5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記) 3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記) 1 事業が市の計画に直接的に関係していない	未来のまちづくり構想に密接に関係している ・持続可能な観光まちづくり

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	38/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
施設の設置目的である長良川鶺鴒文化を発信する拠点として、文化の伝承及び観光の振興に寄与するため、指定管理者の民間ノウハウを活かした運営が必要である。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660020

021

【1.基本情報】

事業名	長良川国際会議場運営管理					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	観光コンベンション課	
実施方法	委託(民間)		補助等の種類		実施主体	トリニティぎふ
開始・終了年度	平成	7	年度～		根拠法令・関連計画	岐阜市長良川国際会議場条例

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	国際コンベンション都市づくりの拠点として、産業、学術及び文化の向上を図るとともに、市民福祉の向上を図るため、施設を供与する。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	長良川国際会議場の運営(利用受付、貸室等の貸出し、利用料金の徴収など)、イベント・コンベンションの誘致、施設内外の保全、施設及び設備等の保守管理、自主事業の実施。					
事業の 対象	何を	長良川国際会議場の施設等				
	誰に	施設利用者				
	どのくらい	280,000人				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,908	60	4,315	134	4,409	134
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,908	60	4,315	134	4,409	134

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	215,460	303,191	1,703,136
決算額(C)	205,967	272,994	1,640,736
差額(B-C)	9,493	30,197	62,400
執行率(C/B)	96%	90%	96%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	207,875	277,309	1,645,145

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	4,125	97,935	1,357,473
決算額(F)	28,697	109,014	1,362,695
差額(E-F)	-24,572	-11,079	-5,222
執行率(F/E)	696%	111%	100%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	179,178	168,295	282,450

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	開館日数		単位	日
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	360		359	359
実績値	360		359	359
達成率	100.0%		100.0%	100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	国際コンベンション都市づくりの拠点として、産業、学術及び文化の向上を図るとともに、市民福祉の向上を図るため、施設を供与する。			
指標	利用者数		単位	千人
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値（以上）	280		280	210
実績値	186		190	140
達成率	66.4%		67.9%	66.7%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記) 3 ある程度のニーズがあり必要性がある 1 必要性はあまり高くない	R6.12.2～R8.3.31大規模改修工事のため休館 築29年 来場者数139,692人(前年度比▲26.3%) 施設稼働率50.7%(前年度比+5.0%)
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない 3 市が実施することにより事業効果が高くなる 1 市が実施する必要性はあまり高くない	民間ノウハウを活用した指定管理制度を導入しているが、施設維持管理や老朽化に伴う施設整備費に対して料金収入は少ないため、施設設置目的を果たすには、市で運営することが最適である。
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記) 3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している 1 効率化されていない	指定管理(利用料金)制度を導入し、民間のノウハウによる効率化を図っている。
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記) 3 相関関係を示すデータがある 1 つながっていない又は不明確	利用者アンケートの結果 53件のうち約96%の方が、施設全体の満足度でほぼ満足以上の評価をいただいている。
	アウトカム目標達成度	9 / 15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である 3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である 1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	戦略的なMICE誘致と観光との連携により、地域ビジネスの創出や研究促進、地域経済への波及効果、都市のブランド力向上に結び付く。
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である 8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である 5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記) 3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記) 1 事業が市の計画に直接的に関係していない	未来のまちづくり構想に密接に関係している ・人を魅了し、交流を生み出すまちへ

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	34 / 50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	施設の設置目的である国際コンベンション都市づくりの拠点として、国際交流をはじめとする地域間交流を促進することにより、産業、学術及び文化の向上に資するため、指定管理者の民間ノウハウを活かした運営が必要である。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660020

022

【1.基本情報】

事業名	じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター)運営管理					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	観光コンベンション課	
実施方法	委託(民間)		補助等の種類		実施主体	T・H・Bファシリティズ
開始・終了年度	平成	19	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市文化産業交流センター条例

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	地域交流、文化活動および産業活動の拠点として、地域交流の促進、文化の向上および産業の振興を図るため、施設を供与する。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター)の運営(利用受付、貸室等の貸出し、利用料金の徴収など)、イベント・コンベンションの誘致、施設内外の保全、施設および設備等の保守管理、自主事業の実施。					
事業の 対象	何を	じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター)の施設等				
	誰に	施設利用者				
	どのくらい	114,000人				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,908	60	1,932	60	1,974	60
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,908	60	1,932	60	1,974	60

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	77,403	41,455	92,649
決算額(C)	66,838	33,641	85,981
差額(B-C)	10,565	7,814	6,668
執行率(C/B)	86%	81%	93%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	68,746	35,573	87,955

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	16,836	14,373	31,403
決算額(F)	26,770	15,055	30,956
差額(E-F)	-9,934	-682	447
執行率(F/E)	159%	105%	99%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	41,976	20,518	56,999

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	開館日数		単位	日
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値	359	360		359
実績値	359	360		359
達成率	100.0%	100.0%		100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	地域交流、文化活動および産業活動の拠点として、地域交流の促進、文化の向上および産業の振興を図るため、施設を供与する。			
指標	利用者数		単位	千人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値(以上)	100	160	100	
実績値	96	114	118	
達成率	96.0%	71.3%	118.0%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記) 3 ある程度のニーズがあり必要性がある 1 必要性はあまり高くない	築23年 来場者数117,869人(前年度比+4.1%) 施設稼働率46.7%(前年度比▲1.5%)
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない 3 市が実施することにより事業効果が高くなる 1 市が実施する必要性はあまり高くない	民間ノウハウを活用した指定管理制度を導入しているが、施設維持管理や老朽化に伴う施設整備費に対して料金収入は少ないため、施設設置目的を果たすには、市で運営することが最適である。
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記) 3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している 1 効率化されていない	指定管理(利用料金)制度を導入し、民間のノウハウによる効率化を図っている。
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記) 3 相関関係を示すデータがある 1 つながっていない又は不明確	利用者アンケートの結果 316名のうち約97%の方が、施設全体の満足度で良い以上の評価をいただいている。
	アウトカム目標達成度	12/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である 3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である 1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	戦略的なMICE誘致と観光との連携により、地域ビジネスの創出や研究促進、地域経済への波及効果、都市のブランド力向上に結び付く。
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である 8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である 5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記) 3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記) 1 事業が市の計画に直接的に関係していない	未来のまちづくり構想に密接に関係している ・人を魅了し、交流を生み出すまちへ

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	37/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	施設の設置目的である地域交流、文化活動及び産業活動の拠点として、地域交流の促進、文化の向上及び産業の振興を図るため、指定管理者の民間ノウハウを活かした運営が必要である。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660020

023

【1.基本情報】

事業名	岐阜城運営管理					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	観光コンベンション課	
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	31	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜城条例

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	岐阜城は、岐阜市を代表する観光施設の1つである。住民の福祉を図り、郷土の史蹟の保存および周辺の観光施設への誘客のため、施設の運営管理を行う。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	岐阜城の運営、施設内外の保全、施設及び設備の保守管理。					
事業の 対象	何を	岐阜城及び岐阜城資料館				
	誰に	観光客、市民				
	どのくらい	330,000人				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,053	96	3,220	100	3,290	100
パートタイム会計年度任用職員A	5,252	520	5,252	520	6,292	520
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	8,305	616	8,472	620	9,582	620

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	50,836	49,686	51,043
決算額(C)	43,598	46,076	47,348
差額(B-C)	7,238	3,610	3,695
執行率(C/B)	86%	93%	93%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	51,903	54,548	56,930

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	44,619	45,408	54,120
決算額(F)	48,147	54,089	54,958
差額(E-F)	-3,528	-8,681	-838
執行率(F/E)	108%	119%	102%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	3,756	459	1,972

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	開館日数		単位	日
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	365		366	365
実績値	365		366	365
達成率	100.0%		100.0%	100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	岐阜城来場者数の増加			
指標	来場者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値(以上)	230,000		240,000	336,000
実績値	291,413		328,041	329,082
達成率	126.7%		136.7%	97.9%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)	
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	築68年 入場者数329,082人(前年度比(+0.3%))	
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある		
			1 必要性はあまり高くない		
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない		窓口や清掃業務は、委託により実施している。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる		
			1 市が実施する必要性はあまり高くない		
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	1	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	直営により運営している。		
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
		1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	休館することなく運営することで入場者数の維持に繋がっている。 ・365日運営 前年度比+0% ・入場者数329,082人 前年度比+0.3%	
			3 相関関係を示すデータがある		
			1 つながっていない又は不明確		
	アウトカム目標達成度	14/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	岐阜城を安定して運営することで、持続可能な観光まちづくりに結び付く。	
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である		
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない		
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	未来のまちづくり構想に密接に関係している ・持続可能な観光まちづくり	
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である		
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)		
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)		
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない		

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	35/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
観光客が増加し観光地ブランドが確立することで、観光関連産業の活性化に間接的に結びつく事業であることから、継続して実施していく。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660020

024

【1.基本情報】

事業名	観光交流協定等に基づく誘客促進事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	観光コンベンション課	
実施方法	委託(民間)		補助等の種類		実施主体	Trip.com Group
開始・終了年度	令和	6	年度～		根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	本市の友好都市である杭州市や、観光交流協定を締結している西安市、江蘇省との連携を活かし、本市が文化・歴史的な交流都市であることをPRするとともに、本市の観光情報を効果的に発信し、中国からの誘客を図る。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	中国人観光客の宿泊予約動向や市場の展望等について紹介するセミナーを実施					
事業の 対象	何を	岐阜市の観光情報				
	誰に	中国の訪日旅行者				
	どのくらい	中国人観光客の宿泊予約動向や市場の展望等について紹介するセミナーを実施				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	0	0	0	0

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	0	0	1,000
決算額(C)	0	0	1,000
差額(B-C)	0	0	0
執行率(C/B)	—	—	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	0	0	1,000

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	500
決算額(F)	0	0	500
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	—	—	100%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	0	0	500

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	中国向けのSNS等の発信件数 (R6はセミナー開催回数)		単位	回
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	-	-		1
実績値	-	-		1
達成率	-	-		100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	中国市場向けに岐阜市の観光コンテンツの情報を発信することで、観光地・旅行先として認知される。			
指標	岐阜市内における中国からの宿泊者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値(以上)	-	-	11,000	
実績値	-	-	19,271	
達成率	-	-	175.2%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	中国は2024年の訪日外国人観光客数第2位であり、岐阜市外国人宿泊者数では第1位となっている。インバウンド市場における中国の存在感は大きく、中国人観光客の宿泊予約動向等を把握することは重要である。
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1 必要性はあまり高くない	
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	
3 市が実施することにより事業効果が高くなる				
1 市が実施する必要性はあまり高くない				
効率性	効率がされているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	県の補助金を活用し、効率的に事業を実施している。
			3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している	
			1 効率化されていない	
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	中国からの宿泊者数は増加傾向にあり、取り組みの効果は一定程度ある。
			3 相関関係を示すデータがある	
			1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	15 / 15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	インバウンドの増加は、岐阜市の観光振興に結びつく。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	未来のまちづくり構想に関わる事業である。 ・持続可能な観光まちづくり
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
					40 / 50	拡充	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	中国市場でのインバウンド需要の本格的回復を見据え、観光連携に関する協定を締結し、事業を拡充していく。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660040

001

【1.基本情報】

事業名	鵜飼観覧船事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	鵜飼観覧船事務所	
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	2	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市観覧船に関する条例

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	全国から観光客を誘客し、鵜飼観覧船に乗船してもらうことにより観光産業の活性化及び経済波及効果を上げる。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	鵜飼観覧船事業を行い、全国から観光客を誘客する。 鵜飼は、毎年5月11日から10月15日まで鵜飼休みの日を除き毎夜行われ、鵜飼観覧船を運航する。					
事業の 対象	何を	鵜飼観覧				
	誰に	観光客及び市民				
	どのくらい	5月11日～10月15日(鵜飼休みの日及び増水による中止の日を除く)				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	すべての観覧船において、乗船定員数の制限を取りやめ、本来の定員数での運航を再開した。前年度に引き続いて椅子席の観覧船を就航したことに加え、新たに16人椅子席の貸切船料金を設定して、貸切船としての運用を可能とした。					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	49,608	1,560	50,232	1,560	51,324	1,560
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	2,390	478	0	0	0	0
計(A)	51,998	2,038	50,232	1,560	51,324	1,560

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	405,945	438,122	436,609
決算額(C)	345,271	404,689	399,840
差額(B-C)	60,674	33,433	36,769
執行率(C/B)	85%	92%	92%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	397,269	454,921	451,164

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	256,324	267,973	296,515
決算額(F)	186,280	243,986	286,789
差額(E-F)	70,044	23,987	9,726
執行率(F/E)	73%	91%	97%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	210,989	210,935	164,375

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	鵜飼観覧船乗船者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値	75,000	85,000	90,000	
実績値	52,889	73,101	83,768	
達成率	70.5%	86.0%	93.1%	

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	鵜飼観覧船乗船客数の増加			
指標	鵜飼観覧船乗船者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値(以上)	75,000	85,000	90,000	
実績値	52,889	73,101	83,768	
達成率	70.5%	86.0%	93.1%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	5	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	コロナ禍以降、乗船客数は毎年増加しており、令和6年度には83,768人まで回復するなど、需要が高まっている。
	3 ある程度のニーズがあり必要性がある			
1 必要性はあまり高くない				
必要性	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	「ぎふ長良川の鵜飼」は岐阜市が世界に誇る伝統文化であり、伝統の保護、継承という側面もあることから鵜飼観覧船事業は市が行っている。
	3 市が実施することにより事業効果が高くなる			
	1 市が実施する必要性はあまり高くない			
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	観覧船の予約受付事務に関して、オンライン決済を伴う新たな予約システムの運用を開始し、窓口での発券事務、予約受付事務の工数削減を行った。
	3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
	1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	鵜飼観覧船乗船者が岐阜城や岐阜公園等の周辺観光地を訪れることで、岐阜市全体の観光客増加や活性化に寄与している。
	3 相関関係を示すデータがある			
	1 つながっていない又は不明確			
有効性	アウトカム目標達成度	11/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
	先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である
3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である				
1 将来の課題解決に対する効果はあまりない				
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	ぎふ長良川の鵜飼は、市における重要な観光資源の一つであり、鵜飼観覧船事業は「持続可能な観光まちづくり」において重要な位置づけの事業である。
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		改善		改善	38/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
持続可能な観覧船事業の継続に向けて、船員不足や後継者育成などの課題解決に向け、事業の改善を図っていく。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660040

002

【1.基本情報】

事業名	船員互助会助成金					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	鵜飼観覧船事務所	
実施方法	補助等		補助等の種類	その他補助金	実施主体	岐阜市鵜飼観覧船船員互助会
開始・終了年度	平成	9	年度～		年度	根拠法令・関連計画 岐阜市鵜飼観覧船船員互助会助成金交付要綱

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	船員福利厚生事業の実施					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	船員互助会に対して助成を行う。					
事業の 対象	何を	助成金				
	誰に	岐阜市鵜飼観覧船船員互助会				
	どのくらい	船員互助会の当年度会費の4分の1を助成。ただし岐阜市予算額以内とする。(25万円)				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	64	2	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	64	2	0	0	0	0

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	0	250	250
決算額(C)	98	0	0
差額(B-C)	-98	250	250
執行率(C/B)	-	0%	0%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	162	0	0

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	162	0	0

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)）

指標	助成金額		単位	千円
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	225	225		225
実績値	98	0		0
達成率	43.6%	0.0%		0.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	互助会会員数の増加			
指標	互助会会員数		単位	人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値(以上)	90	90	90	
実績値	79	91	83	
達成率	87.8%	101.1%	92.2%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	観覧船船員の福利厚生を補助する事業であり必要性がある。
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1 必要性はあまり高くない	
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	
3 市が実施することにより事業効果が高くなる				
1 市が実施する必要性はあまり高くない				
効率性	効率がされているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	1	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	事務の効率化はされていない。
			3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している	
			1 効率化されていない	
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	1	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	近年は助成申請がなかったため、相関関係は不明確である。
			3 相関関係を示すデータがある	
			1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	13/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	令和6年度は船員組合との交渉において、次年度以降に本助成金を観覧船船員の船舶免許取得事業に活用することが決定しており、現在の課題である船長を務める船員の不足解消に繋がる事業である。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	持続可能な鵜飼観覧船事業の実施に資する事業である。
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	36/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	船員の福利厚生を補助する事業である。鵜飼観覧船の安定的な運航のために船員を確保することは、乗船者数の維持及び増加に不可欠であり、持続可能な鵜飼事業のため今後も継続すべき事業である。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660040

003

【1.基本情報】

事業名	ウミウ捕獲技術保存協議会					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	鶴飼観覧船事務所	
実施方法	補助等		補助等の種類	加入団体負担金	実施主体	ウミウ捕獲技術保存協議会
開始・終了年度	平成	16	年度～		年度	根拠法令・関連計画

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	(H15年の鶴捕り場の崩落を受け、岐阜市長の提案によりH16年に設立され現在に至る。) 鶴飼の伝統文化継承に必要となるウミウの安定供給に貢献すること。 岐阜市の宝である「鶴飼」をウミウの安定供給により支えることで観光に寄与すること。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	・ウミウ捕獲技術保存に関する事及びウミウの安定供給に関する事。 ・鶴飼文化振興のため環境整備に関する事。 ・ウミウの捕獲から鶴飼実施までに関する情報交換及び課題の協議。 ・ウミウ捕獲場に関する事。					
事業の 対象	何を	負担金(加入団体負担金)				
	誰に	ウミウ捕獲技術保存協議会				
	どのくらい	事業規模は約440万円で日立市(1/2)と有田市を除く11鶴飼開催地(1/2)が拠出する。負担額は、均等割額(10万円)と羽数割(1/4の110万円に過去15年間の鶴の供給割合を乗じて算出した額)で、R6年度は232,500円。				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	318	10	322	10	329	10
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	318	10	322	10	329	10

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	358	353	366
決算額(C)	358	353	233
差額(B-C)	0	0	133
執行率(C/B)	100%	100%	64%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	676	675	562

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	676	675	562

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	ウミウ捕獲数(岐阜市分)		単位	羽
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	13	13	13	13
実績値	13	13	13	13
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

指標	ウミウ供給数		単位	羽
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
成果	ウミウの捕獲により供給量が安定し、鵜飼事業を円滑に実施できる。			
目標値(以上)	13	13	13	13
実績値	13	13	13	13
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)	
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	日立市にあるウミウ捕獲場は、平成23年の東日本大震災で捕獲場に亀裂が入り、崩落の可能性もあるなど、今後のウミウの安定供給のためにも捕獲場の維持は欠かせない。また、ベテランの鵜捕り師が引退するなど、後継者育成も課題となっている。協議会を通し、捕獲場の維持及び後継者の育成に寄与している。	
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある		
			1 必要性はあまり高くない		
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない		鵜飼事業の主体であり、市域の観光振興を図る市が行う事業である。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる		
			1 市が実施する必要性はあまり高くない		
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	負担金は協議会の平成4年からの累計捕獲数に単価を乗じる形で算出され、毎年負担金が増加していた。このため、平成22年度から算出期間に期限(過去15年間の捕獲総数)を設けることを岐阜市が提案し、増加することに対し歯止めを掛けている。		
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
		1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	1	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	捕獲したウミウを鵜飼事業にて十分に供給できている。	
			3 相関関係を示すデータがある		
			1 つながっていない又は不明確		
	アウトカム目標達成度	15 / 15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	将来の鵜飼文化の継続と、ウミウの安定供給、捕獲技術後継者の育成問題を踏まえた事業であり、当該事業は必要である。	
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である		
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない		
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	ぎふ長良川の鵜飼は、市における重要な観光資源の一つであり、また、「持続可能な観光まちづくり」において重要な位置づけの事業である。	
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である		
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)		
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)		
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない		

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	36 / 50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	ウミウ捕獲技術保存協議会の活動事業によって、ウミウと捕獲技術の安定供給が継続されており、鵜飼の伝統文化を支えていることから、今後も必要である。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660040

004

【1.基本情報】

事業名	長良川遊覧船事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	鵜飼観覧船事務所	
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	29	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	岐阜市に來られた観光客に本市の遊覧船をPRするとともに、国の重要文化的景観に選定された景色を船上から楽しんでいただくことを目的に遊覧船を運航する。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	鵜飼観覧船乗り場を発着とする遊覧船をGW期間・花見期間に運航する。運航時間は10:00～16:00とし、1時間に1便、1日6便を運航する(最終便15:00出航)。遊覧時間は40分～45分。					
事業の 対象	何を	遊覧船				
	誰に	観光客及び市民				
	どのくらい	GW期間(10日間を予定)、花見期間(4日間を予定)				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	127	4	129	4	132	4
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	127	4	129	4	132	4

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	974	781	781
決算額(C)	728	547	681
差額(B-C)	246	234	100
執行率(C/B)	75%	70%	87%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	855	676	813

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	2,272	1,252	1,485
決算額(F)	1,269	929	1,212
差額(E-F)	1,003	323	273
執行率(F/E)	56%	74%	82%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	-414	-253	-399

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	開催日数		単位	日
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	15		14	14
実績値	14		13	14
達成率	93.3%		92.9%	100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	鵜飼期間以外でも観覧船のPRを図ることができる。			
指標	遊覧船乗船者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値(以上)	1,425		1,316	1,620
実績値	1,482		1,053	1,368
達成率	104.0%		80.0%	84.4%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)	
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	目標値に至っていないが、年々乗船数は増加しており収益を得ていることから、必要性がある。	
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある		
			1 必要性はあまり高くない		
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない		本体部分の鵜飼事業を市が行っており、この事業のみを民間が実施することは難しい。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる		
			1 市が実施する必要性はあまり高くない		
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	鵜飼事業同様にオンラインによる予約としており、システムにて管理しておりDXが図られている。		
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
		1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3		5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	アウトカム評価のとおり、目標は達成していないが、令和6年度は1,368人乗船の実績があり、乗船者数の増加につながっている。
				3 相関関係を示すデータがある	
				1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	13/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	遊覧船・鵜飼観覧船事業とも、重要な観光資源の一つであり、将来の課題を見据えた事業である。	
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である		
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない		
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である		ぎふ長良川の鵜飼は、市における重要な観光資源の一つであり、鵜飼観覧船事業は「持続可能な観光まちづくり」において重要な位置づけの事業である。
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である		
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)		
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)		
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない		

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		改善		現状維持	38/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
鵜飼期間以外の春季に実施する当該遊覧船事業により、一定の乗船数と収益があるため、継続が必要である。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660040

005

【1.基本情報】

事業名	「ぎふ長良川の鶺鴒&観光PRオリジナルTシャツ」販売事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	鶺鴒観覧船事務所	
実施方法	委託(民間)		補助等の種類		実施主体	岐阜市
開始・終了年度	令和	3	年度～		根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	販売要望の高いぎふ長良川の鶺鴒の観光PRオリジナルTシャツを販売することで、観光客及び市民の満足度向上と観光PRを図るとともに、収益改善の一助とする。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	サイズはM/L/2L/3L、カラーバリエーションはネイビー、グリーン、グレーの3色の3色展開。鶺鴒観覧船待合所内の(株)長良ういろ売店に販売を委託する。					
事業の 対象	何を	ぎふ長良川の鶺鴒&観光PRオリジナルTシャツ				
	誰に	観光客及び市民				
	どのくらい	5月11日～3月31日				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	サイズに3Lを追加して外国人観光客のニーズを満たすとともに、より幅広い層に販売可能となった。					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,862	90	2,898	90	2,961	90
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,862	90	2,898	90	2,961	90

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	330	440	720
決算額(C)	277	412	622
差額(B-C)	53	28	98
執行率(C/B)	84%	94%	86%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	3,139	3,310	3,583

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	450	600	1,200
決算額(F)	447	600	772
差額(E-F)	3	0	428
執行率(F/E)	99%	100%	64%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	2,692	2,710	2,811

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	Tシャツ作成枚数		単位	枚
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	301		400	600
実績値	301		400	600
達成率	100.0%		100.0%	100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	Tシャツ販売枚数		単位	枚
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
広報、メディアを通じて間接的に鵜飼観覧船事業の宣伝効果に繋がるとともに、販売収益を観覧船事業費に充てることができる				
指標				
目標値(以上)	301		400	600
実績値	301		400	386
達成率	100.0%		100.0%	64.3%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	令和3年度から令和5年度にかけては作成枚数を完売し、令和6年度についても令和5年度の販売枚数に迫る売れ行きがあった。今後もTシャツへの需要は継続することが見込まれる。
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1 必要性はあまり高くない	
必要性	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	市が運営する鵜飼観覧船事業のPRに資する事業であり、また、Tシャツのデザインは、観覧船船員等と同一のもので、観覧船船員と同じものをおみやげ品として求める消費者のニーズがある。さらに、Tシャツによる収益を観覧船事業費に充てることができるため、市が実施することが望ましい。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる	
			1 市が実施する必要性はあまり高くない	
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	職員が行うのはTシャツ作成及び販売委託契約事務のみであり、事業は効率化されている。
			3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している	
			1 効率化されていない	
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	5	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	R6年度販売用Tシャツの制作費用は529,760円、販売手数料を差し引いた売上額が694,800円であり、費用を上回る収益を得ているため、事業の成果は十分に上がっている。
			3 相関関係を示すデータがある	
			1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	13/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	鵜飼観覧船事業のPRに繋がる事業であり、Tシャツ販売の収益を観覧船事業費に充てることによって、「持続可能な観光まちづくり」に寄与することができる。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	ぎふ長良川の鵜飼は、市における重要な観光資源の1つであり、鵜飼観覧船事業を今後も持続可能なものとするため、Tシャツ販売は非常に有益な事業である。
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	38/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	鵜飼観覧船事業のみならず、岐阜市の観光振興の活性化と顧客満足度の向上、観光誘客の推進に大きく貢献する事業であり、今後の販売収益の拡大に向けて、事業の改善を図っていく。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660040

006

【1.基本情報】

事業名	観覧船予約システム(オンライン決済)の運用					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	鵜飼観覧船事務所	
実施方法	委託(民間)		補助等の種類		実施主体	岐阜市
開始・終了年度	令和	5	年度～		根拠法令・関連計画	岐阜市観覧船に関する条例、岐阜市観覧船に関する条例施行規則

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	観覧船予約や乗船料納入の課題解決を図るとともに、より多くの乗船客を迎える体制を構築を図る。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	予約システムの運営により、インターネット予約とオンライン決済を可能にする。					
事業の 対象	何を	予約システムによるインターネット予約・オンライン決済				
	誰に	観光客及び市民				
	どのくらい	3月1日～10月15日				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	令和6年度よりオンライン決済を可能とした。					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,862	90	2,898	90	2,961	90
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,862	90	2,898	90	2,961	90

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	0	13,871	3,494
決算額(C)	0	13,702	3,208
差額(B-C)	0	169	286
執行率(C/B)	-	99%	92%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	2,862	16,600	6,169

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	2,862	16,600	6,169

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	インターネット予約者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	-	-		45,000
実績値	-	-		29,368
達成率	-	-		65.3%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果				
インターネット予約の利用により、電話対応や事務作業が削減される。				
指標	インターネット予約者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値(以上)	-	-		45,000
実績値	-	-		29,368
達成率	-	-		65.3%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)	
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	当該事業により、予約・決済を速やかに実施ができており、効果的に鵜飼事業を運用することができている。	
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある		
			1 必要性はあまり高くない		
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない		鵜飼観覧船事業の主体は市であり、市域の観光振興を図る市が行う事業である。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる		
			1 市が実施する必要性はあまり高くない		
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	予約と電子決済のオンライン化により電話対応が減少し作業負担軽減が図られた。		
		3 効率化によりミスが防止される、作業負担が軽減されるなど生産性が向上している			
		1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	インターネット予約の利用により、遠方地や外国人等でも鵜飼の予約等を行うことができ、多くの利用者にサービスの提供ができています。	
			3 相関関係を示すデータがある		
			1 つながっていない又は不明確		
	アウトカム目標達成度	9/15	達成率20ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	国内の市外・県外の観光客や外国人観光客の課題を見据え、観覧船予約システム(オンライン決済)は有効である。	
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である		
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない		
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	10	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	ぎふ長良川の鵜飼は、市における重要な観光資源の1つであり、鵜飼観覧船事業を今後も持続可能なものとするため、当該事業は非常に有益な事業である。	
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である		
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)		
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)		
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない		

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
				現状維持	36/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
今後もオンラインシステムによる予約・決済処理を運用して、活性化により鵜飼観覧船乗数の増加に向けて、事業を継続していく。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660050

001

【1.基本情報】

事業名	アートライブ・ウエルカム！アーティスト					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	文化芸術課	
実施方法	補助等		補助等の種類	その他負担金	実施主体	アートライブ・ウエルカム！アーティスト実行委員会
開始・終了年度	平成	19	年度～	年度	根拠法令・関連計画	文化芸術基本条例、文化芸術推進基本計画

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	子どもたちが文化芸術を体感できる機会の充実と文化芸術を担う人材の育成を図る。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	岐阜市出身、あるいはゆかりのある芸術家の地元での発表機会を提供し、パフォーマンスを交えながら子どもたちにアーティストの情熱や生き方等を語り伝える。					
事業の 対象	何を	アーティストの発表の場及び児童・生徒との交流				
	誰に	市内の小中学生				
	どのくらい	市内の小学校47校、中学校25校を3年間で一巡する。				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	700	22	1,159	36	987	30
パートタイム会計年度任用職員A	1,111	110	1,111	110	1,331	110
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,811	132	2,270	146	2,318	140

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	2,700	2,500	2,500
決算額(C)	2,282	2,436	2,359
差額(B-C)	418	64	141
執行率(C/B)	85%	97%	94%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	4,093	4,706	4,677

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	1,000	1,000	1,000
決算額(F)	1,000	1,000	1,000
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	100%	100%	100%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	3,093	3,706	3,677

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	発表の場・学校数		単位	組・校
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	25・25		24・24	24・24
実績値	24・24		24・24	24・24
達成率	96.0%		100.0%	100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	子どもたちが本物の文化・芸術とふれあいアーティストの情熱や生きざまを学ぶとともに、地元アーティストの活躍の場を創出。			
	指標	受講児童・生徒数		単位
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値（以上）	6,266		7,121	6,959
実績値	5,061		8,821	7,774
達成率	80.8%		123.9%	111.7%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	5	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	事業後のアンケートより、87%の学校から、「とても良かった」または「良かった」との回答を得られていることや、「ぜひ今後も続けていきたい」、「3年に1回ではなく毎年でも開催して欲しい」などの感想が得られている。また、岐阜市ゆかりのアーティスト(講師)にとっても、市内小中学校で講演することで活躍の場を広げられるという意味でも、必要性は高いと考える。
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1 必要性はあまり高くない	
必要性	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	市内小中学校において、岐阜市ゆかりのアーティスト(講師)がパフォーマンスを披露することで、子どもたちが本物の文化・芸術とふれあい、またアーティストの情熱や生きざまを学ぶ機会とするとともに、地元アーティストの活躍の場を創出することができるため、市を含む実行委員会が実施するのが妥当である。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる	
			1 市が実施する必要性はあまり高くない	
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	開催後のアンケートを講師へ送る際に、郵送ではなく電子メールで送付したことで、1,210円(@110円×11名)の郵送料を抑えることができた。
			3 効率化によりミスが防止される、作業負担が軽減されるなど生産性が向上している	
			1 効率化されていない	
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	教師のアンケート結果においても大変好評であり、児童・生徒の感想からも本物の文化芸術に触れた感動やアーティストの考えなどを聞くことで新しい発見を得られるなど、満足度も高いため、期待した効果が得られている。
			3 相関関係を示すデータがある	
			1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	14/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	これからの未来を担う子どもたちにとって、将来を見据える機会や、現在の自身の在り方などを見つめ直す機会の創出に寄与する事業であり、「将来の夢や目標を持っている生徒の割合が全国と比べてやや低い」(構想.p.26)という現状の改善に資する事業である。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	未来のまちづくり構想「シビックプライドの醸成」「子どもファースト」)に関わる事業である。 学校教育と連携して子どもたちが文化芸術を体験できる機会の充実を図るとい「岐阜市文化芸術推進基本計画」の施策の方向に合うものであり、地元アーティストの活躍の場を広げ、未来への投資と考えられるとともに、今後岐阜の文化芸術を担うアーティストの育成にもなるため、市の目指すべき方向性と合致していると考えられる。
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	41/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	子どもたちが文化芸術を体験できる機会の充実を図るとい「岐阜市文化芸術推進基本計画」の施策の方向に合うものであり、アーティストからの情熱や生き方を学ぶことにより、将来を見据える機会にもなること、また、地元アーティストの活躍の場を広げ、今後岐阜の文化芸術を担うアーティストの育成にもなる。さらに、地元アーティストを知ることによりシビックプライドの醸成にもつながることから、今後も継続して実施する。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660050

002

【1.基本情報】

事業名	岐阜市民文化祭(市民芸術祭)						
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	文化芸術課		
実施方法	補助等		補助等の種類	その他負担金	実施主体	岐阜市民芸術祭実行委員会	
開始・終了年度	昭和	63	年度～		年度	根拠法令・関連計画	文化芸術基本条例、文化芸術推進基本計画

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	岐阜市で活躍する芸術文化団体または個人発表の機会を提供するとともに、優れた活動及び伝統芸能を多くの市民が鑑賞できる機会を作り、岐阜市の芸術文化の高揚を図る。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	洋楽、邦楽、洋舞、邦舞、演劇の5部門ごとに、市内の舞台芸術団体または個人が公演を企画、実施する。					
事業の 対象	何を	岐阜市民芸術祭				
	誰に	参加者(出演者及び入場者)				
	どのくらい	洋楽、邦楽、洋舞、邦舞、演劇の5部門				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	邦楽の部において、市民から出演者を募集し舞台芸術に参画する機会を提供したこと。					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	318	10	322	10	329	10
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	318	10	322	10	329	10

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	6,516	5,803	5,613
決算額(C)	6,432	5,689	5,613
差額(B-C)	84	114	0
執行率(C/B)	99%	98%	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	6,750	6,011	5,942

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	6,750	6,011	5,942

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	公演日数		単位	日
	令和4年度	令和5年度		
目標値	31		25	31
実績値	31		27	29
達成率	100.0%		108.0%	93.5%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	出演者数・観覧者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度		
目標値（以上）	490・5,000		490・5,500	450・4,500
実績値	313・3,186		504・4,509	370・3,139
達成率	63.8%		92.4%	76.0%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	5	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	舞台芸術活動の創造により市の文化芸術の振興を図ることを目的としている。例年、300人以上が出演し、また、3,000人を超える多くの人が鑑賞し、市民の発表・鑑賞機会の提供に貢献している。
	3 ある程度のニーズがあり必要性がある			
1 必要性はあまり高くない				
必要性	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	市民の創作意欲を高め、文芸創作活動の振興と地域文化の向上を図ることを目的としており、岐阜市の文化芸術の振興のため、市を含む実行委員会が実施するのが妥当である。
	3 市が実施することにより事業効果が高くなる			
	1 市が実施する必要性はあまり高くない			
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	約4,000人の受益者があり、多くの発表及び鑑賞の機会を創出しており、費用対効果は高い。行政負担以外に各部会の参加者負担金及びチケット収入があり、それが事業費の約3分の2を占めている。また、実行委員会形式で運営しており、事務局は民間である。
	3 効率化によりミスが防止される、作業負担が軽減されるなど生産性が向上している			
	1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	アーティストの舞台芸術発表の場を多く創出することができており、市民が身近なところで気軽に文化芸術に親しみ、取り組めるような環境づくりにも寄与している。
	3 相関関係を示すデータがある			
	1 つながっていない又は不明確			
有効性	アウトカム目標達成度	10 15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
	先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である
3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である				
1 将来の課題解決に対する効果はあまりない				
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	生涯にわたって誰もが文化芸術やスポーツを楽しみ、豊かな感性と生きる力を育むとともに、心身ともに健康で生活の質を高め続けること(構想p.29)に寄与する取組である。「文化芸術推進基本計画」に、市民が主体的に取り組む文化芸術活動を応援する事業として定められている。
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	35 50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
本市の文化芸術を推進する基幹事業として身近なところで文化芸術の発表・鑑賞する機会の提供に貢献している。市民の文化芸術の振興に寄与するものであり、今後も継続して実施する。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660050

003

【1.基本情報】

事業名	岐阜市民文化祭(美術展覧会)						
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	文化芸術課		
実施方法	補助等		補助等の種類	その他負担金	実施主体	岐阜市美術展覧会実行委員会	
開始・終了年度	昭和	23	年度～		年度	根拠法令・関連計画	文化芸術基本条例、文化芸術推進基本計画

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	美術を愛好する市民に広く発表の機会と場を提供するとともに、良い作品を鑑賞することを通して市民の美術文化への関心と情操豊かな市民性を育てる。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、グラフィックデザインの7部門について、作品を公募・審査して、優秀作品を展示し、表彰する。					
事業の 対象	何を	岐阜市美術展覧会				
	誰に	参加者(応募者及び入場者)				
	どのくらい	日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、グラフィックデザインの7部門				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	開場式時に受賞作品をスクリーン投影し、参加者の満足度を高めるよう努めたこと。 Webアンケートを導入し、DX化を推進したこと					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	318	10	322	10	494	15
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	318	10	322	10	494	15

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	5,633	4,880	6,644
決算額(C)	5,633	4,880	6,644
差額(B-C)	0	0	0
執行率(C/B)	100%	100%	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	5,951	5,202	7,138

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	5,951	5,202	7,138

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	発表の場及び鑑賞可能日数		単位	日
	令和4年度	令和5年度		
目標値	10		10	10
実績値	10		10	10
達成率	100.0%		100.0%	100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	美術を愛好する市民に広く発表の機会と場を提供するとともに、良い作品を鑑賞することを通して市民の美術文化への関心を高める。			
	応募者数・観覧者数		単位	人
指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	目標値(以上)	450・3,500	450・3,500	450・6,000
実績値	370・2,539	326・2,607	355・8,810	
達成率	77.4%	73.5%	112.9%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	5	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記) 3 ある程度のニーズがあり必要性がある 1 必要性はあまり高くない	昨年度は8,800人を超える多くの人が鑑賞し、鑑賞機会の提供に貢献している。 ・来場者数 R5:2,607人→R6:8,810人
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない 3 市が実施することにより事業効果が高くなる 1 市が実施する必要性はあまり高くない	発表の場を提供するとともに、良い作品を鑑賞することを通じて、市民の美術文化への関心と情操豊かな市民性を育てることを目的としており、岐阜市の文化芸術の振興のため、市を含む実行委員会が実施するのが妥当である。
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記) 3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している 1 効率化されていない	審査員への通知を見直し郵送料削減や、来場者アンケートにWebの回答方法を追加し集計作業の効率化を図った。市民の発表の場として適切な出品料を徴収する一方、入場料を無料とすることで多くの方に鑑賞できる機会を提供できており、費用対効果が高い。実行委員会形式で運営しており、事務局は民間である。
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	5	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記) 3 相関関係を示すデータがある 1 つながっていない又は不明確	新規出品者数も増加しており、作品発表の場を多く創出することができており、市民が身近なところで気軽に文化芸術に親しみ、取り組めるような環境づくりにも寄与している。 ・新規出品者数 R5:113人→R6:156人
	アウトカム目標達成度	11/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である 3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である 1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	身近なところで気軽に文化芸術に親しみ、文化芸術活動を通じて様々な交流ができるような発表・鑑賞の機会の充実を図る事業である。こうした楽しみ・生きがいを持つことは健康寿命の延伸(構想p.31)にも寄与するものとする。 文化芸術を楽しみ創造する都市ぎふの実現に向けて、重要な事業である。
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である 8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である 5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記) 3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記) 1 事業が市の計画に直接的に関係していない	生涯にわたって誰もが文化芸術やスポーツを楽しみ、豊かな感性と生きる力を育むとともに、心身ともに健康で生活の質を高め続けること(構想p.29)に寄与する取組である。 「文化芸術推進基本計画」に、市民が主体的に取り組む文化芸術活動を応援する事業として定められている。

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	38/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
<p>本市の文化芸術を推進する基幹事業として身近なところで文化芸術の発表・鑑賞する機会の提供に貢献している。市民の文化芸術の振興に寄与するものであり、今後も継続して実施する。</p>							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660050

004

【1.基本情報】

事業名	岐阜市民文化祭(市民文芸祭)					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	文化芸術課	
実施方法	補助等		補助等の種類	その他負担金	実施主体	岐阜市文芸祭実行委員会
開始・終了年度	昭和	40	年度～	年度	根拠法令・関連計画	文化芸術基本条例、文化芸術推進基本計画

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	市民の創作意欲を高め、文芸創作活動の振興と地域文化の向上を図る。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	一般の部では、短編小説、児童文学、現代詩、歌謡、短歌、俳句、川柳、連句、狂俳の9ジャンル、小・中学生の部では、創作、詩、短歌、俳句、川柳、狂俳の6ジャンルを、広く市民から公募し、優秀作品を展示するとともに作品集を出版している。					
事業の 対象	何を	岐阜市文芸祭				
	誰に	参加者(応募者及び入場者)				
	どのくらい	一般の部9ジャンル、小・中学生の部6ジャンル				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	作品募集をオンライン化するとともに、施設の共用スペースを活かした作品展示を行ったこと。					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	318	10	483	15	494	15
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	318	10	483	15	494	15

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	1,733	1,501	1,559
決算額(C)	1,732	1,501	1,559
差額(B-C)	1	0	0
執行率(C/B)	100%	100%	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	2,050	1,984	2,053

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般財源(D-F)	2,050	1,984	2,053

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	鑑賞可能日数		単位	日
	令和4年度	令和5年度		
目標値	11	12		16
実績値	12	15		16
達成率	109.1%	125.0%		100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	市民の創作意欲を高め、文芸創作活動の振興と地域文化を向上			
指標	応募者数・観覧者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値(以上)	5,400・2,600	5750・2800	5800・1800	
実績値	5,799・1,600	6235・1850	8596・22711	
達成率	84.5%	87.3%	148.2%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	昭和40年から続く事業で毎年多くの応募があり、市民の中に浸透し、文芸創作活動の意欲を高めている。また、前年度から応募者数が70%程度増加しておりニーズが高い事業である。
	3 ある程度のニーズがあり必要性がある			
1 必要性はあまり高くない				
必要性	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	市民の創作意欲を高め、文芸創作活動の振興と地域文化の向上に貢献するとともに、岐阜市の文化芸術の振興を図ることを目的としており、公共性があり市を含む実行委員会が実施すべきである。
	3 市が実施することにより事業効果が高くなる			
	1 市が実施する必要性はあまり高くない			
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	作品募集をDX化し、効率化に努めており、またそれにより応募者数が増加している。実行委員会形式で運営しており、事務局は民間である。
	3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
	1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	平均6,000人からの応募があり、多くの文芸創作活動を支えるとともに文芸を発表する場を提供できている。
	3 相関関係を示すデータがある			
	1 つながっていない又は不明確			
	アウトカム目標達成度	13/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	小・中学生の部を実施することにより未来を担う子どもたちが文芸に触れられる機会の提供に寄与している。また、身近なところで気軽に文化芸術に親しみ、文化芸術活動を通じて様々な交流ができるような発表・鑑賞の機会の充実を図る事業である。こうした楽しみ・生きがいを持つことは健康寿命の延伸(構想p.31)にも寄与するものとする。
	3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である			
	1 将来の課題解決に対する効果はあまりない			
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	生涯にわたって誰もが文化芸術やスポーツを楽しみ、豊かな感性と生きる力を育むとともに、心身ともに健康で生活の質を高め続けること(構想p.29)に寄与する取組である。「文化芸術推進基本計画」に、市民が主体的に取り組む文化芸術活動を応援する事業、子どもたちが文化芸術を体感できる機会を充実する事業として定められている。
	8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である			
	5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)			
	3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)			
	1 事業が市の計画に直接的に関係していない			

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	36/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
一般の部、小・中学生の部があり、幅広く応募できる環境が整えられている。また、事業効果をさらに高め、文芸の裾野を広げていくために、作品展示や表彰式の方法を見直すなどの取組も行っている。本市の文化芸術を推進する基幹事業として身近なところで文化芸術の発表・鑑賞する機会の提供に貢献し、市民の文化芸術の振興に寄与するものであり、今後も継続して実施する。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660050

005

【1.基本情報】

事業名	長良川薪能					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	文化芸術課	
実施方法	補助等		補助等の種類	その他負担金	実施主体	長良川薪能実行委員会
開始・終了年度	平成	元	年度～	年度	根拠法令・関連計画	文化芸術基本条例、文化芸術推進基本計画

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	長良川、金華山、岐阜城、鶺鴒が揃う岐阜市にしかない特別なロケーションで、一流の演者による伝統芸能の鑑賞機会を提供し、文化芸術に対する興味、関心を高める。また、長良川薪能におけるサービスの質を高め、観光分野との連携等により、知名度の向上を図り、市民に岐阜市の素晴らしい財産を再認識できる機会とする。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	清流長良川と金華山・岐阜城を背景に、鶺鴒舟のかがり火から火入れを行う全国で唯一の薪能。毎年一流の演者が河原の舞台で演じる。					
事業の 対象	何を	薪能				
	誰に	市民および観光客				
	どのくらい	1,300人				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,180	100	3,864	120	3,948	120
パートタイム会計年度任用職員A	505	50	505	50	605	50
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,685	150	4,369	170	4,553	170

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	12,105	12,094	12,000
決算額(C)	11,526	11,914	11,966
差額(B-C)	579	180	34
執行率(C/B)	95%	99%	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	15,211	16,283	16,519

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	54	1,221	1,200
決算額(F)	54	1,221	1,200
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	100%	100%	100%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	15,157	15,062	15,319

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	関連事業数・体験機会・活動回数		単位	回
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	2・4・6		3・4・5	4・4・8
実績値	3・4・5		1・4・7	1・4・7
達成率	111.1%		91.1%	70.8%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	岐阜市にしかない特別なロケーションで、一流の演者による伝統芸能の鑑賞機会を提供し、文化芸術に対する興味、関心を高める。市民に岐阜市の素晴らしい財産を再認識できる機会を提供。			
指標	観覧者数・体験者数・サポーター参加者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値（以上）	1,300・35・40		1,300・15・40	1,300・15・30
実績値	1,000・13・30		1,100・19・28	1,300・20・30
達成率	63.0%		91.2%	111.1%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)	
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	5	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	来場者アンケート結果において、「満足」「どちらかといえば満足」が97.3%を占める。毎年抽選になるほど観覧希望がある。	
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある		
			1 必要性はあまり高くない		
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない		市民が気軽に伝統芸能を鑑賞できる機会を提供するには、市を含む実行委員会が実施するのが妥当である。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる		
			1 市が実施する必要性はあまり高くない		
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	5	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	座席数を満たす集客かつ、満足度の高い公演を行うには、一流音楽師の出演が不可欠である。行政負担以外に寄附金や協賛金の積極的な活用により、1,419,600円の収入があった。また、岐阜青年会議所の協力を得るとともに、市民ボランティアと協働して事業運営を行っている。		
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
		1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	5		5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	毎年、定員を大きく超過する観覧申込みがあり(1,300席に対し1,675人の応募)、観覧者数が増加している。また、来場者アンケート結果において、「満足」「どちらかといえば満足」が97.3%を占める。
				3 相関関係を示すデータがある	
				1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	12/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	観光分野との連携等により、岐阜市の魅力の発信するとともに知名度の向上を図り、市民に岐阜市の素晴らしい財産を再認識できる機会(シビックプライドの醸成)を提供している。	
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である		
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない		
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である		長良川、金華山、岐阜城、鶴飼といった岐阜市固有の特別なロケーションで開催することにより、シビックプライドの醸成(構想の基本的な考え方)にもつながる事業である。「岐阜市文化芸術基本計画」において、観光や伝統産業等他分野との連携により文化芸術の価値や魅力を創出する事業として定められている。
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である		
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)		
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)		
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない		

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		改善		改善	41/50	拡充	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	岐阜市ならではのロケーションで、一流の演者による伝統芸能の鑑賞機会を提供することで、市民の文化芸術に対する興味・関心を高め、また、シビックプライドの醸成にも寄与していることから、今後も継続して実施する。一方で、近年の人件費や物価高騰の影響を受け、事業費が年々増大し、今後もその傾向が続くと想定されること、また、気候変動に伴う集中豪雨の発生頻度が増え、河川の水位上昇による開催中止リスクが高まっている等の理由から、令和8年度からは、すでに行っている企業協賛に加え、受益者負担を求めること、また川原から岐阜公園へ会場を変更することを決定した。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660050

006

【1.基本情報】

事業名	さんぼde野外ライブ					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	文化芸術課	
実施方法	補助等		補助等の種類	その他負担金	実施主体	さんぼde野外ライブ実行委員会
開始・終了年度	平成	26	年度～	年度	根拠法令・関連計画	文化芸術基本条例、文化芸術推進基本計画

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	中心市街地に幾つかのライブ会場を設け、市民に演奏発表の場と回遊しながら気軽に音楽と触れ合う機会を提供することで、文化によるにぎわいの創出を図る。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	一般公募アーティストによる音楽ライブを中心市街地の複数会場で開催する。また、楽市JAZZ楽団による1時間のスペシャルライブを合わせて実施。					
事業の 対象	何を	さんぼde野外ライブ				
	誰に	市民				
	どのくらい	年1回				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	音楽ライブの会場を4会場から5会場に変更					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	4,770	150	3,220	100	3,290	100
パートタイム会計年度任用職員A	202	20	202	20	242	20
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	4,972	170	3,422	120	3,532	120

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	2,400	2,100	2,100
決算額(C)	2,292	1,859	1,991
差額(B-C)	108	241	109
執行率(C/B)	96%	89%	95%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	7,264	5,281	5,523

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	15	0
決算額(F)	0	15	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	100%	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	7,264	5,266	5,523

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	参加組数・開催日数		単位	組・日
	令和4年度	令和5年度		
目標値	30・1		30・1	40・1
実績値	42・1		36・1	40・1
達成率	120.0%		110.0%	100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	市民に演奏発表の場と回遊しながら気軽に音楽と触れ合う機会を提供する。			
	指標	参加者数・観客数		単位
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値(以上)	190・1,200	200・1,000	230・1,200	
実績値	237・1,100	211・5,406	152・4,760	
達成率	108.2%	323.1%	231.4%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	5	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記) 3 ある程度のニーズがあり必要性がある 1 必要性はあまり高くない	出演者について、抽選になるほど応募がある。 出演者にアンケート実施 ライブ出演に満足93%、どちらかといえば満足7%と回答 来場者にアンケートを実施 ライブ鑑賞に満足62%、どちらかといえば満足34%と回答
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない 3 市が実施することにより事業効果が高くなる 1 市が実施する必要性はあまり高くない	中心市街地のにぎわい創出に寄与するとともに、誰もが気軽に音楽に触れることのできる場を提供することで、広く文化芸術の醸成を図ることができるため、市を含む実行委員会が実施するのが妥当である。
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	5	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記) 3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している 1 効率化されていない	運営ボランティアの協力を得て市民協働で実施している事業であり、業者等の打ち合わせにより仕様を見直した結果、コストを10万8千円抑えることができた。 また、事業運営にかかる資金財源の確保や受益者負担の観点から令和6年度より出演料を徴収した。
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記) 3 相関関係を示すデータがある 1 つながっていない又は不明確	抽選する必要があるほどの応募者数であり、また、来場者数も4,760人と多数であり、中心市街地のにぎわい創出に寄与しているといえる。
	アウトカム目標達成度	15 / 15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である 3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である 1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	市民の音楽活動発表の場として定着しつつあり、文化芸術活動の普及とともに、中心市街地のにぎわいの創出を図ることで、滞在時間の向上や来街者数の増加につながる。
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	5	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である 8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である 5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記) 3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記) 1 事業が市の計画に直接的に関係していない	「岐阜市文化芸術推進基本計画」および「岐阜市中心市街地活性化基本計画」に基づく事業である。 ぎふメディアコスモスや柳ヶ瀬界隈で野外ライブを開催しており、中心市街地のにぎわいの創出に寄与しており、地元アーティストの活躍の場を広げるとともに様々なジャンルの音楽に触れる機会が提供できていることから文化芸術振興の効果が認められる。

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	39 / 50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	中心市街地のにぎわいの創出に寄与しており、市民に演奏発表の場と回遊しながら気軽に音楽と触れ合う機会を提供することにより文化芸術振興の効果が認められるため、当該事業は非常に重要であることから、継続して実施していく。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660050

007

【1.基本情報】

事業名	岐阜文化再発見～民話ライブ～					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	文化芸術課	
実施方法	補助等		補助等の種類	その他負担金	実施主体	岐阜文化再発見実行委員会
開始・終了年度	平成	17	年度～	年度	根拠法令・関連計画	文化芸術基本条例、文化芸術推進基本計画

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	岐阜市に残る伝統的建造物や文化財を会場として、地域に伝わる民話を、コンサート等の芸術家によるライブ公演とともに市民に紹介し、地域文化を再発見、再認識してもらう。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	岐阜市に残る伝統的建造物や文化財において、その地域にまつわる民話の朗読と、地元にゆかりのあるアーティストとのコラボレーションで開催する。					
事業の 対象	何を	次代に残したい岐阜市にある伝統的建造物や文化財と、地域に伝わる民話、音楽などの芸術				
	誰に	市民				
	どのくらい	民話ライブを年間5ヶ所で開催				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	参加者より参加費500円(1人)を徴収することにした。それに伴い500円に値する付加価値を付けることとした。					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	159	5	161	5	165	5
パートタイム会計年度任用職員A	2,020	200	2,020	200	2,420	200
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,179	205	2,181	205	2,585	205

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	1,100	900	900
決算額(C)	939	890	763
差額(B-C)	161	10	137
執行率(C/B)	85%	99%	85%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	3,118	3,071	3,348

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般財源(D-F)	3,118	3,071	3,348

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	開催場所・出演者数		単位	カ所・人
	令和4年度	令和5年度		
目標値	5・15		4・12	5・15
実績値	5・21		5・22	5・18
達成率	120.0%		154.2%	110.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

岐阜市に残る伝統的建造物や文化財を会場として、地域に伝わる民話を、コンサート等の芸術家によるライブ公演とともに市民に紹介し、地域文化を再発見、再認識する機会を提供					
成果	指標	応募者数		単位	人
		令和4年度	令和5年度		
目標値（以上）		250		240	300
実績値		268		518	311
達成率		107.2%		215.8%	103.7%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	5	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記) 3 ある程度のニーズがあり必要性がある 1 必要性はあまり高くない	伝統的建造物や文化財など、普段行かない、個人ではなかなか入れないような場所での開催により市民が地域文化を再発見できる機会を提供するほか、文化施設以外で芸術に触れる機会を提供しているため、必要性が高い。また毎回アンケートをとり「今回の民話ライブについて」問うと「とてもよかった」「よかった」が98%占める。リピート率も高いうえ新規の応募者も増えており、抽選になる回もある。
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない 3 市が実施することにより事業効果が高くなる 1 市が実施する必要性はあまり高くない	岐阜市の地域文化への理解を深めることは、市を含む実行委員会が実施するのが妥当である。
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記) 3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している 1 効率化されていない	参加者の申し込みを、はがきだけでなく、ホームページに掲載したQRコードからも申し込めるようにした。
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記) 3 相関関係を示すデータがある 1 つながっていない又は不明確	会場について、場所を知っていた人の中で初めて来た人が46%、知らなかった人が23%、また、紹介された民話について知らなかった人が71%おり、市民が地域文化を再発見できる機会を提供している。
	アウトカム目標達成度	15 / 15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である 3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である 1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	本市に残る多くの伝統的建造物や文化財、あるいは地域に伝わる民話は、次代に残さなくてはならない文化であり、そうした文化を広く市民に紹介することにより、岐阜に誇りを持ち愛していく心(シビックプライド)を育む。その結果、本物の地域文化が醸成されていくと考え、参加者の生きがいにもつながる。
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である 8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である 5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記) 3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記) 1 事業が市の計画に直接的に関係していない	本市に残る多くの伝統的建造物や文化財、あるいは地域に伝わる民話を紹介する事業であり、シビックプライドの醸成に資する事業である(構想p.19)。岐阜市文化芸術推進基本計画の4章(伝統的文化芸術の継承や活用～「岐阜」を伝える絆づくり～)に位置づけられている。また、文化財保護課の職員に建造物など文化財について話をしてもらうなど、他部署と連携している。

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	40 / 50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	市内に残る伝統的建造物等で民話ライブを鑑賞することにより、岐阜に伝わる民話など地域文化を伝承し、岐阜の文化を再発見できる機会を提供する、シビックプライドの醸成に資する事業であり、継続して実施していく。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660050

008

【1.基本情報】

事業名	こよみのよぶね					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	文化芸術課	
実施方法	補助等		補助等の種類	その他負担金	実施主体	こよみのよぶね実行委員会
開始・終了年度	平成	18	年度～	年度	根拠法令・関連計画	文化芸術基本条例、文化芸術推進基本計画

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	岐阜の自然や歴史文化、伝統の技を再発見し、新しい冬の風物詩を創造することを目的としている。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	岐阜市出身のアーティスト日比野克彦氏の総合監修のもと、毎年冬至の日に、色付けした和紙と竹でつくった大きな数字行灯にあかりを入れ、鵜飼観覧船の屋根に寄せ長良川に流し、今年を振り返るアートイベント(時を感じる叙情作品)である。					
事業の 対象	何を	こよみのよぶねの行灯制作、イベント				
	誰に	市民				
	どのくらい	数字(暦)をモチーフとした行灯(1から12)と干支の13個の行灯を制作。及び当日の観覧。				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員A	101	10	101	10	121	10
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	101	10	101	10	121	10

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	500	500	500
決算額(C)	500	500	500
差額(B-C)	0	0	0
執行率(C/B)	100%	100%	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	601	601	621

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	601	601	621

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	参加団体数		単位	団体
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	13		13	13
実績値	13		13	13
達成率	100.0%		100.0%	100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	岐阜の自然や歴史文化、伝統の技を再発見する機会を提供している。			
	指標	観覧者数・参加者数		単位
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値（以上）	2,000・2,000	2,000・2,000		2,000・1,000
実績値	1,000・1,000	1,000・1,000		2,000・1,000
達成率	50.0%	50.0%		100.0%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記) 3 ある程度のニーズがあり必要性がある 1 必要性はあまり高くない	市内外の各市民団体によって1から12の数字と干支の行灯が様々な年代の方の手作りで制作され、岐阜の自然や歴史文化、伝統の技を次世代へ伝え、披露している。また当日は「こよみのよぶね」を観覧するために県内外から観光客が訪れる観点から必要である。
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない 3 市が実施することにより事業効果が高くなる 1 市が実施する必要性はあまり高くない	県・市で同額の支援をし、実施している。岐阜市ならではの景観のある金華山の麓を流れる長良川で、鶺鴒観覧船を利用して開催される岐阜市民を中心とした活動である。また冬季に鶺鴒観覧船を借用して開催する観点からも、市が支援する必要がある。
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	5	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記) 3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している 1 効率化されていない	巨大数字行灯製作には、13団体のボランティアで製作されており、材料も地元の竹を切りに行き、和紙も地元の企業から安価に仕入れられている。(前年度材料費は20万以下) 市以外からも負担金や協賛金を集めて運営されている。実行委員会形式で運営しており、事務局は民間である。
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記) 3 相関関係を示すデータがある 1 つながっていない又は不明確	冬の風物詩となっており、県内各地13団体で約1,000人のボランティアの手で巨大数字行灯を製作し、更に製作に携わった方々を含めイベント当日に岐阜市の長良川河畔、金華山の麓に集結し、約2,000人以上の人々が岐阜市に集まる。
	アウトカム目標達成度	9 / 15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である 3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である 1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	他に類似の事業はなく、岐阜市の代表的な場所を会場として開催し岐阜市の冬の風物詩として定着している。また岐阜の自然や歴史文化、伝統の技を再発見し、県内外から訪れる方々にも知っていただくきっかけになる。
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	5	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である 8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である 5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記) 3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記) 1 事業が市の計画に直接的に関係していない	「岐阜市文化芸術推進基本計画」に観光や伝統産業等他分野との連携により文化芸術の価値や魅力を創出する事業として定められている

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	31 / 50	継続	・40点以上: 拡充 ・25点以上: 継続 ・15点以上: 改善 ・0点以上: 縮小・廃止
岐阜市の冬の風物詩として定着しており、岐阜の自然や歴史文化、伝統の技を再発見し、未来に継承していく市民主体の活動として支援しながら継続していく。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号 0660050 - 009

【1.基本情報】

事業名	各種芸術文化団体への補助金					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	文化芸術課	
実施方法	補助等	補助等の種類		団体育成(運営)補助金	実施主体	文化団体
開始・終了年度	平成	2	年度～	年度	根拠法令・関連計画	文化芸術基本条例、文化芸術推進基本計画、岐阜市文化団体補助金交付要綱

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	岐阜市の文化団体を支援することにより、市民の芸術鑑賞の機会を確保し、文化芸術の振興を図る。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	文化芸術の発展及び振興のための事業に係る経費、文化団体の広報活動に係る経費を補助する。					
事業の 対象	何を	補助金				
	誰に	市内の文化団体				
	どのくらい	当該年度の予算の範囲で、補助対象経費の2分の1以内				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	補助団体を4から2団体へ減らした。					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	954	30	966	30	1,152	35
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	954	30	966	30	1,152	35

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	1,228	1,138	1,138
決算額(C)	1,101	1,138	976
差額(B-C)	127	0	162
執行率(C/B)	90%	100%	86%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	2,055	2,104	2,128

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	2,055	2,104	2,128

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	補助金額・補助団体		単位	千円・団体
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	1,138・4		1,138・4	1,138・4
実績値	1,102・4		1,138・4	976・2
達成率	98.4%		100.0%	67.9%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	文化芸術の普及及び向上発展			
指標	文化芸術事業数		単位	事業
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値(以上)	19		19	16
実績値	19		19	19
達成率	100.0%		100.0%	118.8%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)	
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	補助団体により、19の文化芸術事業が実施され、文化芸術の発展及び振興につながっており、必要性がある。	
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある		
			1 必要性はあまり高くない		
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない		芸術文化の振興と普及を目的とする文化団体を支援することにより、広く市民への芸術文化の提供がされている。団体の1つは本市の文化芸術団体のとりまとめを担う団体であるため、広い分野の事業実施ができる。また、もう1つは高レベルのクラシック音楽の青少年育成事業に力を入れているため、市が支援するのは妥当である。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる		
			1 市が実施する必要性はあまり高くない		
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	5	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	補助金交付団体の運営状況を鑑みたくうえで、補助金減額や交付終了などの処置を進め、補助対象団体を4から2団体へ減らす(165千円減)ことができた。		
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
		1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3		5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	市民に対して各団体による様々なジャンルの19の文化芸術事業が提供されており、有効である。文化芸術団体と連携することで、市民の文化芸術活動を推進している。
				3 相関関係を示すデータがある	
				1 つながっていない又は不明確	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	岐阜市を拠点に芸術文化の振興と普及に寄与する団体に対し、市民が多様な芸術文化に触れる機会を拡充することを目的としている。	
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である		
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	5	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である		
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である		
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)		
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)		
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない		
15	15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)			

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		改善		改善	37	継続	・40点以上: 拡充 ・25点以上: 継続 ・15点以上: 改善 ・0点以上: 縮小・廃止
	特定団体への補助金であり、改善の余地があるため、令和6年度に2団体の補助金を廃止。令和7年度末を目途にさらに2団体について見直した上で継続する。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660050

_ 010

【1.基本情報】

事業名	文化会館施設整備					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	文化芸術課	
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	42	年度～	年度	根拠法令・関連計画	文化芸術基本条例、文化芸術推進基本計画、岐阜市文化会館条例・規則

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	市民の文化及び教養の向上と福祉の増進を図る。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	文化会館(市民会館及び文化センター)					
事業の 対象	何を	改修工事				
	誰に	文化会館				
	どのくらい	必要箇所				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,544	80	2,576	80	2,632	80
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,544	80	2,576	80	2,632	80

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	321,550	383,202	377,989
決算額(C)	317,255	331,882	373,792
差額(B-C)	4,295	51,320	4,197
執行率(C/B)	99%	87%	99%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	319,799	334,458	376,424

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	246,100	303,800	246,700
決算額(F)	246,200	256,200	281,600
差額(E-F)	-100	47,600	-34,900
執行率(F/E)	100%	84%	114%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	73,599	78,258	94,824

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	実施工事数		単位	件
	令和4年度	令和5年度		
目標値	6		8	9
実績値	7		12	15
達成率	116.7%		150.0%	166.7%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	施設整備の実施により文化会館を安全かつ快適に利用できる。			
	指標	施設利用者		単位
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値(以上)	300,000		300,000	250,000
実績値	153,176		177,095	189,715
達成率	51.1%		59.0%	75.9%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)	
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	本市の芸術文化の拠点としての役割を維持するため、老朽化に伴い計画的に整備する必要がある。	
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある		
			1 必要性はあまり高くない		
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない		市所管施設であり、市が実施すべき。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる		
			1 市が実施する必要性はあまり高くない		
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	市民の円滑な施設利用のため、必要最小限の工事を行っている。また、複数工事を同時期に施行することで会館の休館期間の短縮に努めている。また、施設の老朽化や設備の経年劣化状況を考慮した計画を策定し、可能な限り効率的に修繕している。		
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
		1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	施設の老朽化が進んでいるため、市民が安心・安全に施設を利用できるよう適切な改修等を実施し、予期せぬ故障や事故等の発生を防いでいる。	
			3 相関関係を示すデータがある		
			1 つながっていない又は不明確		
	アウトカム目標達成度	7/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	本市の芸術文化の拠点としての役割を維持する事業である。	
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である		
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない		
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	5	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	両施設とも老朽化が進んでいることから、「岐阜市文化会館個別施設計画」に基づき、継続的に改修を行っている。また、「岐阜市文化芸術基本計画」に老朽化、機能劣化が進む既存施設の機能向上が定められている。	
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である		
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)		
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)		
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない		

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	29/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
文化会館は「地域文化の拠点」「文化芸術創造の拠点」「にぎわいの拠点」の3つの役割と「社会参加の機能をひらく社会包摂の機能」「地域コミュニティの創造と再生を通じて地域の発展を支える機能」という2つの機能を担う拠点としての必要性があり、令和6年度は両館あわせ189,715人に施設を利用されている。「岐阜市文化芸術基本計画」において、老朽化、機能劣化が進む既存施設の機能向上を図ることが定められており、「岐阜市文化会館個別施設計画」に基づき、今後も計画的な施設整備に努める。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660050

011

【1.基本情報】

事業名	文化会館指定管理						
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	文化芸術課		
実施方法	委託(出資団体)		補助等の種類		実施主体	(一財)岐阜市公共ホール管理財団	
開始・終了年度	平成	18	年度～		年度	根拠法令・関連計画	文化芸術基本条例、文化芸術推進基本計画、岐阜市文化会館条例・規則

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	市民の文化及び教養の向上と福祉の増進を図る。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	文化センター及び市民会館の運営管理及び文化芸術事業の実施					
事業の 対象	何を	文化センター及び市民会館				
	誰に	市民				
	どのくらい	年間約30万人				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,544	80	2,576	80	2,632	80
パートタイム会計年度任用職員A	121	12	121	12	145	12
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,665	92	2,697	92	2,777	92

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	379,690	375,151	340,293
決算額(C)	351,786	348,939	340,292
差額(B-C)	27,904	26,212	1
執行率(C/B)	93%	93%	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	354,451	351,636	343,069

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	62,573	69,980	58,542
決算額(F)	86,581	82,502	77,500
差額(E-F)	-24,008	-12,522	-18,958
執行率(F/E)	138%	118%	132%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	267,870	269,134	265,569

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	指定事業数		単位	事業
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	11		11	10
実績値	11		10	10
達成率	100.0%		90.9%	100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	文化芸術活動の拠点づくり			
指標	施設利用者数・両館平均稼働率		単位	人・%
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値（以上）	300,000・35		300,000・35	250,000・35
実績値	153,176・33		177,095・32	189,715・39
達成率	72.7%		75.2%	93.7%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	市民の文化及び教養の向上と福祉の増進を図るために、鑑賞型事業、市民参画創造型事業、普及・育成事業を効果的に実施しており、地域文化の拠点施設としての役割を果たしている。
	3 ある程度のニーズがあり必要性がある			
1 必要性はあまり高くない				
必要性	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	「文化芸術基本条例」「文化芸術推進基本計画」「岐阜市文化会館条例」「岐阜市文化会館規則」市は文化芸術に関する施策の推進を総合的かつ計画的に実施する責務を有するため、市で実施するのが最適である。
	3 市が実施することにより事業効果が高くなる			
	1 市が実施する必要性はあまり高くない			
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	指定管理料や老朽化に伴う施設整備費等に対して使用料等の収入は少ない。 文化芸術事業や活動をコーディネートするノウハウを有する指定管理者が運営を行うことで、効率化され生産性につながっている。
	3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
	1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	いずれも中心市街地という好立地に位置し、様々なシーンに対応できる施設機能を有することから(文化センター:小劇場500席、催し広場2,000席、市民会館:大ホール1,501席)、練習室や会議室などの稼働率も高く、市民の文化の拠点として高い効果を得ている。
	3 相関関係を示すデータがある			
	1 つながっていない又は不明確			
有効性	アウトカム目標達成度	10 15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
	先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である
3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である				
1 将来の課題解決に対する効果はあまりない				
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	5	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	「岐阜市文化芸術基本計画」で文化芸術施設の充実について定められている。また、貸館事業のみならず、本市の文化の拠点として、文化芸術事業の実施や文化芸術活動を支援する機能を有し、市の文化芸術振興に重要な役割を担っている。
	8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である			
	5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)			
	3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)			
	1 事業が市の計画に直接的に関係していない			

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	30 50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	市民の文化及び教養の向上と福祉の増進を図るために、貸館事業のみならず、本市の文化の拠点として、文化芸術事業の実施や文化芸術活動を支援する機能を有し、市の文化芸術振興に重要な役割を担っていることから、文化会館の管理・運営を継続して実施していく。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660060

001

【1.基本情報】

事業名	岐阜市多文化交流推進事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	国際課	
実施方法	委託(出資団体)		補助等の種類		実施主体	(公財)岐阜市国際交流協会
開始・終了年度	平成	22	年度～		根拠法令・関連計画	岐阜市多文化共生推進基本計画

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	市民に対し、様々な分野での国際交流の機会を提供し、国際理解の推進を図るとともに、外国人市民の定住化や長期滞在化に伴う多文化共生社会の実現に向けた取り組みを行う。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	国際交流及び多文化共生に関する事業					
事業の 対象	何を	国際理解の推進及び多文化共生社会の実現				
	誰に	市民				
	どのくらい	年間350日(みんなの森 ぎふメディアコスモスの通常開館日数)				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	4,134	130	4,186	130	4,277	130
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	4,134	130	4,186	130	4,277	130

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	44,571	44,570	44,519
決算額(C)	37,257	43,992	42,402
差額(B-C)	7,314	578	2,117
執行率(C/B)	84%	99%	95%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	41,391	48,178	46,679

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	41,391	48,178	46,679

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	国際交流・多文化共生推進事業及び講座開催回数		単位	回
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	20		20	20
実績値	21		24	25
達成率	105.0%		120.0%	125.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	国際交流・多文化共生推進事業及び講座参加人数			単位	人
	令和4年度	令和5年度		令和6年度	
目標値（以上）	10,665		10,665	10,665	
実績値	2,260		4,313	4,763	
達成率	21.2%		40.4%	44.7%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記) 3 ある程度のニーズがあり必要性がある 1 必要性はあまり高くない	令和5年度に実施した市政モニター調査では、約6割の人が、外国人市民と「積極的に関わりたい」「どちらかといえば関わりたい」と回答。また、令和5年度に実施した外国人市民へのアンケート調査では、約5割の外国人市民が、日本人に「日本語や日本の文化や社会について教えてほしい」と回答したほか、「普段の生活で遊び相手になってほしい」や「相談相手になってほしい」などの回答も多く、様々な場面や方法で日本人との関わりを望んでいる。
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない 3 市が実施することにより事業効果が高くなる 1 市が実施する必要性はあまり高くない	子どもの教育、医療・保健・福祉、就労等、生活に関わる様々な場面や、自然災害などの非常時において、きめ細やかな支援を行い、外国人市民が安心して暮らせる環境整備や、地域において、誰もが互いに認め合い、ともに担い手となる地域社会の構築を、市として推進するのが最適である。
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記) 3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している 1 効率化されていない	本市にとって国際交流・多文化共生推進全般にかかるコーディネートや民間と行政のパイプ役を担う唯一無二の団体である(公財)岐阜市国際交流協会に事業を委託することで、効率化と生産性の向上が図られている。
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	1	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記) 3 相関関係を示すデータがある 1 つながっていない又は不明確	相関関係を示すデータはない。
	アウトカム目標達成度	5 15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である 3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である 1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	外国人住民は増加傾向にあり、永住者など身分に基づく在留資格の外国人住民も増加している。また、外国人住民の滞在長期化に伴い、外国人児童生徒も今後増加傾向にあることが予想される。これらのことから、事業の実施が、多様性を生かした活気に満ちたまちづくりや、将来を担う子どもたちの社会貢献などに直接的に結びつく。
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である 8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である 5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記) 3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記) 1 事業が市の計画に直接的に関係していない	未来のまちづくり構想で定める「人を魅了し、交流を生み出すまちへ」に関係している。

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	28 50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
本市の国際交流及び多文化共生の推進に寄与しており、当該事業は非常に重要であることから、継続して実施していく。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660060

002

【1.基本情報】

事業名	外国人のための日本語講座事業補助金					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	国際課	
実施方法	補助等		補助等の種類	団体事業補助金	実施主体	(公財)岐阜市国際交流協会
開始・終了年度	平成	17	年度～	年度	根拠法令・関連計画	日本語教育の推進に関する法律、岐阜市補助金等交付規則、岐阜市外国人のための日本語講座補助金交付要綱

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	外国人等が日本語を習得する機会の確保及び環境の整備					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	外国人のための日本語講座の実施団体に対し、補助金を交付して当該講座の運営を補助する。					
事業の 対象	何を	外国人のための日本語講座に対する補助金				
	誰に	当該講座を実施する団体				
	どのくらい	事業に要する経費の1/3(ただし、上限240千円(年))				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	64	2	64	2	66	2
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	64	2	64	2	66	2

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	240	240	240
決算額(C)	240	240	240
差額(B-C)	0	0	0
執行率(C/B)	100%	100%	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	304	304	306

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	304	304	306

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	講座開講数		単位	回
	令和4年度	令和5年度		
目標値	130	143		150
実績値	130	143		150
達成率	100.0%	100.0%		100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	外国人市民の日本語の能力の向上			
	指標	講座参加者数	単位	人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値（以上）	40	40	40	
実績値	39	62	51	
達成率	97.5%	155.0%	127.5%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	令和5年度に実施した外国人市民へのアンケート調査では、約7割の外国人市民が、多文化共生推進のため、外国人にできることは「日本語を勉強すること」と回答した。
	3 ある程度のニーズがあり必要性がある			
1 必要性はあまり高くない				
必要性	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	1	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	現在、日本語教育を実施しているボランティア教室への支援は、中間支援組織である(公財)岐阜市国際交流協会が助成を行っている。
	3 市が実施することにより事業効果が高くなる			
	1 市が実施する必要性はあまり高くない			
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	通知のオンライン受取や、補助対象団体との緊密な連絡等により、業務の効率化が図られた。
	3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
	1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	1	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	相関関係を示すデータはない。
	3 相関関係を示すデータがある			
	1 つながっていない又は不明確			
	アウトカム目標達成度	14/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	外国人住民は増加傾向にあり、永住者など身分に基づく在留資格の外国人住民も増加していることから、事業の実施が、外国人市民の日本語能力の向上に結びつくとともに、外国人市民が必要な情報を得られるまちづくりに直接的に結びつく。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	未来のまちづくり構想で定める「人を魅了し、交流を生み出すまちへ」に関係している。
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	35/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
日本語学習機会の確保及びその水準の維持のために必要な事業であり、本市の多文化共生の推進に寄与するものであることから、当該事業は非常に重要である。一方で、市が実施する必要性等の観点から、今後、見直しを行っていく。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660070

001

【1.基本情報】

事業名	岐阜市スポーツ協会事業補助金					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	市民スポーツ課	
実施方法	補助等	補助等の種類		団体育成(運営)補助金	実施主体	岐阜市スポーツ協会
開始・終了年度	昭和	22	年度～	年度	根拠法令・関連計画	スポーツ基本法第34条

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	岐阜市スポーツ協会は体育、スポーツの普及・振興を図り、市民の体力向上とスポーツを通じた人格形成を目的として設立された団体であり、市内各スポーツ競技団体を統括する唯一の団体であるため、その事業について補助を行う。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	各種目市民大会やスポーツにおいて優秀な成績を収めた者、功労者の表彰事業など、その事業にかかる費用の補助。					
事業の 対象	何を	事業費補助金				
	誰に	岐阜市スポーツ協会				
	どのくらい	事務局費及び事業費(加盟団体への支援費(大会開催費用、団体運営費用)を支出) 参考: 令和5年度決算額17,511,829円うち補助金額 R5年度5,200,000円				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	各種目団体と連絡を密に取り、市民大会等により参加しやすい環境づくりに努めた。					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,180	100	3,220	100	3,290	100
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,180	100	3,220	100	3,290	100

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	5,200	5,200	5,200
決算額(C)	5,157	5,200	5,136
差額(B-C)	43	0	64
執行率(C/B)	99%	100%	99%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	8,337	8,420	8,426

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	8,337	8,420	8,426

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	協会登録者		単位	人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値	40,000	40,000	40,000	
実績値	21,076	24,327	24,327	
達成率	52.7%	60.8%	60.8%	

アウトカム評価（活動に基づく成果）

指標	市民スポーツ大会参加者		単位	人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
成果	各競技大会への市民の出場			
目標値（以上）	20,000	20,000	20,000	
実績値	7,872	9,475	9,745	
達成率	39.4%	47.4%	48.7%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	スポーツを通じて、競技力及び体力の向上に貢献し、健康増進のみならず、明るく豊かな生活を望む市民のニーズにかなっている。
	3 ある程度のニーズがあり必要性がある			
国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか		5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	岐阜市で行われるスポーツ競技を統括する唯一の団体であり、上部団体である地区、県、国の各スポーツ協会との連携が可能である。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる	
効率性	効率が上がっているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	各競技団体の協会登録者は、競技委員、指導者及び選手と広範囲に効果が及んでおり、市民スポーツ大会の参加者も大変多く効率的である。
			3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している	
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	岐阜市スポーツ協会及び各競技団体の共催で各競技市民スポーツ大会を多数実施し、市民のスポーツ参加、競技力アップの動機づけとなっている。また、生涯を通じてスポーツに親しんでいくという「生涯スポーツの振興」は、市民の健康維持にも効果的な方策となっている。
	3 相関関係を示すデータがある			
	アウトカム目標達成度	5 15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	人口減少・高齢化が進む中、日常的にスポーツに親しむ市民が世代間で継承されることにより、健康維持や医療費の縮減につながっており、持続可能な施策となっている。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	5	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	「岐阜市スポーツ推進計画2023-2032」に基づき、スポーツ参画の推進や持続可能な競技力の向上、地方創生とまちづくり、スポーツ環境の整備を図っていく。
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	29 50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
岐阜市スポーツ協会の活動を通して、競技力アップ、生涯スポーツの普及、市民の健康維持に貢献しているため。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660070

002

【1.基本情報】

事業名	市民総合スポーツ大会					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	市民スポーツ課	
実施方法	委託(その他)		補助等の種類		実施主体	岐阜市スポーツ協会
開始・終了年度	昭和	22	年度～		根拠法令・関連計画	スポーツ基本法第23条

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	市民のスポーツ振興とスポーツに親しむことにより、体力の向上や健康の増進のみならず、明るく豊かな生活や生きがいづくりを図る。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	スポーツの日(10月第2日曜日)を中心とする期間に各競技種目において、市民を対象とした総合スポーツ大会を岐阜市主催により開催する。					
事業の 対象	何を	市民総合スポーツ大会				
	誰に	市民				
	どのくらい	30競技				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	各種目団体と連絡を密に取り、より参加しやすい環境づくりに努めた。					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	318	10	322	10	329	10
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	318	10	322	10	329	10

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	2,085	1,946	1,946
決算額(C)	2,085	1,946	1,946
差額(B-C)	0	0	0
執行率(C/B)	100%	100%	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	2,403	2,268	2,275

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	2,403	2,268	2,275

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	競技種目数		単位	種目
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	30		30	30
実績値	27		28	29
達成率	90.0%		93.3%	96.7%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	各競技大会への市民の出場			
指標	大会参加者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値(以上)	20,000		20,000	20,000
実績値	7,841		8,453	8,295
達成率	39.2%		42.3%	41.5%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	実施競技種目数も多く、気軽に参加できる生涯スポーツの大会を実施している。
	3 ある程度のニーズがあり必要性がある			
1 必要性はあまり高くない				
必要性	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	市民に広く競技スポーツを実施する民間団体はなく、市が担うが、大会運営に於いては、各競技団体のスキル及びノウハウが必要である。(運営役員・審判の手配、試合の組合せ等)
	3 市が実施することにより事業効果が高くなる			
	1 市が実施する必要性はあまり高くない			
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	国、県もそれぞれ競技スポーツの大会を開催しているが、市民が気軽に参加できるわけではない。対して本大会は、参加者自身が競技レベルを測るのに効果がある。それぞれの大会運営は、岐阜市スポーツ協会に加盟する各競技団体が行っており、現行が最も効率的であると考えている。
	3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
	1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	大会をスポーツの日近辺で実施するよう、期間を限定しているのので、毎年、岐阜新聞と中日新聞にある程度まとめて掲載され、出場者や保護者である市民の注目も高く、参加者のスポーツに対するモチベーションアップに効果がある。
	3 相関関係を示すデータがある			
1 つながっていない又は不明確				
	アウトカム目標達成度	5 15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	人口減少・高齢化が進む中、日常的にスポーツに親しむ市民が世代間で継承されることにより、健康維持や医療費の縮減につながっており、持続可能な施策となっている。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	5	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	「岐阜市スポーツ推進計画2023-2032」に基づき、スポーツ参画の推進や持続可能な競技力の向上、地方創生とまちづくり、スポーツ環境の整備を図っていく。
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	29 50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	岐阜市内で各種目団体が実施している大会以外に、市民を対象としたスポーツ大会は他になく、参加者の運動意欲、市民のスポーツに親しむ機会を維持するために大会形式のイベントは必要と考えられる。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660070

003

【1.基本情報】

事業名	各種スポーツ大会出場補助事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	市民スポーツ課	
実施方法	補助等		補助等の種類	団体事業補助金	実施主体	岐阜市スポーツ協会
開始・終了年度	昭和	24	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市スポーツ振興補助金交付要綱

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	国際大会や全国大会に出場、入賞を目指す選手の競技力向上を図り、市をあげてスポーツの推進に取り組むため。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	国際大会や全国大会への出場者に対して補助金を交付する。					
事業の 対象	何を	補助金				
	誰に	市内在住、在勤又は在学の国際大会出場者や市内在住の全国大会に出場する小中高生				
	どのくらい	①オリンピック等 国外50,000円 国内25,000円 ②その他の国際大会 国外30,000円 国内15,000円 ③全国大会 宿泊あり10,000円 宿泊なし5,000円				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	事業名称を実態に合わせるため変更					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	318	10	451	14	987	30
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	318	10	451	14	987	30

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	7,800	6,500	6,500
決算額(C)	5,085	5,680	6,425
差額(B-C)	2,715	820	75
執行率(C/B)	65%	87%	99%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	5,403	6,131	7,412

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	5,403	6,131	7,412

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	大会件数		単位	件
	令和4年度	令和5年度		
目標値	90	150		150
実績値	135	147		156
達成率	150.0%	98.0%		104.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	国際大会や全国大会でかかった費用の負担を軽減することで、大会等に参加しやすくなる。			
	指標	大会参加者数		単位
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値（以上）	300	400	618	
実績値	348	477	537	
達成率	116.0%	119.3%	86.9%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	5	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	予算執行率が98%以上あり、537人の申請者に対して、国際大会や全国大会への出場等にかかる費用の負担を軽減することができた。
	3 ある程度のニーズがあり必要性がある			
1 必要性はあまり高くない				
必要性	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	市ゆかりの選手が国際大会や全国大会に出場し、活躍することで、市民のシビックプライドの醸成や地域への愛着の向上につながるため、市が担う必要がある。また、県に同種事業はなく、多くの市町村では同種事業を実施している。
	3 市が実施することにより事業効果が高くなる			
	1 市が実施する必要性はあまり高くない			
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	1	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	効率化されていない
	3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
	1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	大会件数が増えれば、参加者数も増加する
	3 相関関係を示すデータがある			
	1 つながっていない又は不明確			
	アウトカム目標達成度	14/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	「アスリート育成プロジェクトの強化」という課題に対して直接的に結びつく事業である
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	5	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	「岐阜市スポーツ推進計画2023-2032」に定める基本方針(2)「持続可能な競技力向上」にかかる岐阜市におけるスポーツ振興の循環を作るという方向性と合致している。
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		改善		現状維持	36/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
国際大会、全国大会に出場する選手を補助し、スポーツの振興、競技力の向上に寄与しているため、必要な支援である。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660070

004

【1.基本情報】

事業名	新春ぎふシティマラソン大会					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	市民スポーツ課	
実施方法	委託(その他)		補助等の種類		実施主体	岐阜市スポーツ協会
開始・終了年度	昭和	25	年度～		根拠法令・関連計画	岐阜市スポーツ推進計画

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	昭和25年の越年マラソン大会に始まり、過去には高橋尚子さんが出場し優勝している歴史深い大会であり、市民が気軽に参加できるマラソン大会として継続すべき事業である。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	年齢・性別などに分けて、マラソン6部門を行う。					
事業の 対象	何を	マラソン大会				
	誰に	小学生以上				
	どのくらい	年齢・性別などに分けて、マラソン6部門を行う。				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,590	50	1,610	50	1,645	50
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,590	50	1,610	50	1,645	50

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	1,505	1,927	1,969
決算額(C)	1,505	1,927	1,969
差額(B-C)	0	0	0
執行率(C/B)	100%	100%	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	3,095	3,537	3,614

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	3,095	3,537	3,614

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	申込人数		単位	人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値	1,250	1,250		1,250
実績値	757	678		1,088
達成率	60.6%	54.2%		87.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	市民のスポーツに取り組むきっかけ作り、マラソン分野のすそ野の拡大につながる。			
指標	大会参加者		単位	人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値（以上）	1,000	1,000	1,000	
実績値	571	593	907	
達成率	57.1%	59.3%	90.7%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)	
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	歴史深く、市民に親しまれている大会であり、市民の健康意識を高める良い機会となっている。	
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある		
			1 必要性はあまり高くない		
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない		主に市民を対象とした大会であり、市が運営する規模として適正であると考えている。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる		
			1 市が実施する必要性はあまり高くない		
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	地域に根差し、知識豊富な岐阜市スポーツ推進委員連絡協議会や岐阜市スポーツ指導員連絡協議会、高校生補助員などの協力を得ながら実施している。		
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
		1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3		5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	身近で誰もが気軽に参加できる大会となっており、市民の健康づくりの一翼を担っている。
				3 相関関係を示すデータがある	
				1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	8/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	小学生から高齢者まで気軽に参加できる大会を開催することで、スポーツの楽しさを提供するとともに、健康維持を図る。	
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である		
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない		
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	3	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	本事業は、「岐阜市スポーツ推進計画2023-2032」基本方針(3)施策2の「スポーツイベントの実施」に係わり、スポーツによる地域活性化とともに運動機会の創出を図るものである。	
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である		
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)		
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)		
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない		

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	26/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
歴史深く、市民に親しまれている大会であり、市民の健康意識を高める良い機会となっているため、現状維持により継続していく。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660070

005

【1.基本情報】

事業名	「岐阜スーパース」連携推進					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	市民スポーツ課	
実施方法	委託(民間)		補助等の種類		実施主体	岐阜バスケットボール株式会社
開始・終了年度	令和	4	年度～		根拠法令・関連計画	スポーツ推進計画

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	市民に夢と感動を与え、市民の一体感を醸成するプロスポーツチームの活動を、市民の文化として支え育むとともに、これを活かして市民スポーツの推進を図る。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	岐阜スーパース活用事業運営業務委託 ・ホームタウンデーの開催 ・小学生交流事業					
事業の 対象	何を	岐阜スーパースを活かした市民スポーツ推進活動				
	誰に	岐阜市民				
	どのくらい	・ホームタウンデー市民無料招待1回 ・小中学生交流事業6回				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	509	16	515	16	526	16
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	509	16	515	16	526	16

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	1,419	957	957
決算額(C)	957	957	957
差額(B-C)	462	0	0
執行率(C/B)	67%	100%	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	1,466	1,472	1,483

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般財源(D-F)	1,466	1,472	1,483

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)）

指標	ホームタウンデー広報案内		単位	回
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値	1	1	1	
実績値	1	1	1	
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	岐阜市民無料招待による試合観戦により、岐阜スүүプスの認知度、関心の向上。			
指標	ホームタウンデー来場者(岐阜市民)		単位	人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値(以上)	1,200	1,200	1,200	
実績値	1,200	1,200	1,200	
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)	
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	試合観戦者も多く、市民がこの事業によってトップスポーツに触れることができ、ニーズに合っている。	
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある		
			1 必要性はあまり高くない		
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない		スポーツの推進を図るために、岐阜市民の方を対象とした事業のため、市が担う必要がある。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる		
1 市が実施する必要性はあまり高くない					
効率性	効率がされているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	スポーツの推進を図るために、岐阜市民の方を対象とした事業のため、市が担う必要がある。	
			3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している		
			1 効率化されていない		
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	ホームタウンデーでは多くの市民の方が来場された。また、市内小中学生との交流事業(プロバスケットプレーヤーによる直接指導やバスケットボール教室開催など)の需要があることから、非常に効果があると考ええる。	
			3 相関関係を示すデータがある		
			1 つながっていない又は不明確		
	アウトカム目標達成度	15 / 15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	地元のプロチーム応援や、プロチーム主催の教室を実施することで、地域活性化につながる。	
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である		
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない		
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	5	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	岐阜市スポーツ推進計画	
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である		
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)		
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)		
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない		

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	37 / 50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	来場者数の実績から多くの方に需要があり、スүүプスの認知度向上にも繋がっており、今後も継続していく。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660070

006

【1.基本情報】

事業名	岐阜市スポーツ少年団事業補助金						
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	市民スポーツ課		
実施方法	補助等		補助等の種類	団体事業補助金	実施主体	岐阜市スポーツ少年団本部	
開始・終了年度	平成	3	年度～		年度	根拠法令・関連計画	岐阜市スポーツ少年団事業補助金交付要綱

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	市内の単位スポーツ少年団の統括団体である岐阜市スポーツ少年団本部の事業を補助する。 岐阜市スポーツ少年団本部はスポーツのもつ教育的な機能を活かし、スポーツ活動を通じた青少年の健全育成及び交流を目的として設立された団体であり、事業の企画・運営、県・地区スポーツ少年団との連絡調整を行っている。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	リーダー研修会、市スポーツ少年団大会、スポーツ少年団表彰、スタートコーチ養成講習会等、各事業にかかる費用の補助					
事業の 対象	何を	事業補助金の交付				
	誰に	岐阜市スポーツ少年団本部				
	どのくらい	事業補助金 1,250,000円				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	8,268	260	8,372	260	8,554	260
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	8,268	260	8,372	260	8,554	260

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	1,250	1,250	1,250
決算額(C)	1,250	1,250	1,250
差額(B-C)	0	0	0
執行率(C/B)	100%	100%	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	9,518	9,622	9,804

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	9,518	9,622	9,804

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)）

指標	スポーツ少年団加入率		単位	%
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値	20	20		20
実績値	15	16		16
達成率	76.0%	78.5%		80.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	スポーツ少年団の団員数が増加し、生涯スポーツの推進につながる。			
指標	団員数		単位	人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値(以上)	3,853	3,794	3,000	
実績値	3,004	3,084	3,009	
達成率	78.0%	81.3%	100.3%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	市内各小学校等で小学生のスポーツ活動の場を提供しているスポーツ少年団の岐阜市本部である。
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1 必要性はあまり高くない	
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	指導者、リーダーの研修、市大会等開催のため、必要である。国、県、地区に上部団体がある。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる	
			1 市が実施する必要性はあまり高くない	
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	市内3,009名(令和6年度)の団員がスポーツ少年団活動を行い、団員の心と体を育む。	
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している		
		1 効率化されていない		
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	市内各小学校等で小学生のスポーツ活動の場を提供し、また指導者、リーダー候補団員への研修、大会、表彰を行っており、有効性は高い。
			3 相関関係を示すデータがある	
			1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	12/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	スポーツを通じた青少年の健全育成及びスポーツ振興に寄与し、スポーツ実施率の向上や生涯スポーツの推進につながる。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	5	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	本事業は、「岐阜市スポーツ推進計画2023-2032」基本方針(1)施策1の「生涯スポーツの推進」において、青少年の健全育成に教育的な機能を活かし、スポーツ活動を実施している。
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	36/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	スポーツ少年団は子どもたちにスポーツの楽しさを伝えること、スポーツを通して心と体を育てること、スポーツを通じて人々をつなぎ、地域づくりに貢献することを理念として活動している。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660070

007

【1.基本情報】

事業名	岐阜市スポーツ推進委員支援事業補助金					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	市民スポーツ課	
実施方法	補助等		補助等の種類	団体事業補助金	実施主体	岐阜市スポーツ推進委員連絡協議会
開始・終了年度	昭和	42	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市スポーツ推進計画

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	生涯スポーツ、地域スポーツの推進を目的に、コミュニティづくり及び多世代が集うスポーツの場を展開できるよう研究及び実施する					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	協議会の事業費を補助する。 市内全50地域に2名のスポーツ推進委員を配置し、地域のスポーツ振興が充実・発展するよう企画や運営を行う。委員は研修会等に参加し、地域スポーツの研究も行う。また、市の事業にも協力していただく。					
事業の 対象	何を	事業費補助金				
	誰に	岐阜市スポーツ推進委員連絡協議会、(市民、参加者)				
	どのくらい	補助金:450,000円(全体研修会(3回/年)、生涯スポーツ大会の実施、全国・岐阜地区等の研修会への参加等)				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,544	80	2,576	80	2,632	80
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,544	80	2,576	80	2,632	80

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	450	450	450
決算額(C)	450	450	450
差額(B-C)	0	0	0
執行率(C/B)	100%	100%	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	2,994	3,026	3,082

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	2,994	3,026	3,082

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	事業開催回数		単位	回
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	15		15	15
実績値	12		12	12
達成率	80.0%		80.0%	80.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	軽スポーツ、地域スポーツの推進によるコミュニティづくり及び多世代の集うスポーツの場の展開			
指標	参加者		単位	人
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値（以上）	3,000		3,000	3,000
実績値	1,415		1,818	1,807
達成率	47.2%		60.6%	60.2%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	市民が気軽に参加できる大会を開催しており、各大会で多くの参加者がいることからある程度のニーズがあり、必要性は高いと考えられる。
	3 ある程度のニーズがあり必要性がある			
1 必要性はあまり高くない				
必要性	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	岐阜市の非常勤公務員であるスポーツ推進委員の協議会であり、国・県・地区にも上部団体がある。
	3 市が実施することにより事業効果が高くなる			
	1 市が実施する必要性はあまり高くない			
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	公益性のある事業を企画、実施する協議会の運営費を一部補助するものであり、民間活用による人件費削減等は難しい。しかし、団体の主催する大会においては、参加申し込みをオンライン化するなど、DXを用いた効率化が図られている。
	3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
	1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	1	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	様々な生涯スポーツ大会等の実施により、幅広い世代の市民が気軽に運動できる環境を提供することで、岐阜市のスポーツ振興に寄与している。また、研修会等の実施、参加により、スポーツ推進委員自身の資質向上に努め、市民に還元できていると考えられる。
	3 相関関係を示すデータがある			
	1 つながっていない又は不明確			
	アウトカム目標達成度	8 / 15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	高齢化が進む中で、誰でもできる軽スポーツやレクリエーションといった種目の研修会や大会を開催することで、スポーツ実施率の向上や生涯スポーツとして運動習慣の継続化が見込まれる。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	3	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	本事業では、「岐阜市スポーツ推進計画2023-2032」における基本方針3 施策2で定める「スポーツイベントの実施」として、軽スポーツ・ニュースポーツを中心としたイベントを実施し、市民の運動機会の一翼を担っている。
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	28 / 50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
本事業は、地域スポーツの振興及び生涯スポーツの普及という観点において非常に重要であるため、今後も継続していく。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660070

008

【1.基本情報】

事業名	岐阜市スポーツ指導員支援事業補助金					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	市民スポーツ課	
実施方法	補助等		補助等の種類	団体事業補助金	実施主体	岐阜市スポーツ指導員連絡協議会
開始・終了年度	昭和	55	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市スポーツ推進計画

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	スポーツ指導員が参加する研修会、交流会等の開催、各種スポーツ教室、地域のスポーツ行事等へのスポーツ指導員の派遣等、岐阜市スポーツ指導員連絡協議会の事業を補助する。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	全体研修会(3回)実施、総会の実施、指導者の派遣依頼対応、市イベントへの協力					
事業の 対象	何を	事業補助金				
	誰に	岐阜市スポーツ指導員連絡協議会				
	どのくらい	事業補助金 52,000円				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,590	50	1,610	50	1,645	50
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,590	50	1,610	50	1,645	50

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	52	52	52
決算額(C)	52	52	52
差額(B-C)	0	0	0
執行率(C/B)	100%	100%	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	1,642	1,662	1,697

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	1,642	1,662	1,697

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	研修会の実施		単位	回数
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	2		2	2
実績値	3		2	2
達成率	150.0%		100.0%	100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	スポーツ教室等の質の向上			
指標	スポーツ教室等受講者、イベント参加者		単位	人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値(以上)	7,000		7,000	7,000
実績値	4,000		4,309	4,037
達成率	57.1%		61.6%	57.7%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	スポーツ指導員への研修会を実施しており、指導者としての資質向上のために必要である。
	3 ある程度のニーズがあり必要性がある			
1 必要性はあまり高くない				
必要性	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	岐阜市スポーツ指導員連絡協議会は、市内の各種スポーツ教室等で指導を行うスポーツ指導員の資質向上のために事業を行う団体であり、市が担う必要がある。
	3 市が実施することにより事業効果が高くなる			
	1 市が実施する必要性はあまり高くない			
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	業務量、業務期間(年間を通して事務局事務がある)から見ると、委託するより職員が行うことが効率的である。
	3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
	1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	指導者の資質向上のための研修を実施しており、スポーツ教室等の質を向上させている。
	3 相関関係を示すデータがある			
	1 つながっていない又は不明確			
有効性	アウトカム目標達成度	7 / 15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
	先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である
3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である				
1 将来の課題解決に対する効果はあまりない				
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	3	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	スポーツ推進計画ではスポーツ参画の推進として、週1回以上スポーツを行う成人の市民の割合を70%を目標にしている。スポーツ指導員が行うスポーツ教室はスポーツ参画機会を創出し、スポーツ実施率の向上につながるため、重要である。
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
総合評価		現状維持		現状維持	27 / 50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	スポーツ指導員の資質の維持、向上のため必要である。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660070

009

【1.基本情報】

事業名	「FC岐阜」連携推進					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	市民スポーツ課	
実施方法	委託(民間)		補助等の種類		実施主体	岐阜県フットボールクラブ
開始・終了年度	平成	21	年度～		年度	根拠法令・関連計画 スポーツ推進計画

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	市民に夢と感動を与え、市民の一体感を醸成するプロスポーツチームの活動を、市民の文化として支え育むとともに、これを活かして市民スポーツの推進を図る。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	1、FC岐阜活用事業運営業務委託 ・ホームタウンデー市民交流推進事業、シティプロモーション事業 2、FC岐阜スポーツキャラバン運営業務委託事業 ・キャラバン教室、岐阜市スポーツ交流センター活用交流事業					
事業の 対象	何を	FC岐阜を活かした市民スポーツ推進活動				
	誰に	岐阜市民				
	どのくらい	・ホームタウンデー市民招待:1回 ・スーパーシート:1試合 ・シティプロモーション:1回 ・体操教室及び巡回サッカー教室:100回 ・サッカー教室:2回 ・サッカー講座:5回 ・健康運動教室:15回 エクササイズ教室:15回				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	509	16	515	16	526	16
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	509	16	515	16	526	16

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	25,000	24,500	22,000
決算額(C)	25,000	24,500	22,000
差額(B-C)	0	0	0
執行率(C/B)	100%	100%	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	25,509	25,015	22,526

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	25,509	25,015	22,526

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	ホームタウンデー広報案内		単位	回
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	1		1	1
実績値	1		1	1
達成率	100.0%		100.0%	100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	岐阜市民無料招待による試合観戦により、FC岐阜の認知度、サッカーへの関心が向上。			
指標	ホームタウンデー来場者(岐阜市民)		単位	人
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値(以上)	3,300		4,100	4,100
実績値	2,984		3,027	4,100
達成率	90.4%		73.8%	100.0%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)	
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	5	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	試合観戦者も多く、市民がこの事業によってトップスポーツに触れることができ、ニーズに合っている。 【2024平均観客数:4,683人、ホームタウンデー:7,503人】	
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある		
			1 必要性はあまり高くない		
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない		スポーツの推進を図るために、岐阜市民の方を対象とした事業のため、市が担う必要がある。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる		
			1 市が実施する必要性はあまり高くない		
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	市民が全国を舞台に戦うFC岐阜の試合を現地で観戦することで、地域スポーツの普及促進、スポーツが生活に溶け込んだ活気ある魅力的なまちづくりの推進に繋がると見込める。また、観戦による交流人口増加により、公共交通機関の利用等の促進が図られ、費用対効果が高いと考える。		
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
		1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	ホームタウンデーでは多くの市民の方が来場されたり、スーパーシートやキャラバン教室など当選人数・施設を大幅に超える申し込みがあり当該事業を通じて岐阜市の魅力や情報を県内外に発信しており非常に効果がある。	
			3 相関関係を示すデータがある		
			1 つながっていない又は不明確		
	アウトカム目標達成度	12/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	地元のプロチーム応援や、プロチーム主催の教室を実施することで、地域活性化につながる。	
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である		
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない		
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	5	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	岐阜市スポーツ推進計画	
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である		
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)		
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)		
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない		

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	36/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
FC岐阜を活用することで、市民の健康促進、スポーツ振興を図るとともに、FC岐阜の認知度の向上に繋がり、活気のある魅力的な岐阜市になっていく。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660070

010

【1.基本情報】

事業名	地域体育振興事業補助金					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	市民スポーツ課	
実施方法	補助等		補助等の種類	団体事業補助金	実施主体	各地域体育振興会等
開始・終了年度	昭和	40	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市体育振興補助金交付要綱

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	市内50地域の体育振興会が行う市民の健康増進及び相互交流のための事業に対し補助を行う。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	各地域で行う事業(グラウンドゴルフ大会、市民運動会)に対し補助金を交付する。					
事業の 対象	何を	事業補助金				
	誰に	市内50地域の体育振興会が行う市民の健康増進及び相互交流のための事業に対し補助を行う。				
	どのくらい	各地域 34,500円～39,900円(世帯数による)				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	954	30	966	30	987	30
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	954	30	966	30	987	30

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	1,875	1,878	1,878
決算額(C)	1,204	1,515	1,473
差額(B-C)	671	363	405
執行率(C/B)	64%	81%	78%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	2,158	2,481	2,460

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	2,158	2,481	2,460

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	補助金案内送付地域数		単位	地域
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	50	50	50	50
実績値	50	50	50	50
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	補助金交付地域数		単位	地域
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
市民の健康増進及び相互交流の推進				
指標				
目標値(以上)	50	50	50	50
実績値	33	40	40	39
達成率	66.0%	80.0%	80.0%	78.0%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記) 3 ある程度のニーズがあり必要性がある 1 必要性はあまり高くない	市内50ある体育振興会のうち、39の体育振興会が補助金申請を行うなど、ニーズがあり、地域でのスポーツ振興においては、本補助金には必要性があると考えられる。
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない 3 市が実施することにより事業効果が高くなる 1 市が実施する必要性はあまり高くない	
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記) 3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している 1 効率化されていない	補助金申請及び事業実施報告においては、オンライン申請を取り入れることで業務を効率化している。
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記) 3 相関関係を示すデータがある 1 つながっていない又は不明確	39地域の体育振興会から申請があり、各地域がスポーツイベント等を実施した。市民の健康増進及び相互交流のため有効である。
	アウトカム目標達成度	10/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である 3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である 1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	全世代におけるスポーツ実施率低下という課題において、各体育振興会が独自に住民を対象とした事業を開催しているため、問題解決に間接的に結びつく事業である。
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	1	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である 8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である 5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記) 3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記) 1 事業が市の計画に直接的に関係していない	本事業は、市の計画に直接的には関係していないが、「岐阜市スポーツ推進計2023-2032」の基本方針(1) 施策1の「生涯スポーツの推進」という点において、各体育振興会が補助金を活用して、軽スポーツ普及イベントを行い、生涯スポーツの裾野を広げている。

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	28/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
本事業を活用して、各地域体育振興会が各地域にて健康増進及び相互交流の場を提供しているため、継続して実施していく。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660070

011

【1.基本情報】

事業名	強化指定選手事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	市民スポーツ課	
実施方法	補助等		補助等の種類	その他補助金	実施主体	岐阜市
開始・終了年度	平成	26	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市スポーツ振興補助金交付要綱、岐阜市スポーツ推進計画 2023-2032

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	岐阜市が指定する将来有望な強化選手に対して支援することにより、オリンピック・パラリンピック出場を目指すアスリートのスポーツに取り組む環境を整える。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	岐阜市出身、在住の選手でオリンピック・パラリンピック出場が見込める有望な選手に対して補助金を交付する。					
事業の 対象	何を	強化指定選手補助金				
	誰に	岐阜市出身、在住の選手でオリンピック・パラリンピック出場が見込める選手				
	どのくらい	1人あたり500,000円を上限				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	954	30	966	30	987	30
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	954	30	966	30	987	30

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	2,000	5,000	5,000
決算額(C)	1,852	4,995	1,815
差額(B-C)	148	5	3,185
執行率(C/B)	93%	100%	36%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	2,806	5,961	2,802

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	2,806	5,961	2,802

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	認定人数		単位	人
	令和4年度	令和5年度		
目標値	10	10		3
実績値	14	10		3
達成率	140.0%	100.0%		100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	選手の費用負担を軽減する。			
	指標	オリンピック・パラリンピック出場者	単位	人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値（以上）	0	0	8	
実績値	0	0	2	
達成率	0.0%	0.0%	25.0%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)	
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	5	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	本事業開始以降、強化指定選手に認定した選手の中から10名がオリンピック・パラリンピックに出場しており、岐阜市ゆかりの選手のオリンピック・パラリンピック出場を支援することは、岐阜市全体の活力を生み出すことにつながる。	
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある		
			1 必要性はあまり高くない		
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない		岐阜市ゆかりの選手を補助する故に、補助事業を民間で行うことは難しい。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる		
			1 市が実施する必要性はあまり高くない		
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	競技ごと、選手ごとに競技力の向上に必要な備品、消耗品は異なり、対応するためには補助金の支給が一番効率的である。		
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
		1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	2026年ミラノオリンピック・パラリンピック、2028年ロサンゼルスオリンピック・パラリンピック等においても、多くの岐阜市ゆかりの選手が出場、活躍し、市民の活力が向上することを見込んでいる。	
			3 相関関係を示すデータがある		
			1 つながっていない又は不明確		
	アウトカム目標達成度	1 / 15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	岐阜市ゆかりの選手のオリンピック・パラリンピック出場を支援することは、岐阜市全体の活力を生み出すことにつながる。	
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である		
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない		
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	5	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	岐阜市スポーツ推進計画 2023-2032に密接に関係している。	
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である		
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)		
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)		
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない		

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	27 / 50	継続	・40点以上: 拡充 ・25点以上: 継続 ・15点以上: 改善 ・0点以上: 縮小・廃止
今後開催されるオリンピック・パラリンピックにおいても、引続き岐阜市ゆかりの選手を支援していくため、現状維持。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660070

012

【1.基本情報】

事業名	学校体育施設開放事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	市民スポーツ課	
実施方法	委託(その他)		補助等の種類		実施主体	開放運営委員会
開始・終了年度	昭和	50	年度～		根拠法令・関連計画	岐阜市立学校等の体育施設の開放に関する要綱

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	地域住民が気軽にスポーツを楽しみ、体力の向上や健康の増進に繋がることを目的とする。また、地域住民同士の交流の場として活用する事業であり、それに伴う事務手続きを円滑に行うための委託である。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	学校体育施設開放					
事業の 対象	何を	学校体育施設開放				
	誰に	市民				
	どのくらい	学校等体育館、運動場、格技場				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	8,268	260	8,372	260	8,554	260
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	8,268	260	8,372	260	8,554	260

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	64,672	59,389	66,721
決算額(C)	62,974	64,012	64,064
差額(B-C)	1,698	-4,623	2,657
執行率(C/B)	97%	108%	96%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	71,242	72,384	72,618

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	22,228	24,354	22,488
決算額(F)	21,424	22,126	23,788
差額(E-F)	804	2,228	-1,300
執行率(F/E)	96%	91%	106%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	49,818	50,258	48,830

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)）

指標	開放施設数		単位	箇所
	令和4年度	令和5年度		
目標値	78	78	78	78
実績値	78	78	78	78
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	地域住民がスポーツを楽しむ場所を提供			
	指標	学校等体育施設利用者数	単位	人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値(以上)	550,000	550,000	550,000	
実績値	465,443	476,386	490,553	
達成率	84.6%	86.6%	89.2%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	5	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	地域住民がスポーツを楽しみ、体力の向上や健康の増進に繋がることを目的とする利用率が高い。 年間延べ利用者数490,553人(前年比+2.9%)
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1 必要性はあまり高くない	
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	岐阜市所管施設のため市が担う必要がある。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる	
			1 市が実施する必要性はあまり高くない	
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	既存の学校施設を使用しているため、維持管理等の費用はあまりかからない。	
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している		
		1 効率化されていない		
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	老若男女の方々が様々なスポーツに取り組み、スポーツ振興につながっている。 年間延べ利用者数490,553人(前年比+2.9%)
			3 相関関係を示すデータがある	
			1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	12/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	地域住民が気軽にスポーツを楽しめる場を提供するとともに、健康増進に結びつく。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	5	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	「岐阜市スポーツ推進計画2023-2032」基本方針(4)スポーツ環境の整備に密接に関係している。
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	36/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	多くの市民が利用しており、スポーツ振興及び地域貢献という観点において非常に重要であるため、今後も継続していく。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号	0660070	013
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	岐阜市レクリエーション普及事業補助金					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	市民スポーツ課	
実施方法	補助等		補助等の種類	団体事業補助金	実施主体	岐阜市レクリエーション協会
開始・終了年度	平成	元	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市レクリエーション事業補助金交付要綱

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	2016年に開催した「第70回全国レクリエーション大会in岐阜」の成果を一過性のものとせず、各種団体と協力してレクリエーションの普及・拡大を図り、もって市民の健康づくりや生きがいづくりに寄与する。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	岐阜市レクリエーション協会が、岐阜市のスポーツ・レクリエーション団体、教育・福祉施設など、レクリエーションに携わる個人・団体を統括するネットワークの会として、各種目大会や教室を開催し、健康の保持増進のアドバイス、スポーツ・レクリエーション啓発を行う事業の一部を補助する。					
事業の 対象	何を	事業補助金				
	誰に	岐阜市レクリエーション協会				
	どのくらい	1,000,000円				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	スポーツ実施率の低い30代の子育て世代をメインターゲットとし、商業施設(カラフルタウン岐阜)でモルック体験教室(7回)及び大会(1回)を開催					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	318	10	322	10	329	10
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	318	10	322	10	329	10

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	1,000	1,000	1,000
決算額(C)	1,000	1,000	1,000
差額(B-C)	0	0	0
執行率(C/B)	100%	100%	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	1,318	1,322	1,329

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	1,318	1,322	1,329

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	レクリエーション教室・種目大会開催回数		単位	回
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	30		52	52
実績値	40		42	35
達成率	133.3%		80.8%	67.3%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	レクリエーション教室及び大会参加者の増加			
指標	参加者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値(以上)	13,000		10,000	10,000
実績値	2,975		3,138	3,706
達成率	22.9%		31.4%	37.1%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	障がいの有無や世代を問わず、幅広い市民の生きがいづくり及び健康づくり等に寄与するレクリエーションの普及が図られている。
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1 必要性はあまり高くない	
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	協会の自主財源のみで行う事業だけでなく、市の補助があることで、開催回数や広報等、更に充実させることができる。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる	
			1 市が実施する必要性はあまり高くない	
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	レクリエーションを幅広く普及させるためには、レクリエーション活動普及のノウハウがある市レクリエーション協会の事業費に補助する現方法が効率的である。	
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している		
		1 効率化されていない		
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	1	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	本事業により、多くの市民が参加し、レクリエーションの体験をすることができる。継続して広報、事業を実施することで、更なる参加者が見込まれる。 障がいのある市民を問わず、幅広い市民を対象に事業が行われている。
			3 相関関係を示すデータがある	
			1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	3 15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	あらゆる市民が、それぞれの多様なライフスタイルの中でスポーツやレクリエーションに親しみ、楽しむための事業であり、生涯にわたる健康と生きがいづくりにつながる活力に満ちた長寿社会の実現に向けた取り組みである。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	岐阜市スポーツ推進計画の基本方針「スポーツ参画の推進」に寄与する取組であり、未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である。
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	26 50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	レクリエーション教室等の開催種目数や開催回数の増加により、普段体を動かす機会の少ない市民等がスポーツ・レクリエーションに触れることができるなど、一定の効果が認められるため、現状維持とする。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660070

014

【1.基本情報】

事業名	屋外体育施設管理					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	市民スポーツ課	
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	58	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市屋外体育施設条例

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	市民のスポーツ及びレクリエーション活動の場を提供する					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	島西運動場、則松球場、フィールドかけぼら、諏訪山運動場、岐陽運動場の管理運営委託 柳津運動場、高桑運動広場、坂巻運動広場の管理運営					
事業の 対象	何を	屋外体育施設				
	誰に	市民				
	どのくらい	島西運動場、則松球場、フィールドかけぼら、諏訪山運動場、岐陽運動場、柳津運動場、高桑運動広場、坂巻運動広場				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,180	100	3,220	100	3,290	100
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,180	100	3,220	100	3,290	100

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	22,780	24,384	25,271
決算額(C)	23,550	25,416	26,012
差額(B-C)	-770	-1,032	-741
執行率(C/B)	103%	104%	103%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	26,730	28,636	29,302

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	4,464	4,834	7,024
決算額(F)	7,029	6,513	6,472
差額(E-F)	-2,565	-1,679	552
執行率(F/E)	157%	135%	92%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	19,701	22,123	22,830

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	施設数		単位	箇所
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	10		10	10
実績値	10		10	10
達成率	100.0%		100.0%	100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	市民がスポーツを実施できる環境を提供する			
指標	利用者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値（以上）	200,000		200,000	200,000
実績値	172,726		169,207	164,084
達成率	86.4%		84.6%	82.0%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	市民のスポーツ及びレクリエーション活動には欠かせない。施設利用後のアンケートの回答にて、高い満足度を得られている。
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1 必要性はあまり高くない	
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	
3 市が実施することにより事業効果が高くなる				
1 市が実施する必要性はあまり高くない				
効率性	効率がされているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	公共施設予約システムでの予約管理を行っている。
			3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している	
			1 効率化されていない	
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	1	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	年間の稼働率はほぼ一定である。
			3 相関関係を示すデータがある	
			1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	12/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	市民の生活習慣病予防に寄与し、地域コミュニティ形成の役割を果たしている。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	運動、競技目的の人々が集まる場としての役割と、地域コミュニティ形成の役割があり、市の方向性と合致している。
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	35/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	運動、競技目的の人々が集まる場としての役割と、地域の人々が集まる場としての双方からの需要があることから、継続して実施していく。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660070

015

【1.基本情報】

事業名	屋内体育施設管理					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	市民スポーツ課	
実施方法	委託(出資団体)		補助等の種類		実施主体	(公財)岐阜市教育文化振興事業団、(株)技研サービス
開始・終了年度	令和	4	年度～	令和	8	年度
				根拠法令・関連計画	岐阜市体育館条例、岐阜市民プール条例、岐阜市スポーツ交流センター条例	

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	市民のスポーツ及びレクリエーション活動の場を提供する					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	屋内体育施設の整備、管理及び工事等					
事業の 対象	何を	屋内体育施設				
	誰に	市民				
	どのくらい	体育館10館、市民プール3箇所、スポーツ交流センター				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,180	100	3,220	100	3,290	100
パートタイム会計年度任用職員A	7,878	780	7,878	780	9,438	780
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	11,058	880	11,098	880	12,728	880

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	494,709	539,208	544,145
決算額(C)	476,612	506,826	501,510
差額(B-C)	18,097	32,382	42,635
執行率(C/B)	96%	94%	92%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	487,670	517,924	514,238

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	173,525	140,334	171,400
決算額(F)	156,510	162,794	195,077
差額(E-F)	17,015	-22,460	-23,677
執行率(F/E)	90%	116%	114%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	331,160	355,130	319,161

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	利用者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	700,000	700,000		700,000
実績値	492,519	545,081		524,051
達成率	70.4%	77.9%		74.9%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	市民がスポーツを実施できる環境を提供する			
指標	稼働率		単位	%
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値(以上)	90	90	90	
実績値	92	89	87	
達成率	101.8%	98.7%	96.7%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	市民のスポーツ及びレクリエーション活動には欠かせない。施設利用後のアンケートの回答にて、高い満足度を得られている。
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1 必要性はあまり高くない	
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	
3 市が実施することにより事業効果が高くなる				
1 市が実施する必要性はあまり高くない				
効率性	効率がされているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	指定管理者による民間のノウハウを取り入れた運営により、利用者ニーズをより取り込んでいる。公共施設予約システムでの予約管理を行っている。
			3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している	
			1 効率化されていない	
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	1	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	年間の稼働率はほぼ一定である。
			3 相関関係を示すデータがある	
			1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	13/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	市民の生活習慣病予防に寄与し、地域コミュニティ形成の役割を果たしている。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	運動、競技目的の人々が集まる場としての役割と、地域コミュニティ形成の役割があり、市の方向性と合致している。
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	36/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
運動、競技目的の人々が集まる場としての役割と、地域の人々が集まる場としての双方からの需要があることから、継続して実施していく。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660070

016

【1.基本情報】

事業名	岐阜市公共施設予約システム事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	市民スポーツ課	
実施方法	委託(その他)		補助等の種類		実施主体	岐阜市
開始・終了年度	平成	11	年度～		根拠法令・関連計画	岐阜市公共施設予約システム利用に関する規則

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	市民が主体的にスポーツ活動に取り組むためには、スポーツに関する様々な情報を容易に入手できる環境が整備されていることが望ましい。当事業は、スポーツ施設の利用に関して手続き等を簡潔にするものである。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	市内の有料スポーツ施設(屋内外)を、インターネットを利用し、パソコン・携帯電話・スマートフォンで利用申請できるシステムの運用。					
事業の 対象	何を	スポーツ施設予約システム				
	誰に	市民				
	どのくらい	インターネット・スマートフォンでの申請を提供する。				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,180	100	3,220	100	3,290	100
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,180	100	3,220	100	3,290	100

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	4,528	4,528	4,528
決算額(C)	4,523	4,523	4,523
差額(B-C)	5	5	5
執行率(C/B)	100%	100%	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	7,703	7,743	7,813

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	7,703	7,743	7,813

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)）

指標	利用者カード登録累計数		単位	枚
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値	12,500	13,000	13,500	
実績値	11,775	12,141	12,616	
達成率	94.2%	93.4%	93.5%	

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	利用者の操作性、視認性が改善され、利便性が向上する。			
指標	施設利用者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値(以上)	800,000	800,000	800,000	
実績値	741,594	1,176,713	688,513	
達成率	92.7%	147.1%	86.1%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)	
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	市民がどこでも自由な時間にスポーツ施設を予約することができる。また施設使用料が口座振替となり、収入金額の管理が容易である。	
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある		
			1 必要性はあまり高くない		
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない		規則で定められている。市民が計画的に施設を利用することができる。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる		
			1 市が実施する必要性はあまり高くない		
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	公共施設予約システムにて予約管理を行っているため人件費削減でき、事務手続も簡略化している。		
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
		1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	1	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	利用者カードの登録数は増加しており、体育施設の年間の稼働率も高い。	
			3 相関関係を示すデータがある		
			1 つながっていない又は不明確		
	アウトカム目標達成度	13/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	市民の生活習慣病予防に寄与し、地域コミュニティ形成の役割を果たしている。	
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である		
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない		
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	運動、競技目的の人々が集まる場としての役割と、地域コミュニティ形成の役割があり、市の方向性と合致している。	
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である		
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)		
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)		
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない		

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	36/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
運動、競技目的の人々が集まる場としての役割と、地域の人々が集まる場としての双方からの需要があることから、今後も継続していく。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660070

017

【1.基本情報】

事業名	屋外体育施設管理					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	市民スポーツ課	
実施方法	委託(その他)		補助等の種類		実施主体	岐南町
開始・終了年度	令和	4	年度～	令和	8	年度
				根拠法令・関連計画	岐阜市屋外体育施設条例	

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	市民のスポーツ及びレクリエーション活動の場を提供する					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	厚八運動場、厚八テニスコートの指定管理					
事業の 対象	何を	屋外体育施設				
	誰に	市民				
	どのくらい	厚八運動場、厚八テニスコート				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,180	100	3,220	100	3,290	100
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,180	100	3,220	100	3,290	100

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	2,260	2,260	2,260
決算額(C)	2,260	2,260	2,260
差額(B-C)	0	0	0
執行率(C/B)	100%	100%	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	5,440	5,480	5,550

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	300	300	300
決算額(F)	252	286	289
差額(E-F)	48	14	11
執行率(F/E)	84%	95%	96%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	5,188	5,194	5,261

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	利用者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値	25,000	25,000	25,000	
実績値	20,097	24,306	19,946	
達成率	80.4%	97.2%	79.8%	

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	市民がスポーツを実施できる環境を提供する			
指標	利用料収入		単位	円
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値（以上）	300,000	300,000	300,000	
実績値	251,540	285,865	288,570	
達成率	83.8%	95.3%	96.2%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)	
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	市民のスポーツ及びレクリエーション活動には欠かせない。施設利用後のアンケートの回答にて、高い満足度を得られている。	
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある		
			1 必要性はあまり高くない		
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない		市民の生活習慣病予防の観点からも、スポーツ施設の需要が高い。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる		
			1 市が実施する必要性はあまり高くない		
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	公共施設予約システムでの予約管理を行っている。		
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
		1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	1	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	年間の稼働率はほぼ一定である。	
			3 相関関係を示すデータがある		
			1 つながっていない又は不明確		
	アウトカム目標達成度	12/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	市民の生活習慣病予防に寄与し、地域コミュニティ形成の役割を果たしている。	
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である		
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない		
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	運動、競技目的の人々が集まる場としての役割と、地域コミュニティ形成の役割があり、市の方向性と合致している。	
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である		
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)		
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)		
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない		

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	35/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
運動、競技目的の人々が集まる場としての役割と、地域の人々が集まる場としての双方からの需要があることから、継続して実施していく。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660070

018

【1.基本情報】

事業名	スポーツスタートアップ事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	市民スポーツ課	
実施方法	委託(民間)		補助等の種類		実施主体	岐阜市スポーツ協会
開始・終了年度	平成	14	年度～	年度	根拠法令・関連計画	スポーツ推進計画

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	市内小中学生を対象に、市内にある体育施設等を利用して、優れた指導者の下で競技人口の拡大と競技力の向上を目指す。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	一般種目クラスは、卓球・バドミントン・ソフトテニス・陸上・柔道・体操・剣道・サッカーの8競技のクラブ活動を実施する。 特定種目クラスは、ホッケー・自転車・レスリング・相撲・ビームライフル・硬式テニスの6競技のクラブ活動を実施する。 アクションスポーツクラスは、バルクールを実施する。					
事業の 対象	何を	小中学生が参加するスポーツクラブを開催する。				
	誰に	受講を希望する市内小中学生(募集学年は競技によって異なる)				
	どのくらい	アクションスポーツクラス(年間15回)				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	アクションスポーツクラスのみの開講に変更。					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,226	70	2,254	70	2,303	70
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,226	70	2,254	70	2,303	70

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	5,700	7,183	811
決算額(C)	5,259	6,104	782
差額(B-C)	441	1,079	29
執行率(C/B)	92%	85%	96%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	7,485	8,358	3,085

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	1,530	2,366	114
決算額(F)	966	1,167	105
差額(E-F)	564	1,199	9
執行率(F/E)	63%	49%	92%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般財源(D-F)	6,519	7,191	2,980

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	競技数		単位	競技
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	14	14	14	1
実績値	13	12	12	1
達成率	92.9%	85.7%	85.7%	100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	アクションスポーツクラスへの参加により、アクションスポーツと関わる機会を創出。			
指標	参加者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値（以上）	1,000	1,000	1,000	30
実績値	600	718	718	30
達成率	60.0%	71.8%	71.8%	100.0%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)	
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	定員を超える申し込みがあり、ニーズが高く、広くスポーツの振興、普及に寄与している。	
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある		
			1 必要性はあまり高くない		
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない		アクションスポーツは15回で3000円と、市内小中学生の誰もが参加しやすい教室になっている。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる		
			1 市が実施する必要性はあまり高くない		
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	ログフォームの活用による申請・決裁手続きの簡略化。		
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
		1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3		5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	受講希望が多く、参加者数30人の目標を達成している。
				3 相関関係を示すデータがある	
				1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	11/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	この事業をきっかけに、人気を広がりつつあるパルクールの普及促進や、プロアスリートの誕生につながる可能性がある。	
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である		
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない		
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	5	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である		岐阜市スポーツ推進計画
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である		
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)		
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)		
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない		

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		改善		改善	31/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
各種競技において民間のスポーツ教室が開設されるなど、行政としては一定の役割を終えたと考えるが、スポーツへの多様化が進み、新たな種目への継続的支援が必要であることから、アクションスポーツクラスを継続していく。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660070

019

【1.基本情報】

事業名	トップアスリート次世代継承事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	市民スポーツ課	
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	令和	4	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	オリンピック・パラリンピックへの出場経験のあるトップアスリートが、各団体に選手経験などの講演と一緒に運動する活動を通じて、小中学生のスポーツに積極的に取り組む意欲を高め、今後の進路などの選択肢の参考となるような学びを得ることを目的とする。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	各団体にオリンピック・パラリンピックで活躍したトップアスリートを招き、講話と一緒に運動を行う機械をもつ。					
事業の 対象	何を	講師報償費				
	誰に	オリンピック・パラリンピックや各競技の世界レベルで活躍したスポーツ選手				
	どのくらい	1回あたり40,000円(上限200,000円)+旅費(上限70,000円)				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	事業の対象者から小学校及び中学校を削除					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	127	4	97	3	329	10
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	127	4	97	3	329	10

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	470	562	270
決算額(C)	338	328	201
差額(B-C)	132	234	69
執行率(C/B)	72%	58%	74%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	465	425	530

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	169	0	0
決算額(F)	169	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	100%	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	296	425	530

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	派遣団体数		単位	団体
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	20		10	5
実績値	9		5	3
達成率	45.0%		50.0%	60.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	スポーツに積極的に取り組む意欲を高め、今後の進路などの選択肢の参考となるような学びを得る			
指標	参加者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値（以上）	1,000		2,000	300
実績値	1,847		465	97
達成率	184.7%		23.3%	32.3%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	アンケートの結果より、参加者の満足度も高く、今後の進路の参考となっていると考えられる。 アンケート結果 ①満足度 約90% ②今後の役に立ちそう 約90% ③また参加したい、100%
	3 ある程度のニーズがあり必要性がある			
1 必要性はあまり高くない				
必要性	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	「岐阜県トップアスリート出前指導」という同種の事業はあるものの岐阜市にゆかりのあるトップアスリートが経験やスポーツの楽しさを次世代へ伝えることは「ぎふ未来トップアスリート育成プロジェクト」の目指す「スポーツ振興の循環を作ること」に必要不可欠である。
	3 市が実施することにより事業効果が高くなる			
	1 市が実施する必要性はあまり高くない			
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	1	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	効率化されていない
	3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
	1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	アンケート結果によりオリンピック・パラリンピックや各競技の世界大会等に出場したトップアスリートから選手自身の経験やスポーツの楽しさを伝えることで、今後の進路などの選択肢の参考となるような学びを得ていることは明白である。
	3 相関関係を示すデータがある			
1 つながっていない又は不明確				
	アウトカム目標達成度	7/15	達成率20ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	現役を引退したアスリートが指導する機会を創出し、知識や技術、経験の地域還元を可能とする仕組みづくりは、「指導者の確保」という課題を見据えた事業である。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	5	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	「岐阜市スポーツ推進計画2023-2032」に定める基本方針(2)「持続可能な競技力向上」にかかる岐阜市におけるスポーツ振興の循環を作るという方向性と合致している。
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		改善	27/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
令和6年度より各学校を対象から外しスポーツ少年団と総合型地域スポーツクラブのみを対象としたため、動向を注視し、より効果的な実施方法を検討していく。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660070

020

【1.基本情報】

事業名	アクションスポーツ・eスポーツ普及推進事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	市民スポーツ課	
実施方法	補助等		補助等の種類	その他負担金	実施主体	岐阜市、アクションスポーツフェスティバル実行委員会、ぎふeスポーツ交流会実行委員会
開始・終了年度	令和	5	年度～		年度	根拠法令・関連計画 岐阜市スポーツ推進計画 2023-2032

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	本市がアクションスポーツの普及にいち早く取り組み、市民に新たなスポーツに親しむ機会を提供し、スポーツを活用した魅力あるまちづくりに繋げていくため。また、新たなスポーツの一つとして注目されているeスポーツのイベントを同時開催し、eスポーツの普及促進をはかっている。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	複数のアクションスポーツを一堂に見学・体験できるイベント「ぎふアクションスポーツフェスティバル」を開催する。また、eスポーツの体験ができるイベント「ぎふeスポーツ交流会」を同日開催する。					
事業の 対象	何を	・国内トップ選手の一流の技を間近で観戦できる「PARKOUR PREMIRE CUP 2025」・複数のeスポーツの体験会(ぶよぶよeスポーツ、リアルタイムバトル将棋)				
	誰に	市民、来場者				
	どのくらい	土曜日、日曜日の2日間、来場者計14,000人				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	令和6年度に「ぎふeスポーツ交流会」を初開催。					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	1,610	50	3,290	100
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	1,610	50	3,290	100

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	0	8,000	12,000
決算額(C)	0	8,000	12,000
差額(B-C)	0	0	0
執行率(C/B)	-	100%	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	0	9,610	15,290

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	6,000
決算額(F)	0	0	6,000
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	100%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般財源(D-F)	0	9,610	9,290

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	イベント(プライベート含む)開催数		単位	回
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	-	1		4
実績値	-	1		4
達成率	-	100.0%		100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	アクションスポーツ・eスポーツに親しむ市民が増える。			
指標	来場者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値(以上)	-	10,000		16,000
実績値	-	10,000		14,000
達成率	-	100.0%		87.5%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	5	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	来場者を対象としたアンケート ぎふアクションスポーツフェスティバル:95%が「満足」、96%が「来年も開催希望」 ぎふeスポーツ交流会:84%が「満足」、92%が「来年も開催希望」
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1 必要性はあまり高くない	
必要性	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	市を含む実行委員会形式で実施している。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる	
			1 市が実施する必要性はあまり高くない	
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	実行委員会がそれぞれ業務分担し必要な業務を行っており、効率的な方法で実施している。
			3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している	
			1 効率化されていない	
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	来場者の満足度は高く、有効性は高い。
			3 相関関係を示すデータがある	
			1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	14/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	新しいスポーツの選択肢を提供するとともに、日常的に運動を楽しむ市民の増加につながっている。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	5	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	岐阜市スポーツ推進計画 2023-2032に密接に関係している。
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
				拡充	38/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	アクションスポーツ・eスポーツの普及に継続して取り組んでいくとともに、イベント内容を充実し、来場者増を図る。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660070

021

【1.基本情報】

事業名	岐阜県民スポーツ大会派遣補助金					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	市民スポーツ課	
実施方法	補助等	補助等の種類		団体事業補助金	実施主体	岐阜市スポーツ協会
開始・終了年度	昭和	24	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市スポーツ振興補助金交付要綱

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	岐阜県民スポーツ大会は、広く県民のスポーツを振興し、その普及発達とアマチュアスポーツ精神を高揚して、競技力向上並びに県民の健康増進・体力の向上を図り、健康で明るい「生涯スポーツ社会」を築くことを目的としており、選手派遣に費用を補助する。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	地区予選及び夏秋季大会35競技、冬季大会2競技にわたり郡市対抗競技に選手を派遣する。					
事業の 対象	何を	派遣に要する経費の一部を				
	誰に	岐阜市スポーツ協会を通じて参加者に				
	どのくらい	補助金交付要綱に定める金額				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	開催地に応じて派遣費用を変更している。					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	954	30	966	30	987	30
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	954	30	966	30	987	30

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	1,235	1,424	1,358
決算額(C)	993	1,336	1,350
差額(B-C)	242	88	8
執行率(C/B)	80%	94%	99%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	1,947	2,302	2,337

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	1,947	2,302	2,337

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)）

指標	参加団体		単位	種目
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	37		36	36
実績値	31		30	29
達成率	83.8%		83.3%	80.6%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	各競技大会への市民の出場			
指標	大会参加者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値(以上)	675		675	675
実績値	428		474	483
達成率	63.4%		70.2%	71.6%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	県内における各団体の競技力を測る大会である。
	3 ある程度のニーズがあり必要性がある			
1 必要性はあまり高くない				
必要性	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	県民スポーツ大会は郡市対抗の大会であり、岐阜市が選手団を派遣するもので、民間では、実施できない。
	3 市が実施することにより事業効果が高くなる			
	1 市が実施する必要性はあまり高くない			
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	岐阜市選手団は、各団体を通じて選出し、効率的である。
	3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
	1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	岐阜県民スポーツ大会に出場するため、各競技団体で選手選考の大会を開催するなど、単に参加するだけではなく、競技力向上の効果が得られるものである。
	3 相関関係を示すデータがある			
	1 つながっていない又は不明確			
	アウトカム目標達成度	9 / 15	達成率20ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	人口減少・高齢化が進む中、日常的にスポーツに親しむ市民が世代間で継承されることにより、健康維持や医療費の縮減につながっており、持続可能な施策となっている。
	3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である			
	1 将来の課題解決に対する効果はあまりない			
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	5	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	「岐阜市スポーツ推進計画2023-2032」に基づき、スポーツ参画の推進や持続可能な競技力の向上、地方創生とまちづくり、スポーツ環境の整備を図っていく。
	8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である			
	5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)			
	3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)			
	1 事業が市の計画に直接的に関係していない			

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	33 / 50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	岐阜県下、全市町村が出場する大会であり、本市のスポーツ振興のために必要な支援である。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660070

022

【1.基本情報】

事業名	高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	市民スポーツ課	
実施方法	補助等		補助等の種類	その他補助金	実施主体	高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン実行委員会
開始・終了年度	平成	23	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市スポーツ推進計画

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	全国からランナーが集まるマラソン大会であり、競技力の向上及び市民のスポーツ振興に寄与することを目的として開催している					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン実行委員会(岐阜県・岐阜市・中日新聞社・岐阜陸上競技協会・岐阜県スポーツ協会)が主催し、ハーフマラソン及び3kmが行われ、約1万人のランナーが市内を走る大会である。					
事業の 対象	何を	開催負担金				
	誰に	高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン実行委員会、市民、参加者				
	どのくらい	マラソン大会(ハーフマラソン、3km)、負担金6,000,000円				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	・必須であった前日受付の見直し(ゼッケン等の郵送対応、代理受付の許可) ・RUNNETを活用した情報発信、エントリーの実施					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	8,268	260	8,372	260	8,554	260
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	8,268	260	8,372	260	8,554	260

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	16,999	6,000	10,000
決算額(C)	16,999	6,000	10,000
差額(B-C)	0	0	0
執行率(C/B)	100%	100%	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	25,267	14,372	18,554

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	10,999	0	0
決算額(F)	10,999	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	100%	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	14,268	14,372	18,554

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	参加者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値	12,000	11,000	11,000	
実績値	9,318	7,699	8,601	
達成率	77.7%	70.0%	78.2%	

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	大会知名度の向上、スポーツ振興、観光振興			
指標	会場来場者・沿道応援人数		単位	人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値（以上）	200,000	200,000	200,000	
実績値	45,000	83,000	103,000	
達成率	22.5%	41.5%	51.5%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	世界のトップランナーと大勢の市民ランナーが走る大会である。また、沿道での応援も多く、本市のスポーツ振興に寄与している。コロナ禍で減少した参加者や会場来場者・沿道応援人数が回復傾向にある。 参加申込者数8,601人(前年比+11.7%) 会場来場者・沿道応援人数103,000人(前年比+24.1%)
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1 必要性はあまり高くない	
必要性	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	岐阜県、岐阜市、中日新聞社が負担金を10,000千円ずつ負担して事業を実施している。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる	
			1 市が実施する必要性はあまり高くない	
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	実行委員会(中日新聞、岐阜県、岐阜市、岐阜陸上競技協会、岐阜県スポーツ協会)の各団体がそれぞれ業務分担し必要な業務を行っていることに加え、沿道自治会や民間ボランティアも活用しており効率的な方法で実施している。
			3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している	
			1 効率化されていない	
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	1	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	参加者の満足度は高く、また、応援者・ボランティアの方々の満足度も高く有効性は高い。 相関関係を示すデータは無いが、コロナ禍で大会から離れていたランナーや沿道応援者が戻りつつある。
			3 相関関係を示すデータがある	
			1 つながっていない又は不明確	
有効性	アウトカム目標達成度	5 /15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	清流ハーフマラソンは、ハーフマラソンとしては国内で唯一、世界陸連(WA)のゴールドラベルに位置付けられた大会である。魅力的なスポーツイベントを実施することで、スポーツによる地域活性化と市民の運動機会の創出に結びついている。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	岐阜市スポーツ推進計画の基本方針「地方創生とまちづくり」に関わる魅力ある大会であり、未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である。
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	26 /50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
毎年、世界のトップレベルの選手や全国各地から多数のランナーが参加する大会であり、スポーツ振興はもとより、岐阜市の観光振興、まちづくりに寄与する非常に重要な事業であることから、継続して実施していく。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660070

023

【1.基本情報】

事業名	市民スポーツ・レクリエーション活動推進事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	市民スポーツ課	
実施方法	補助等		補助等の種類	その他負担金	実施主体	岐阜市スポーツ・レクリエーション祭実行委員会
開始・終了年度	平成	25	年度～		年度	根拠法令・関連計画 岐阜市スポーツ推進計画

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	誰もが気軽に親しむことのできる軽スポーツの啓発・普及促進のための大会、イベントの実施					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	春に「スポーツ・レクリエーション祭」(9種目)、秋に「オクトーバー・ラン&ウォーク」を実施する。					
事業の 対象	何を	開催負担金				
	誰に	岐阜市スポーツ・レクリエーション祭実行委員会、市民、参加者				
	どのくらい	開催負担金:410,000円(予算額) (「スポーツ・レクリエーション祭」(10種目)、「オクトーバー・ラン&ウォーク」)				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	岐阜市スポーツ・レクリエーション祭において、新種目「ソフトバレーボール」を追加し、10種目で大会開催した。					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,590	50	1,610	50	1,645	50
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,590	50	1,610	50	1,645	50

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	510	410	410
決算額(C)	341	297	305
差額(B-C)	169	113	105
執行率(C/B)	67%	72%	74%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	1,931	1,907	1,950

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	1,931	1,907	1,950

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	事業開催回数		単位	回
	令和4年度	令和5年度		
目標値	2	2	2	2
実績値	2	2	2	2
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	市民の心身両面にわたる健康の保持・増進			
指標	参加者		単位	人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値（以上）	2,600	2,700	2,700	
実績値	2,230	2,544	2,462	
達成率	85.8%	94.2%	91.2%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	青年層から高齢者層まで幅広い世代の多くの人が事業に参加しており、ある程度のニーズがあり、生涯スポーツ推進において、本事業は必要性があると考えられる。
	3 ある程度のニーズがあり必要性がある			
1 必要性はあまり高くない				
必要性	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	実行委員会(スポーツ推進委員、スポーツ指導員、各競技団体、岐阜市)で実施しており、類似事業が国や県、民間において実施されていない。
	3 市が実施することにより事業効果が高くなる			
	1 市が実施する必要性はあまり高くない			
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	大会は必要最低限の負担金で運営されている。現在、各軽スポーツ種目協会の協力のもと、実行委員会の事務局を市が担い運営しており、他に効率的な方法がない。
	3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
	1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	2,000人を超える参加者があり、誰もが気軽に参加できるイベントとして、参加者自身の健康保持・増進の機会となった。
	3 相関関係を示すデータがある			
	1 つながっていない又は不明確			
	アウトカム目標達成度	12/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	幅広い年齢層を対象としたスポレク祭及びウォーキングイベントを実施しており、スポーツ実施率の低下という課題を直接的に解決する事業であるといえる。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	3	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	本事業は、「岐阜市スポーツ推進計画2023-2032」基本方針(3)施策2の「スポーツイベントの実施」に係わり、市民のスポーツ・レクリエーションへの参画を促し、運動の機会を創出するものである。
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	34/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
本事業は、市民誰もが気軽に運動の場を提供し、心身両面の健康保持・増進に寄与するものであるため、今後も継続していく。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660080

001

【1.基本情報】

事業名	岐阜市文化財未来継承事業補助金						
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	文化財保護課		
実施方法	補助等		補助等の種類	団体事業補助金	実施主体	指定文化財の継承事業を行う市内に活動拠点を有する団体	
開始・終了年度	令和	5	年度～		年度	根拠法令・関連計画	岐阜市補助金等交付規則、岐阜市文化財未来継承事業補助金交付要綱

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	岐阜市に在する指定文化財の継承事業を行う団体に対して、経費の一部を補助することで、市民協働の推進を図るとともに、指定文化財が解除されることなく次世代へ継承していく。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	市内に在する指定文化財の継承事業(祭礼の実施・史跡の美化等)を事業を行う団体に対して、補助金を交付する。					
事業の 対象	何を	補助金				
	誰に	市内に在する指定文化財の継承活動を行う市内に活動拠点を有する団体				
	どのくらい	①無形民俗文化財に係る芸能等の行う事業: 消耗品費など補助対象経費の1/2に相当する額(補助金額上限180万円) ②文化財の美化など維持継承事業 : 消耗品費など補助対象経費の4/5に相当する額(補助金額上限4万円)				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	2,318	72	2,369	72
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	2,318	72	2,369	72

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	0	2,920	2,920
決算額(C)	0	2,845	2,890
差額(B-C)	0	75	30
執行率(C/B)	-	97%	99%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	0	5,163	5,259

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	0	5,163	5,259

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	補助金交付件数		単位	件
	令和4年度	令和5年度		
目標値	-		2	2
実績値	-		5	5
達成率	-		250.0%	250.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	指定文化財の未来継承事業を実施する市民活動団体数の減少を防ぐ			
	指標	指定文化財継承事業実施団体数の減	単位	団体
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（以下）	-		1	1
実績値	-		0	0
達成率	-		200.0%	200.0%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	指定文化財の継承活動を行う市民活動団体は、参画する会員の協力で運営され、活動する上での自主財源も少ないため、活動を継続していくためにも補助金が必要であり、事業の必要性がある。 岐阜市に在る指定文化財を次世代に継承するための事業に要する費用の一部を補助するものであり、岐阜市が実施することが最適である。
	3 ある程度のニーズがあり必要性がある			
1 必要性はあまり高くない				
国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない		
		3 市が実施することにより事業効果が高くなる		
		1 市が実施する必要性はあまり高くない		
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	補助金申請に係る手続きをメールで行うことで来庁が不要になるなど、事務の迅速性が図られている。
			3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している	
			1 効率化されていない	
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	補助金を交付することで、事業資金不足を理由とした指定文化財の未来継承事業を行う市民活動団体数の減少を防ぐことができる。
			3 相関関係を示すデータがある	
			1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	15 / 15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	将来を担う子どもたちに、指定文化財という貴重な財産を残すことにつながる。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	未来のまちづくり構想に密接に関係している ・シビックプライドの醸成「一人ひとりの岐阜愛が育まれる！」 ・市民協働・防災・環境「つながり支え合う地域コミュニティへ」 ・市民協働・防災・環境「一人ひとりの地域への想いをカタチに」
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
				現状維持	38 / 50	継続	・40点以上: 拡充 ・25点以上: 継続 ・15点以上: 改善 ・0点以上: 縮小・廃止
市民協働の推進に繋がる上に、指定文化財の次世代への継承にも寄与していることから、継続して実施していく。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660080

002

【1.基本情報】

事業名	岐阜市郷土の宝顕彰事業補助金						
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	文化財保護課		
実施方法	補助等		補助等の種類	団体事業補助金	実施主体	「郷土の宝」の顕彰事業を行う市内に活動拠点を有する団体	
開始・終了年度	令和	5	年度～		年度	根拠法令・関連計画	岐阜市補助金等交付規則、岐阜市郷土の宝顕彰事業補助金交付要綱

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	岐阜市に関わりのある偉人など、「郷土の宝」を顕彰する事業を行う団体に補助金を交付することで、市民協働の推進を図るとともに、岐阜市民であることに誇りを感じる人が増える。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	補助金交付要綱に定める「郷土の宝」の顕彰事業(講演会の開催・広報等)を行う団体に対して、補助金を交付する。					
事業の 対象	何を	補助金				
	誰に	補助要綱に規定する「郷土の宝」の顕彰活動を行う市内に活動拠点を有する団体				
	どのくらい	講師謝金など補助対象経費の額の2分の1に相当する額(補助金額上限8万円)				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	773	24	790	24
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	773	24	790	24

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	0	160	160
決算額(C)	0	160	160
差額(B-C)	0	0	0
執行率(C/B)	—	100%	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	0	933	950

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	—	—	—

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般財源(D-F)	0	933	950

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	補助金交付件数		単位	件
	令和4年度	令和5年度		
目標値	-	1	1	1
実績値	-	2	2	2
達成率	-	200.0%	200.0%	200.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	郷土の宝顕彰事業実施団体数の減		単位	団体
	令和4年度	令和5年度		
偉人など「郷土の宝」の顕彰事業を実施する市民活動団体数の減少を防ぐ				
指標				
目標値（以下）	-	1	1	1
実績値	-	0	0	0
達成率	-	200.0%	200.0%	200.0%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)	
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	岐阜市に関わりのある偉人など「郷土の宝」を顕彰する活動を行う市民活動団体は、参画する会員の協力で運営され、活動する上での自主財源が少なく、活動を継続していくためにも補助金が必要であり、事業の必要性がある。	
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある		
			1 必要性はあまり高くない		
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない		岐阜市に関わりのある偉人など「郷土の宝」を顕彰する事業に要する費用の一部を補助するものであり、岐阜市が実施することが最適である。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる		
			1 市が実施する必要性はあまり高くない		
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	補助金申請に係る手続きをメールで行うことで来庁が不要になるなど、事務の迅速性が図られている。		
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
		1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3		5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	補助金を交付することで、事業資金不足を理由とした郷土の宝顕彰事業を行う市民活動団体数の減少を防ぐことができる。
				3 相関関係を示すデータがある	
				1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	15 / 15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	将来を担う子どもたちに、郷土の誇るべき遺産や歴史を伝え残すことができる。	
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である		
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない		
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	未来のまちづくり構想に密接に関係している ・シビックプライドの醸成「一人ひとりの岐阜愛が育まれる！」 ・市民協働・防災・環境「つながり支え合う地域コミュニティへ」 ・市民協働・防災・環境「一人ひとりの地域への想いをカタチに」	
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である		
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)		
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)		
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない		

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
				現状維持	38 / 50	継続	・40点以上: 拡充 ・25点以上: 継続 ・15点以上: 改善 ・0点以上: 縮小・廃止
	市民協働の推進に繋がる上に、「郷土の宝」の顕彰にも寄与していることから、継続して実施していく。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660080

003

【1.基本情報】

事業名	岐阜まつり記録保存調査事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	文化財保護課	
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	令和	2	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市文化財保護条例

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	地域の伝統文化である岐阜まつりに係る詳細な調査を実施することで文化財的な価値を明確化することで、次世代に継承していくとともに、岐阜市民にとっての誇りの向上に繋げる					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	①岐阜まつり文化財検討委員会を組織した上で、委員会の指導のもと祭りに関わる各分野の専門家(歴史、民俗、建築、工芸等)による調査を行う ②調査結果を報告書として刊行する。					
事業の 対象	何を	岐阜まつりに係る総合的な調査(歴史・行事内容・山車及び神輿等)				
	誰に	岐阜市民				
	どのくらい	調査成果を公表				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	6,678	210	6,762	210	6,909	210
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	6,678	210	6,762	210	6,909	210

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	3,261	1,584	1,513
決算額(C)	1,928	679	1,434
差額(B-C)	1,333	905	79
執行率(C/B)	59%	43%	95%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	8,606	7,441	8,343

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	98	0	0
決算額(F)	960	0	0
差額(E-F)	-862	0	0
執行率(F/E)	980%	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	7,646	7,441	8,343

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	記録保存調査の実施件数		単位	件
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	5	5		3
実績値	5	6		4
達成率	100.0%	120.0%		133.3%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	調査結果をもとに、岐阜まつり文化財検討委員会において、岐阜まつりの記録保存に向けた協議を重ねることができる。			
指標	委員会の開催回数		単位	回
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値(以上)	1	1	1	
実績値	2	2	0	
達成率	200.0%	200.0%	0.0%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	岐阜まつりを現在の姿のまま次世代へ継承していくためにも、岐阜まつりについて詳細に知り記録を残す事業の必要性はある。
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1 必要性はあまり高くない	
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	
3 市が実施することにより事業効果が高くなる				
1 市が実施する必要性はあまり高くない				
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	調査の段取りを極力メールで行うことで意図の齟齬防止や伝達漏れ防止に繋がるとともに、報告書原稿の送受信や事務手続きのやりとりなどを、極力紙媒体ではなくデータで行うなど、費用の削減や効率化が図られた。	
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している		
		1 効率化されていない		
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	調査結果を踏まえ、学識経験者で構成された委員会の場で、岐阜まつりの記録保存に向けた協議を重ねることができる。
			3 相関関係を示すデータがある	
			1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	10/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	将来を担う子どもたちに、指定文化財という貴重な財産を残すことにつながる。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	未来のまちづくり構想に密接に関係している ・シビックプライドの醸成「一人ひとりの岐阜愛が育まれる！」 ・産業・労働・交流「持続可能な観光まちづくり」
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	35/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
岐阜まつりを詳細に調査し文化的な価値を明らかにすることで、次世代への継承に寄与するとともに、シビックプライドの醸成にも繋がることから、継続して実施していく。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660080

004

【1.基本情報】

事業名	遺跡発掘調査事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	文化財保護課	
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	7	年度～	年度	根拠法令・関連計画	文化財保護法

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	現在に至るまで地中で保存されてきた埋蔵文化財を、道路や住宅などの開発によって極力失うことなく、次世代へ継承していく。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	①法に規定される「発掘届」を受け、県に伝達する。 ②埋蔵文化財包蔵地内での開発に先立つ試掘調査やなど開発工事時の立合調査を実施する。 ③調査結果を報告書として記録保存する。					
事業の 対象	何を	遺跡保存				
	誰に	岐阜市民				
	どのくらい	年間約500ヶ所				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	6,678	210	6,762	210	6,909	210
パートタイム会計年度任用職員A	1,414	140	1,414	140	1,694	140
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	8,092	350	8,176	350	8,603	350

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	27,769	30,149	30,362
決算額(C)	27,518	28,086	27,950
差額(B-C)	251	2,063	2,412
執行率(C/B)	99%	93%	92%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	35,610	36,262	36,553

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	2,050	2,830	2,979
決算額(F)	1,964	1,947	1,518
差額(E-F)	86	883	1,461
執行率(F/E)	96%	69%	51%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	33,646	34,315	35,035

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	調査件数		単位	件
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	150	150		150
実績値	242	170		141
達成率	161.3%	113.3%		94.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	開発によって遺跡が破壊されることなく、次世代へ継承されていく			
指標	文化財保護法第93条及び第94条に規定する届出により遺跡が保存された件数	単位		件
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値（以上）	500	500	500	
実績値	606	571	646	
達成率	121.2%	114.2%	129.2%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	埋蔵文化財が次世代に次世代へ継承されていくためにも必要である、
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1 必要性はあまり高くない	
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	文化財保護法に基づく業務であり行政機関が実施しなければならず、市以外では実施できない
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる	
			1 市が実施する必要性はあまり高くない	
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	調査の一部を専門機関に委託することで、事務の効率化に繋がる上に人件費の抑制にも繋がる	
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している		
		1 効率化されていない		
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	試掘調査結果や工事立合調査結果のデータを蓄積することで、極力、調査のための発掘も避けることができ、遺跡の保存に繋がる。
			3 相関関係を示すデータがある	
			1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	15 / 15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	将来を担う子どもたちに、埋蔵文化財という貴重な財産を残すことができる。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	3	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	岐阜市文化財保存活用地域計画に密接に関係している ・適切な保存
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	35 / 50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	発掘前に行う試掘調査や工事中の立合調査の結果を参考に、遺跡の状況を推定し開発に伴う遺跡の破壊を防ぐことで、次世代への遺跡の継承に寄与していることから、継続して実施していく。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660080

005

【1.基本情報】

事業名	歴史遺産活用推進事業						
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	文化財保護課		
実施方法	補助等		補助等の種類	その他負担金	実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	27	年度～		年度	根拠法令・関連計画	文化財保護法、岐阜市文化財保存活用地域計画

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	日本遺産に認定された「信長公のおもてなし」を中核に、誇るべき市内の歴史遺産の魅力を市内外へ発信し、『「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜』のPRによる全国的な認知度向上、及びシビックプライドの醸成を図る。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	・信長学推進事業(信長学フォーラム、信長塾)[直営] ・ぎふ歴史遺産推進事業(協議会:人材育成・普及啓発、情報発信)[負担金]					
事業の 対象	何を	日本遺産による岐阜市の認知度向上、ブランド化、シビックプライドの醸成				
	誰に	岐阜市民、全国の歴史ファン、観光客				
	どのくらい	岐阜市民、全国の歴史ファン、観光客への提供				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	6,360	200	6,440	200	6,580	200
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	6,360	200	6,440	200	6,580	200

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	19,292	41,850	32,693
決算額(C)	17,515	40,432	32,048
差額(B-C)	1,777	1,418	645
執行率(C/B)	91%	97%	98%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	23,875	46,872	38,628

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	10,813	17,612	13,137
決算額(F)	8,368	17,474	13,038
差額(E-F)	2,445	138	99
執行率(F/E)	77%	99%	99%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般財源(D-F)	15,507	29,398	25,590

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	信長学フォーラム・信長塾の開催回数		単位	回
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	6	6		6
実績値	6	6		6
達成率	100.0%	100.0%		100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	日本遺産認定第1号『信長公のおもてなし』が息づく戦国城下町・岐阜』を中核に、歴史遺産の魅力発信による全国的な認知度向上とシビックプライドの醸成			
指標	日本遺産の認知度（岐阜市来訪者アンケート）		単位	%
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値（以上）	50	50		50
実績値	39	51		55
達成率	77.2%	101.8%		110.4%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)	
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	岐阜市民であることに誇りを感じている人の割合が高水準で推移している。(市民意識調査) 歴史遺産の魅力向上とシビックプライドの醸成を図る上で必要である。	
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある		
			1 必要性はあまり高くない		
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない		日本遺産認定第1号に関わるものであり、民間・地域等と連携しながらも、市が実施することにより事業効果が高くなる。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる		
			1 市が実施する必要性はあまり高くない		
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	フォーラム・講座募集のSNS化、応募及び結果通知のオンライン化により、郵送代等のコスト削減、事務作業の時間削減及び転記ミス防止が図られる。		
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
		1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3		5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	岐阜市と信長公との繋がりなどをテーマにした歴史フォーラム・歴史講座の開催によりシビックプライドの醸成と歴史観光の魅力向上に寄与していると考えられる。
				3 相関関係を示すデータがある	
				1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	13/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	将来を担う子どもたちに、日本遺産という貴重な財産を残すことができる。	
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である		
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない		
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である		未来のまちづくり構想に密接に関係している。 ・シビックプライドの醸成(19p) ・産業・労働・交流(38-40p)
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である		
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)		
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)		
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない		

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		拡充		改善	36/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	日本遺産認定第1号『信長公のおもてなし』が息づく戦国城下町・岐阜』を中核に、市内歴史遺産の魅力発信により全国的な認知度向上とシビックプライドの醸成に繋がり、当該事業は非常に重要であることから、継続して実施していく。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660080

_ 006

【1.基本情報】

事業名	史跡岐阜城跡山麓居館跡整備事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	文化財保護課	
実施方法	委託(その他)		補助等の種類		実施主体	岐阜市
開始・終了年度	令和	5	年度～		根拠法令・関連計画	文化財保護法・史跡岐阜城跡整備基本計画2021-2031

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	調査成果に基づいた整備を行うことで、全国に誇る歴史遺産・観光資源としての魅力を高める。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	山麓居館跡の調査で確認した庭園等の遺構を復元整備する。					
事業の 対象	何を	史跡岐阜城跡の保存活用による「文化財を活かしたまちづくり」の推進				
	誰に	岐阜市民、全国の歴史ファン、観光客				
	どのくらい	約40万人の市民及び歴史ファン、観光客にサービスを提供				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	0	0	9,212	280
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	0	0	9,212	280

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	0	0	16,448
決算額(C)	0	0	17,560
差額(B-C)	0	0	-1,112
執行率(C/B)	-	-	107%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	0	0	26,772

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	8,298
決算額(F)	0	0	8,298
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	100%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	0	0	18,474

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	委員会会議回数		単位	回
	令和4年度	令和5年度		
目標値	-	-	-	6
実績値	-	-	-	5
達成率	-	-	-	83.3%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	史跡岐阜城跡山麓居館整備を完了する。			
	指標	整備の完成度	単位	%
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値（以上）	-	-	-	20
実績値	-	-	-	20
達成率	-	-	-	100.0%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	「岐阜市の魅力は何か」という質問に対する「織田信長」および「岐阜城・金華山」という回答が、高い割合を維持している。 ※市民意識調査 R5/31.0%・72.4%、R6/31.4%・70.9%
	3 ある程度のニーズがあり必要性がある			
1 必要性はあまり高くない				
必要性	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	文化財保護法上、原則として所有者や管理団体に指定された地方公共団体その他法人が、史跡等の整備や活用等、適切に保存する必要がある。
	3 市が実施することにより事業効果が高くなる			
	1 市が実施する必要性はあまり高くない			
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	業務管理表をTeamsで共有することによりアルタイムで把握できるようになり、業務の平準化が進み、10人日減となった。
	3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
	1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	史跡岐阜城跡整備委員会等での審議を経て、事業が順調に推移している。
	3 相関関係を示すデータがある			
	1 つながっていない又は不明確			
	アウトカム目標達成度	15 / 15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	史跡を含む文化財は人類共有の財産であり、現在の世代のみではなく、将来を担う子どもたちや社会のための文化資産である。また、全国に誇る観光資源であり、その保存・活用は欠くことができない。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	未来のまちづくり構想に密接に関係している。 ・シビックプライドの醸成「一人ひとりの岐阜愛が育まれる！」 ・市民協働・防災・環境「つながり支え合う地域コミュニティへ」 ・産業・労働・交流「持続可能な観光まちづくり」
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
					42 / 50	拡充	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	市民の関心度が高く、岐阜市の魅力向上につながっていることから、拡充していく。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660080

007

【1.基本情報】

事業名	史跡岐阜城跡整備事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	文化財保護課	
実施方法	委託(その他)		補助等の種類		実施主体	(公財)岐阜市教育文化振興事業団ほか
開始・終了年度	平成	19	年度～	年度	根拠法令・関連計画	文化財保護法・史跡岐阜城跡整備基本計画2021-2031

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	国史跡岐阜城跡の調査や整備、活用を行い、岐阜市の観光振興、地域活性化に資する。 史跡の管理団体として、適切な維持管理と整備活用を行う必要がある。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	「整備基本計画」の進捗管理、発掘調査及び記録映像撮影、総合調査、樹木伐採・剪定、石垣等の維持管理、史跡内登山道の巡視、「日本遺産・信長居館発掘調査案内所」の運営等					
事業の 対象	何を	史跡岐阜城跡の保存活用による「文化財を活かしたまちづくり」の推進				
	誰に	岐阜市民、全国の歴史ファン、観光客				
	どのくらい	約40万人の市民及び歴史ファン、観光客にサービスを提供				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	山麓居館跡整備事業を別シートに分離した。					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	22,260	700	22,540	700	13,818	420
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	22,260	700	22,540	700	13,818	420

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	43,323	66,213	41,043
決算額(C)	39,970	46,887	37,546
差額(B-C)	3,353	19,326	3,497
執行率(C/B)	92%	71%	91%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	62,230	69,427	51,364

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	3,479	15,796	4,158
決算額(F)	2,804	8,567	2,699
差額(E-F)	675	7,229	1,459
執行率(F/E)	81%	54%	65%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般財源(D-F)	59,426	60,860	48,665

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	発掘調査対象面積		単位	㎡
	令和4年度	令和5年度		
目標値	1,600	300		300
実績値	300	300		536
達成率	18.8%	100.0%		178.7%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	発掘調査成果の発信や史跡整備事業を通じて、岐阜市の価値が認知される。			
指標	発掘調査現地公開参加者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値(以上)	800	300	500	
実績値	56	350	235	
達成率	7.0%	116.7%	47.0%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	日本遺産・信長居館発掘調査案内所の入場者数が堅調に推移している。 令和5年度 22,880人(304日間、75.3人/日) 令和6年度 13,452(181日間、74.3人/日)
	3 ある程度のニーズがあり必要性がある			
1 必要性はあまり高くない				
必要性	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	文化財保護法上、原則として所有者や管理団体に指定された地方公共団体その他法人が、史跡等の日常的な管理や復旧、調査、整備、活用等、適切に保存する必要がある。
	3 市が実施することにより事業効果が高くなる			
	1 市が実施する必要性はあまり高くない			
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	業務管理表をTeamsで共有することによりリアルタイムで把握できるようになり、業務の平準化が進み、10人日減となった。
	3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
	1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	岐阜公園入込客数(令和5年岐阜県観光入込客統計調査)は、令和元年/102.2万人に対して令和5年/123.0万人、岐阜城入場者数は、令和元年度/314,058人に対して令和5年度/328,041人となっており、史跡岐阜城跡の整備がいずれの増加傾向にも寄与していると考えられる。
	3 相関関係を示すデータがある			
	1 つながっていない又は不明確			
	アウトカム目標達成度	7/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	史跡を含む文化財は人類共有の財産であり、現在の世代のみではなく、将来を担う子どもたちや社会のための文化資産である。また、全国に誇る観光資源であり、その保存・活用は欠くことができない。
	3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である			
	1 将来の課題解決に対する効果はあまりない			
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	未来のまちづくり構想に密接に関係している。 ・シビックプライドの醸成「一人ひとりの岐阜愛が育まれる！」 ・市民協働・防災・環境「つながり支え合う地域コミュニティへ」 ・産業・労働・交流「持続可能な観光まちづくり」
	8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である			
	5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)			
	3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)			
	1 事業が市の計画に直接的に関係していない			

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	32/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	市民の関心度が高く、岐阜市の魅力向上につながっていることから、継続して実施していく。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660080

008

【1.基本情報】

事業名	長良川鵜飼文化未来継承事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	文化財保護課	
実施方法	補助等		補助等の種類	その他負担金	実施主体	岐阜市
開始・終了年度	平成	16	年度～	年度	根拠法令・関連計画	ユネスコ無形文化遺産保護条約、文化財保護法等

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	長良川の鵜飼文化の価値や魅力を高め、守り、未来へと継承していく。その手段として、ユネスコ無形文化遺産登録を目指す取組をオール岐阜で推進する。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	4つの細事業である【Ⅰ】ユネスコ申請準備[直営]、【Ⅱ】魅力発信[直営、負担金]、【Ⅲ】保存活用[直営、負担金]、【Ⅳ】総合調査[直営]を一体的に取り組み、SDGs未来都市・岐阜市が推進している持続可能な都市づくりをさらに加速させる。					
事業の 対象	何を	鵜飼文化の価値や魅力の顕在化、継承及びそれを活かした観光まちづくりの推進				
	誰に	市民、観光客、保存会(鵜匠)、学識経験者など				
	どのくらい	無形文化遺産登録の達成による市民のシビックプライド向上及び「世界のGIFU」、「世界のUKAI」として観光ブランドの確立				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	6,360	200	6,440	200	6,580	200
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	6,360	200	6,440	200	6,580	200

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	75,318	70,705	69,208
決算額(C)	74,159	69,721	68,653
差額(B-C)	1,159	984	555
執行率(C/B)	98%	99%	99%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	80,519	76,161	75,233

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	3,602	911	1,050
決算額(F)	3,012	869	1,007
差額(E-F)	590	42	43
執行率(F/E)	84%	95%	96%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	77,507	75,292	74,226

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	伝統的漁撈文化ユネスコ登録推進協議会の開催数		単位	回
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	-		2	4
実績値	-		1	4
達成率	-		50.0%	100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	長良川の鵜飼文化の価値や魅力を高め、守り、未来へと継承			
指標	鵜飼観覧船乗客満足度(鵜飼観覧船事務所アンケート)		単位	%
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値(以下)	90		90	90
実績値	92		92	88
達成率	102.2%		102.2%	97.8%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)	
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	「岐阜市の魅力は何か」という質問に対する「鵜飼」という回答の割合は高水準で推移している。(市民意識調査) 長良川の鵜飼文化の価値や魅力を高め、守り、未来へと継承していくために必要である。	
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある		
			1 必要性はあまり高くない		
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない		長良川鵜飼に付随する人材・物・原料等の確保が難しい中、県による広域の事業ではなく、市が実施するのが最適である。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる		
			1 市が実施する必要性はあまり高くない		
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	会議開催のオンライン化による旅費等のコスト削減、船頭体験教室募集・結果通知のオンライン化による郵送代等のコスト削減、事務作業の時間削減及び転記ミス防止が図られた。		
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
		1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3		5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	伝統的漁撈文化に関わる構成員による協議により、鵜飼文化の価値向上・継承について取り組むことにより、乗客満足度の高い鵜飼の展開につながる。
				3 相関関係を示すデータがある	
				1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	14/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	将来を担う子どもたちに、「世界のGIFU」、「世界のUKAI」としての観光ブランドとともに、SDGs未来都市・岐阜市が推進している持続可能な都市という貴重な財産を残すことができる。	
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である		
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない		
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である		未来のまちづくり構想に密接に関係している。 ・シビックプライドの醸成(19p) ・産業・労働・交流(38-40p)
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である		
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)		
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)		
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない		

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	37/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
長良川の鵜飼文化の価値や魅力を高め、守り、未来へと継承していくことにより、「世界のGIFU」、「世界のUKAI」としての観光ブランドを確立するとともに、SDGs未来都市・岐阜市が推進する持続可能な都市づくりを加速させるため、当該事業は非常に重要であることから、継続して実施していく。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660080

009

【1.基本情報】

事業名	長良川流域の文化的景観保存調査事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	文化財保護課	
実施方法	直営		補助等の種類		実施主体	岐阜市
開始・終了年度	平成	19	年度～	年度	根拠法令・関連計画	文化財保護法、長良川中流域における岐阜の文化的景観保存計画

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	鶴飼文化の基盤となる岐阜市の文化的景観の保護と活用を推進することで、長良川中流域固有の自然・歴史・文化が息づいた景観の保護と継承、地域資源としての活用、市民意識の向上を図る。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	①文化的景観検討委員会を開催し、整備・運用・調査等について審議する。 ②文化的景観の整備計画に基づき、各種事業を推進する。 ③文化的景観を周知するための普及啓発を行う。					
事業の 対象	何を	『長良川中流域における岐阜の文化的景観』の保存及び活用				
	誰に	岐阜市民				
	どのくらい	文化的景観の整備・運用・調査 等				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	6,678	210	6,762	210	6,909	210
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	6,678	210	6,762	210	6,909	210

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	5,381	1,698	2,158
決算額(C)	4,858	862	1,045
差額(B-C)	523	836	1,113
執行率(C/B)	90%	51%	48%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	11,536	7,624	7,954

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	2,118	0	0
決算額(F)	2,132	0	0
差額(E-F)	-14	0	0
執行率(F/E)	101%	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	9,404	7,624	7,954

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	重要な構成要素に係る調査回数		単位	回
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	5	5		5
実績値	12	5		4
達成率	240.0%	100.0%		80.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	調査結果をもとに、岐阜市長良川域の文化的景観検討委員会や岐阜大仏保存整備検討委員会において、文化的景観の保護と活用に向けた協議を重ねることができる。			
	指標	委員会の開催回数	単位	回
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（以上）	2	2		2
実績値	4	2		0
達成率	200.0%	100.0%		0.0%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)	
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	岐阜市の歴史・観光資源であり、市民共通の財産として最も重要な金華山・長良川流域の景観形成や継承を図る上で必要不可欠である。	
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある		
			1 必要性はあまり高くない		
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない		文化的景観の保護制度は、行政と地域住民が一体となって取り組むことを前提としていることから、市以外では実施できない。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる		
			1 市が実施する必要性はあまり高くない		
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	文化的景観保存計画等の各種資料を課内で共有したり、文化的景観の現状変更フローチャートを備えるなど、事務手続の効率化が図られている。		
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
		1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	調査結果を踏まえ、学識経験者で構成された委員会の場で、文化的景観の保護と活用に向けた協議を重ねることができる。	
			3 相関関係を示すデータがある		
			1 つながっていない又は不明確		
	アウトカム目標達成度	10/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	文化的景観は、地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地であり、文化的景観の保護と活用を推進していくことは、将来に向けた地域づくり寄与する。	
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である		
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない		
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	未来のまちづくり構想に密接に関係している ・シビックプライドの醸成「一人ひとりの岐阜愛が育まれる！」 ・市民協働・防災・環境「つながり支え合う地域コミュニティへ」 ・産業・労働・交流「持続可能な観光まちづくり」	
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である		
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)		
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)		
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない		

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	35/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
文化的景観の保護と活用は、地域の魅力向上や寄与するとともに、シビックプライドの醸成にも繋がることから、継続して実施していく。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660080

010

【1.基本情報】

事業名	岐阜市文化財保護費補助金						
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	文化財保護課		
実施方法	補助等		補助等の種類	その他補助金	実施主体	指定文化財の所有者(管理者)	
開始・終了年度	令和	2	年度～		年度	根拠法令・関連計画	岐阜市補助金等交付規則、岐阜市文化財保護費補助金交付要綱

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	岐阜市に在する指定文化財の修理など保存に係る経費の一部を補助することで、指定文化財としての価値を損なうことなく、未来に継承していく。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	市内に在する指定文化財の修理など保存に係る費用の一部を補助金として交付する。					
事業の 対象	何を	補助金				
	誰に	市内に在する指定文化財の継承活動を行う市内に活動拠点を有する団体				
	どのくらい	①国指定文化財:補助対象経費の1/3～1/2 ②県指定文化財:補助対象経費:3/4 ③市指定文化財:補助対象経費の1/2				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	954	30	966	30	494	15
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	954	30	966	30	494	15

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	2,982	343	399
決算額(C)	2,981	379	355
差額(B-C)	1	-36	44
執行率(C/B)	100%	110%	89%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	3,935	1,345	849

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	3,935	1,345	849

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	補助金交付件数		単位	件
	令和4年度	令和5年度		
目標値	1	1		1
実績値	3	3		1
達成率	300.0%	300.0%		100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	指定文化財としての価値を損なうことなく未来に継承される			
	指標	指定文化財の解除件数		単位
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値（以下）	1	1	1	
実績値	1	0	0	
達成率	100.0%	200.0%	200.0%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)	
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	指定文化財の修理など保存に要する費用の一部を補助金として交付し所有者の負担軽減を図ることで、指定文化財としての価値を損なうことなく次世代への継承に寄与するため、補助金が必要であり、事業の必要性がある。	
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある		
			1 必要性はあまり高くない		
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない		岐阜市に在する指定文化財を次世代に継承するための事業に要する費用の一部を補助するものであり、岐阜市が実施することが最適である。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる		
			1 市が実施する必要性はあまり高くない		
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	補助金申請に係る手続きをメールで行うことで来庁が不要になるなど、事務の迅速性が図られている。		
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
		1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3		5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	補助金を交付することで、指定文化財の修理など保存のための措置を促し、指定文化財の価値を損なうことなく、次世代に継承することができる。
				3 相関関係を示すデータがある	
				1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	15 / 15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	将来を担う子どもたちに、指定文化財という貴重な財産を残すことにつながる。	
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である		
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない		
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である		未来のまちづくり構想に密接に関係している ・シビックプライドの醸成「一人ひとりの岐阜愛が育まれる！」
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である		
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)		
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)		
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない		

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	38 / 50	継続	・40点以上: 拡充 ・25点以上: 継続 ・15点以上: 改善 ・0点以上: 縮小・廃止
市民協働の推進に繋がる上に、指定文化財の次世代への継承にも寄与していることから、継続して実施していく。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660090

001

【1.基本情報】

事業名	歴史博物館総合展示室リニューアル事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	歴史博物館	
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	令和	3	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市歴史博物館条例第3条

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	岐阜公園再整備関連事業と連携してリニューアル事業を行い、展示設備の更新・展示内容の充実を行い、本市固有の歴史文化の発信や活用を通じた地域の魅力向上を図り、入館者数・県外来館者の増加を図る。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	総合展示室の全面改修					
事業の 対象	何を	郷土岐阜の歴史・文化の学習機会と成果の発表の場				
	誰に	岐阜市民及び市外からの観光客				
	どのくらい	月曜日、祝日の翌日及び年末年始を除く毎日				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	8,268	260	8,372	260	8,554	260
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	8,268	260	8,372	260	8,554	260

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	667	3,743	26,665
決算額(C)	463	2,939	24,223
差額(B-C)	204	804	2,442
執行率(C/B)	69%	79%	91%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	8,731	11,311	32,777

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	1,835	11,505
決算額(F)	0	1,379	11,907
差額(E-F)	0	456	-402
執行率(F/E)	-	75%	103%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	8,731	9,932	20,870

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	総合展示室のリニューアル改修一式		単位	—
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値	—	—	—	—
実績値	—	—	—	—
達成率	—	—	—	—

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	博物館全体の入館者数の増加			
指標	常設展示一日平均観覧者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値（以上）	80	80	80	
実績値	74	91	100	
達成率	92.5%	113.8%	125.0%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	常設展示1日平均観覧者数の増加が見込まれるため、必要である。
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1 必要性はあまり高くない	
必要性	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	岐阜市歴史博物館条例第3条
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる	
			1 市が実施する必要性はあまり高くない	
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	プロポーザルの実施により、リニューアル実施設計を適正な価格で実施できる業者を選定した。
			3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している	
			1 効率化されていない	
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	1	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	リニューアル事業が完了前であり、アウトカムの結果が出ていないため評価できない。
			3 相関関係を示すデータがある	
			1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	14/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	文化観光、シビックプライドの醸成に直接結びつく事業であり、岐阜市の魅力向上による観光客や人口の増加に寄与する。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	10	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	・歴史博物館はセンターゾーンの「[岐阜公園エリア]」の代表的な文化観光施設であり、文化・歴史についての教育機関として「子どもと教育を中心とするまちづくり」に関わっている。 ・未来のまちづくり構想>(8)産業・労働・交流 リニューアルによって岐阜公園周辺の文化・観光資源を紹介し、観光客の回遊性を高めるナビゲーション装置を設置する予定であり、「持続可能な観光まちづくり」に関わる中核的な事業である。
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		拡充		現状維持	41/50	拡充	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
岐阜公園エリアを中心とする文化観光の推進を図り、入館者数・県外来館者増加を目指すため重要な事業である。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660090

002

【1.基本情報】

事業名	博物館(本館) 展覧会開催事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	歴史博物館	
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	60	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市歴史博物館条例第3条

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	市民が郷土を愛し、わが国および諸外国の歴史と文化に親しみ、その知識と理解を深め、豊かな市民文化の発展に寄与する。さらに、岐阜市の歴史的・文化的な魅力を全国に発信する観光拠点施設としての役割を果たす。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	特別展、企画展、歴博セレクションに関する資料等の調査・研究					
事業の 対象	何を	郷土岐阜の歴史・文化および国内外の歴史・文化の学習および鑑賞機会の場				
	誰に	岐阜市民及び市外からの観光客				
	どのくらい	月曜日、祝日の翌日及び年末年始を除く毎日				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	岐阜県内で開催された国民文化祭に合わせた会期・テーマの特別展を開催し、文化祭会場でもPRすることで、岐阜を訪れた人の集客を図った。					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	26,394	830	22,540	700	27,307	830
パートタイム会計年度任用職員A	909	90	808	80	847	70
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	27,303	920	23,348	780	28,154	900

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	21,170	24,600	18,044
決算額(C)	16,211	21,293	14,169
差額(B-C)	4,959	3,307	3,875
執行率(C/B)	77%	87%	79%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	43,514	44,641	42,323

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	5,663	10,125	6,579
決算額(F)	6,832	10,694	6,138
差額(E-F)	-1,169	-569	441
執行率(F/E)	121%	106%	93%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	36,682	33,947	36,185

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	展覧会の開催数		単位	回
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	6	6	6	6
実績値	6	6	6	6
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	市内外からの観覧者の来館			
指標	一日平均観覧者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値(以上)	164	184		179
実績値	167	184		170
達成率	101.8%	100.0%		95.0%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	5	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	岐阜市歴史博物館入館者調 年間の平均入館者数 145人(R4) 169人(R5) 160人(R6)
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1 必要性はあまり高くない	
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	博物館法第3条第1項第1号 岐阜市歴史博物館条例第3条
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる	
			1 市が実施する必要性はあまり高くない	
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	館藏品図録の作成に合わせた展覧会を実施するなどして、調査研究の成果を市民に還元するよう効率化を図っている。	
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している		
		1 効率化されていない		
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	5	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	岐阜市歴史博物館入館者調により、展覧会を開催していない時期よりも入館者が増加していることが確認できる。 年間の平均入館者数 145人(R4) 169人(R5) 160人(R6)
			3 相関関係を示すデータがある	
			1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	14/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	地域の歴史・文化のブランド化により、持続可能なまちづくりが促進されるとともに、シビックプライドが醸成される。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	未来のまちづくり構想> (8)産業・労働・交流
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	43/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	当施設は、岐阜公園エリアのセンターゾーンに位置しており当事業は岐阜市の文化や芸術を学ぶ場として利用者の満足度は高く、生涯にわたって文化芸術を楽しむことのできる文化観光の推進としても重要な事業である。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660090

003

【1.基本情報】

事業名	博物館(分館 加藤栄三・東一記念美術館)展覧会開催事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	歴史博物館	
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	6	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市歴史博物館条例第3条

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	市民が郷土を愛し、わが国および諸外国の歴史と文化に親しみ、その知識と理解を深め、豊かな市民文化の発展に寄与する。さらに、岐阜市の歴史的・文化的な魅力を全国に発信する観光拠点施設としての役割を果たす。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	展覧会に関する資料等の調査・研究					
事業の 対象	何を	郷土岐阜の歴史・文化および国内外の歴史・文化の学習および鑑賞機会の場				
	誰に	岐阜市民及び市外からの観光客				
	どのくらい	月曜日、祝日の翌日及び年末年始を除く毎日				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員A	5,252	520	5,252	520	6,292	520
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	5,252	520	5,252	520	6,292	520

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	8,437	7,437	5,034
決算額(C)	7,836	7,422	4,662
差額(B-C)	601	15	372
執行率(C/B)	93%	100%	93%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	13,088	12,674	10,954

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	2,630	1,630	375
決算額(F)	1,552	1,670	371
差額(E-F)	1,078	-40	4
執行率(F/E)	59%	102%	99%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般財源(D-F)	11,536	11,004	10,583

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	展覧会の開催回数		単位	回
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	14	14		5
実績値	14	14		5
達成率	100.0%	100.0%		100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	観覧者の増加及び満足度向上を目指し岐阜市の魅力向上を図る。			
指標	一日平均観覧者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値(以上)	49	39	45	
実績値	19	19	51	
達成率	38.8%	48.7%	113.3%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	5	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	1日平均観覧者数が前年度の2.6倍以上になっている。
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1 必要性はあまり高くない	
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	岐阜市歴史博物館条例第3条
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる	
			1 市が実施する必要性はあまり高くない	
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	事前の調査を綿密にし、最小の経費で展覧会を開催した。	
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している		
		1 効率化されていない		
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	5	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	常設展示1日平均観覧者数が前年度の2.6倍以上になっている。
			3 相関関係を示すデータがある	
			1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	8 / 15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	文化観光、シビックプライドの醸成に直接結びつく事業であり、岐阜市の魅力向上による観光客や人口の増加に寄与する。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	・歴史博物館はセンターゾーンの「岐阜公園エリア」の代表的な文化観光施設であり、文化・歴史についての教育機関として「子どもと教育を中心とするまちづくり」に関わっている。 ・岐阜公園周辺の文化・観光資源を紹介し、「持続可能な観光まちづくり」に関わる中核的な事業である。
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
					37 / 50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	当施設は、岐阜公園エリアのセンターゾーンに位置しており当事業は岐阜市の文化や芸術を学ぶ場として利用者の満足度は高く、生涯にわたって文化芸術を楽しむことのできる文化観光の推進としても重要な事業である。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660150

001

【1.基本情報】

事業名	シビックプライド事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	ぎふメディアコスモス事業課	
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	令和	4	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	令和3年度に岐阜の魅力を集めた情報拠点としてメディアコスモス1階にシビックプライドプレイスを開設。シビックプライドに関連した様々な事業を展開するとともに、市民の方々と協働でシビックプライドプレイスのコンテンツを充実させることにより、市民のシビックプライドの醸成を図る。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	①シビックプライドギャザリング ②メディコス編集講座 ③ぎふ古今編集部活動支援 ④ティーンエイジのための表現講座					
事業の 対象	何を	岐阜の魅力を再発見するイベントの開催や、魅力を収集・発信する担い手の育成、そしてシビックプライドプレイスを市民と共に装飾するなど、市民がそれぞれにシビックプライドを感じるきっかけをつくる。				
	誰に	市民				
	どのくらい	①シビックプライドギャザリングを4回実施 ②メディコス編集講座を6回実施 ③ぎふ古今編集部活動支援を実施 ④ティーンエイジのための表現講座を1回実施				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	16,536	520	16,744	520	17,108	520
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	16,536	520	16,744	520	17,108	520

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	2,883	2,038	1,807
決算額(C)	2,018	1,604	1,654
差額(B-C)	865	434	153
執行率(C/B)	70%	79%	92%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	18,554	18,348	18,762

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	1,502	1,169	150
決算額(F)	1,009	919	103
差額(E-F)	493	250	47
執行率(F/E)	67%	79%	69%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	17,545	17,429	18,659

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	イベント開催数		単位	回
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	16		14	11
実績値	16		12	13
達成率	100.0%		85.7%	118.2%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	イベント等への参加を通して地域への興味が深まる。			
指標	～R5来館者の増加/R6～イベント参加者の意識の変容		単位	人／％
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値(以上)	1,200,000		1,200,000	90
実績値	1,171,909		1,317,676	93
達成率	97.7%		109.8%	103.1%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	人との出会いやつながりを作る文化イベントをはじめ、情報編集・発信の担い手を育成する事業等を通じて、未来のまちづくり構想の「まちづくりの基本的な考え方」の一つである「シビックプライドの醸成」に効果的な事業である。
	3 ある程度のニーズがあり必要性がある			
1 必要性はあまり高くない				
国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか		3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	ぎふメディアコスモスは、情報集積・発信拠点であるシビックプライドプレイスを有する施設であり、市民協働による事業展開を進めることによりシビックプライド醸成への役割を有する。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる	
			1 市が実施する必要性はあまり高くない	
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入		3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	メディアコス編集講座について、全6回の各資料を電子データで事前配布し、当日はパソコンの持込みを推奨することで、印刷や会場内での配布作業を削減するなど、作業負荷の軽減に努めた。
			3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している	
			1 効率化されていない	
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	R6年度のアンケートにおいて、イベント参加者の90%以上がイベントを通して地域への興味が深まったと回答しており、シビックプライドの醸成に効果的な事業である。 ■質問項目：イベントを通して地域への興味が深まりましたか。 深まった:92.8%(77件)、変わらない:6.0%(5件)、どちらも言えない:1.2%(1件)
	3 相関関係を示すデータがある			
	1 つながっていない又は不明確			
	アウトカム目標達成度	14/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	市民一人ひとりの、岐阜の地で豊かに暮らし続けていくための原動力となるシビックプライドを醸成することで、関係人口の増加や、地域コミュニティの活性化に結びつく。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	10	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	未来のまちづくり構想の「まちづくりの基本的な考え方」の一つである「シビックプライドの醸成」に資する、中核的な事業である。
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		拡充	39/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	アンケート結果ではイベント参加者の満足度は高く、メディアコス編集講座においては修了生が有志で小冊子を発行するなど受講を機に市民の自主的な活動が生まれている。次年度以降も、参加者のニーズや時代の流れを意識したフレキシブルな企画・運営を進めることで、市民のシビックプライド醸成を図る事業を継続する。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660150

002

【1.基本情報】

事業名	みんなの森 ぎふメディアコスモスの季刊紙発行					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	ぎふメディアコスモス事業課	
実施方法	委託(民間)		補助等の種類		実施主体	岐阜市
開始・終了年度	令和	3	年度～		根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	シビックプライドセンターとしてのメディアコスモスが、全館的観点から、施設理念や考え方とともに多様な活動に参画する市民の姿を生き生きと伝える広報メディア(季刊紙)を発行する。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	季刊紙(メディアコス文化道)の発行 紙面構成:メディアコスに集う面々の紹介や近隣のスポット情報を主軸 発行回数:年3回					
事業の 対象	何を	施設理念や考え方とともに多様な活動に参画する市民の姿				
	誰に	市民、岐阜市来訪者				
	どのくらい	年3回発行				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	仕様の見直しにより業務委託費を減額した。					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,180	100	3,220	100	3,290	100
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,180	100	3,220	100	3,290	100

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	2,400	2,400	1,575
決算額(C)	2,101	2,091	1,432
差額(B-C)	299	309	143
執行率(C/B)	88%	87%	91%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	5,281	5,311	4,722

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	1,200	1,200	0
決算額(F)	1,050	1,045	0
差額(E-F)	150	155	0
執行率(F/E)	88%	87%	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	4,231	4,266	4,722

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	発行回数		単位	回
	令和4年度	令和5年度		
目標値	4	4	4	3
実績値	4	4	4	3
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	メディアコスモスの魅力が広く伝わる			
指標	来館者の増加		単位	人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値（以上）	1,200,000	1,200,000	1,200,000	
実績値	1,171,909	1,317,676	1,355,101	
達成率	97.7%	109.8%	112.9%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)	
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	季刊紙の次号の発行時期について問合せが複数寄せられるなど、市民からの関心も高い。メディアコスモスに特化した唯一の紙媒体の広報紙という独自性も考慮し継続して発行する必要がある。	
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある		
			1 必要性はあまり高くない		
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない		館内情報だけでなく、周辺地域の情報や岐阜の歴史を再認識できる情報も多く含まれるなど、シビックプライドの醸成にも資する広報紙として、市が実施する必要がある。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる		
			1 市が実施する必要性はあまり高くない		
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	仕様書の変更やプロポーザル方式による業者選定など、次年度の契約方法の見直しを検討した。		
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
		1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3		5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	各号5,000部作成・配架した成果物の在庫は残り少ない。ぎふメディアコスモスのメディアとして認知されており、メディアコスモスに対するイメージの向上に資するなど来館者の増加につながっている。
				3 相関関係を示すデータがある	
				1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	14/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	館内の情報以外にも、メディアコスモス周辺の地域情報、シビックプライドの醸成に資する歴史的な情報も掲載しており、中心市街地の賑わい創出、回遊性向上を図ると共に、岐阜市の魅力を伝える広報紙としての役割を有する。	
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である		
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない		
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である		未来のまちづくり構想のシビックプライドの醸成に資する、まちづくりの基本的な考え方に関わる事業である。
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である		
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)		
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)		
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない		

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		拡充	37/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
定期発行することで新たなメディアコスモスファンを増やすとともに、すでに関わりを持ち協働してきたボランティアやNPO団体等のメディアコスモスへの理解、シビックプライドへの認識がさらに深まる。また、観光客や視察団体、移住者への広報効果も期待でき、市の関係人口増につながる広報ツールとしての役割も担うため、今後も発行を継続していく。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660150

003

【1.基本情報】

事業名	メディアコス「文化の広場」交流事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	ぎふメディアコスモス事業課	
実施方法	補助等		補助等の種類	その他負担金	実施主体	みんなの森 ぎふメディアコスモス自主事業実行委員会
開始・終了年度	令和	3	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	ぎふメディアコスモスに馴染みのない市民層も多く惹きつけるため、メディアコスモスの文化的資源(本、資料、ボランティア、市民活動団体、人的ネットワーク)を駆使した、みんなの広場としての場の魅力を体感できるイベントを開催する。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	①広場でのマルシェや館内での講演会、ワークショップなど、全館を対象としたイベントの開催 ②市民登録団体による市民自主事業「フム・ドキ・ワイワイ事業」 ③正月イベント ④ハーブガーデン講座					
事業の対象	何を	広場としての場の魅力を屋外で日常的に体感できる市民協働市などを開催する				
	誰に	市民				
	どのくらい	①広場で文化のマルシェ、クラフト市などを5回実施 ②市民登録団体による市民自主事業「フム・ドキ・ワイワイ事業」を1回実施 ③正月イベントを1回実施 ④ハーブガーデン講座を5回実施				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	①について、R6年度は「清流の国ぎふ」国民文化祭2024の地域文化発信事業として例年より多くのマルシェを開催したことから、例年の2回から5回へと実施回数を増加					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	9,540	300	9,660	300	9,870	300
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	9,540	300	9,660	300	9,870	300

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	3,950	2,553	2,253
決算額(C)	3,186	2,222	2,059
差額(B-C)	764	331	194
執行率(C/B)	81%	87%	91%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	12,726	11,882	11,929

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	1,500	0	0
決算額(F)	1,593	0	0
差額(E-F)	-93	0	0
執行率(F/E)	106%	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般財源(D-F)	11,133	11,882	11,929

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	イベント開催数		単位	回
	令和4年度	令和5年度		
目標値	9	9	9	12
実績値	9	9	9	12
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	広場を中心とした「つかさのまちエリア」の賑わい			
指標	来館者の増加		単位	人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値(以上)	1,200,000	1,200,000	1,200,000	
実績値	1,171,909	1,317,676	1,355,101	
達成率	97.7%	109.8%	112.9%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	来館者アンケート回答者の4人に1人はイベントの充実を希望。 ■令和6年度来館者アンケート ・質問項目:メディアコスに求めること(複数回答可) 「イベントの充実」と回答した割合 23.7%(167件/706件)
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1 必要性はあまり高くない	
必要性	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	市とNPO法人等の市民活動団体が協働でイベントを運営する体制を築いており、持続的な事業実施の積み重ねにより事業効果を高めている。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる	
			1 市が実施する必要性はあまり高くない	
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	イベント運営を市民活動団体との協働で実施するなど、イベント運営の負担が市に偏らない手法を積極的に取り入れている。
			3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している	
			1 効率化されていない	
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	イベント開催日は来館者数が確実に増加するとともに、新規の利用者が来館するきっかけにもなるため、年間来館者数の増加にもつながっている。 ■年間来館者数の推移 R4(年度):約117万人→R5:約131万人→R6:約135万人
			3 相関関係を示すデータがある	
			1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	14/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	中心市街地の賑わいを創出することで都市の魅力を向上させ、「持続可能で選ばれるまち」の実現に貢献する事業である。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	未来のまちづくり構想の分野ごとのまちづくりの方向性の一つである「都市基盤整備・交通・中心市街地活性化」に資する施策として、センターゾーンにおける官民連携まちづくりに関わる事業である。
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		拡充	37/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
開館以降、新庁舎の開設を経てメディアコスモスの広場には新たな賑わいが生まれた。各種団体との連携や協力体制をさらに強化することによって、今後も年間120万人以上の来館者数を持続するとともに、中心市街地の賑わい創出に寄与する事業である。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660180

001

【1.基本情報】

事業名	読書活動推進事業補助金					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	図書館	
実施方法	補助等		補助等の種類	団体事業補助金	実施主体	岐阜市読書サークル協議会
開始・終了年度	昭和	49	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	文学講座を継続させることで、市域における住民の読書活動及び生涯学習の推進を図る。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	読書活動、生涯学習の機会を創出する文学講座の実施に対し補助を行う。					
事業の 対象	何を	協議会の実施する文学講座に対する支援				
	誰に	岐阜市読書サークル協議会				
	どのくらい	協議会が実施する講座に必要な経費の一部				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	445	14	451	14	461	14
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	445	14	451	14	461	14

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	103	103	103
決算額(C)	103	103	103
差額(B-C)	0	0	0
執行率(C/B)	100%	100%	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	548	554	564

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	548	554	564

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	講座実施回数		単位	回
	令和4年度	令和5年度		
目標値	36	36	36	36
実績値	36	33	33	36
達成率	100.0%	91.7%	91.7%	100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	講座参加者(延べ)			単位	人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
文学に親しみ、生涯学習の機会を提供する					
指標					
目標値(以上)	2,580	2,340	2,340	2,340	2,340
実績値	1,716	1,748	1,748	1,748	1,998
達成率	66.5%	74.7%	74.7%	74.7%	85.4%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	毎年、200名以上の申込者があり、毎月行われる講座に継続的な参加を得られている。
	3 ある程度のニーズがあり必要性がある			
1 必要性はあまり高くない				
国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか		5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	年間36回の講座を企画し、テーマの設定、講師依頼などを岐阜市読書サークル協議会が行っている。このことは、岐阜市の生涯学習の機会の提供と推進に寄与している。この活動に岐阜市は会場提供と講師の報酬の一部を補助することで協働して事業を行っている。また、市民の読書活動の普及や生涯学習の推進は公立図書館が実施すべき施策である。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる	
			1 市が実施する必要性はあまり高くない	
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	1	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	補助金の適切な執行はされているが、事務手続き等については定められた手順に沿っており、効率化の対象とはならない。
			3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している	
			1 効率化されていない	
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	1	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	講座の開催は月に3回、定期的に行っており、一定数の参加者を得ているが、相関関係をしめすデータはなく、不明確。
			3 相関関係を示すデータがある	
			1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	10/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	あらゆる機会を通じて学習の機会を提供し、年齢にかかわらず新しいことを学ぶことは、より豊かな人生のための一助となっている。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	くらしを豊かにするために、様々な趣味を持ち、学習の機会を得ることは未来のまちづくり構想方向性に関わっている。
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	31/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
くらしを豊かにするための文化的事業であり、生涯学習の機会の提供のためにも、今後も継続していくべき。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660180

002

【1.基本情報】

事業名	絵本といっしょ(乳幼児読み聞かせ)事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	図書館	
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	15	年度～	年度	根拠法令・関連計画	第3次岐阜市子どもの読書活動推進計画、岐阜市こども計画

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	子どもの健やかな成長を願って、乳幼児から絵本を介して日常的に親子のふれあいを深めてもらおうという、子どもの読書活動、子どもの健全育成、地域による子育て支援を積極的に推進し、心豊かな社会を実現する。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	南・中・北の3保健センターの10ヶ月健康診査時に、受診する親子に対して、図書館と市民ボランティアとの連携により、読み聞かせの大切さをPRし、図書館の本を貸し出す。全国に広まるブックスタート事業と同様の趣旨のもとに展開している。					
事業の 対象	何を	赤ちゃん絵本と離乳食などの育児支援に関する本の貸出・乳幼児期の読み聞かせの大切さの啓発				
	誰に	乳幼児とその親				
	どのくらい	岐阜市内の10ヶ月児全員				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	350	11	2,029	63	2,336	71
パートタイム会計年度任用職員A	111	11	636	63	859	71
パートタイム会計年度任用職員B	55	11	328	63	391	71
計(A)	516	33	2,993	189	3,586	213

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	940	1,079	1,094
決算額(C)	745	841	886
差額(B-C)	195	238	208
執行率(C/B)	79%	78%	81%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	1,261	3,834	4,472

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般財源(D-F)	1,261	3,834	4,472

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	「絵本といっしょ」開催回数		単位	回
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	72	72		72
実績値	11	63		71
達成率	15.3%	87.5%		98.6%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	乳幼児期からの読み聞かせの浸透。絵本を介しての親子のコミュニケーションの深まりが図れる。			
指標	絵本といっしょ事業による新規利用登録者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値（以上）	280	280		280
実績値	43	420		870
達成率	15.4%	150.0%		310.7%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記) 3 ある程度のニーズがあり必要性がある 1 必要性はあまり高くない	乳幼児期からの読み聞かせが親子のスキンシップやその後の読書活動のきっかけに重要とされる中、読み聞かせの大切さをPRするという役割を担っており、ニーズに合っている。
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない 3 市が実施することにより事業効果が高くなる 1 市が実施する必要性はあまり高くない	
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記) 3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している 1 効率化されていない	10か月児健診という既存の機会を活用し、図書館とボランティアの連携により、効率的に実施されている。
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記) 3 相関関係を示すデータがある 1 つながっていない又は不明確	利用登録者数の増加により、利用者数も増加し、図書館利用が促進され、親子のスキンシップや読書習慣の形成につながっている。
	アウトカム目標達成度	10/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である 3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である 1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	親子で絵本の読み聞かせを行うことで、良好な親子関係がつけられれば、家庭円満となり虐待のない社会など、社会課題の解決にもつながる。
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	5	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である 8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である 5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記) 3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記) 1 事業が市の計画に直接的に関係していない	第3次岐阜市子どもの読書活動推進計画、岐阜市子ども計画に位置付けられた事業である。

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	32/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
乳幼児期からの読み聞かせや親子のスキンシップを促す取り組みとして意義があり、事業を継続して実施していく。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660180

_ 003

【1.基本情報】

事業名	図書館資料整備					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	図書館	
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	27	年度～	年度	根拠法令・関連計画	図書館法、図書館の設置及び運営上の望ましい基準

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	市民の知る権利、学ぶ権利を保障するため、教養、調査研究、レクリエーション、日常生活等に資する資料を幅広く収集、整理、保存し、誰もが必要とする情報にアクセスできるようにする。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	資料は図書館サービスの基本であることから、年々多様化する市民の要求に答えるため、購入・寄贈などにより常に新鮮で幅広い蔵書の構築に努める。また市民の生活圏や図書館の利用圏等を考慮し、中央・分館・図書室の連携により効率的な資料提供を行う。					
事業の 対象	何を	図書資料、視聴覚資料、逐次刊行物				
	誰に	岐阜市民をはじめとする図書館利用者				
	どのくらい	約90万冊				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	21,497	676	25,116	780	27,373	832
パートタイム会計年度任用職員A	40,400	4,000	40,400	4,000	48,400	4,000
パートタイム会計年度任用職員B	2,100	420	2,184	420	2,310	420
計(A)	63,997	5,096	67,700	5,200	78,083	5,252

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	94,888	95,505	94,473
決算額(C)	85,448	91,167	86,008
差額(B-C)	9,440	4,338	8,465
執行率(C/B)	90%	95%	91%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	149,445	158,867	164,091

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	2,700	2,200	2,000
決算額(F)	2,700	2,200	2,000
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	100%	100%	100%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	146,745	156,667	162,091

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	購入・受入資料数		単位	冊
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	50,000	50,000		50,000
実績値	47,695	49,622		45,105
達成率	95.4%	99.2%		90.2%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	図書館の利用が促進されることで市民の文化的生活が向上する			
指標	来館者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値（以上）	900,000	900,000		900,000
実績値	747,605	853,766		856,574
達成率	83.1%	94.9%		95.2%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)	
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	新旧の様々な資料を提供することで人々の知的好奇心を満たすことができるため、多数の来館者につながっている。	
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある		
			1 必要性はあまり高くない		
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない		公共図書館を設立し、施設・蔵書・人材を提供することは市が実施する必要がある。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる		
			1 市が実施する必要性はあまり高くない		
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	図書館システムで蔵書や選書データを効率的に管理しており、書誌データで所蔵資料の検索を可能にしている。		
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
		1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	1	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	新しく魅力的な資料を収集していることが来館者増につながっていると思われるが、その因果関係を示せるデータはない。	
			3 相関関係を示すデータがある		
			1 つながっていない又は不明確		
	アウトカム目標達成度	12/15	達成率20ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	課題解決のヒントとなる様々な資料を提供し、利用者の課題解決に役立っている。	
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である		
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない		
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	くらしを豊かにするために、新たな分野の読書体験をもち、学習の機会を得ることは未来のまちづくり構想方向性に関わっている。	
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である		
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)		
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)		
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない		

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
					35/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	様々な市民の要求や社会的動向等が十分に反映されるよう配慮しつつ、文化、教養、調査研究、日常生活等に役立つ資料を幅広く収集することにより、市民の文化的生活向上に資するため、今後も継続するべきである。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660180

004

【1.基本情報】

事業名	郷土資料デジタル化業務委託					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	図書館	
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	27	年度～	年度	根拠法令・関連計画	図書館法、文字・活字文化振興法

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	所蔵する郷土資料を未来へ保存継承するとともに、インターネットを通じて利用者へ公開するため資料のデジタル化を行う。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	紙の郷土資料をデジタル化してインターネット上で閲覧可能にする。					
事業の 対象	何を	郷土資料				
	誰に	岐阜市民をはじめとする図書館利用者				
	どのくらい	毎年約10タイトル				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	159	5	161	5	165	5
パートタイム会計年度任用職員A	121	12	121	12	145	12
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	280	17	282	17	310	17

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	1,000	1,000	1,000
決算額(C)	660	660	627
差額(B-C)	340	340	373
執行率(C/B)	66%	66%	63%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	940	942	937

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	940	942	937

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	デジタルアーカイブ数		単位	冊
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	50	50		50
実績値	16	51		48
達成率	32.0%	102.0%		96.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	図書館の利用が促進されることで市民の文化的生活が向上する			
指標	来館者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値（以上）	900,000	900,000		900,000
実績値	747,605	853,766		856,574
達成率	83.1%	94.9%		95.2%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)	
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	様々な調査研究を行う人にとって郷土資料など貴重な資料を検索して利用することができる。	
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある		
			1 必要性はあまり高くない		
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない		郷土資料など図書館の蔵書であることから図書館がデジタル化する必要がある。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる		
			1 市が実施する必要性はあまり高くない		
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	紙の資料のデジタル化は業務委託し、デジタルデータをデジタルアーカイブシステムに登録している。		
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
		1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	1	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	デジタルアーカイブをきっかけに来館する人もいるが、アウトプットとアウトカムの因果関係を示せるデータはない。	
			3 相関関係を示すデータがある		
			1 つながっていない又は不明確		
	アウトカム目標達成度	12/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	貴重な郷土資料を永続的に保存することが将来の課題解決に間接的に役立つ。	
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である		
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない		
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	くらしを豊かにするために、新たな分野の読書体験をもち、学習の機会を得ることは未来のまちづくり構想方向性に関わっている。	
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である		
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)		
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)		
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない		

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
					35/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	貴重な資料を永続的に保存することが将来の課題解決に間接的に役立つとともにデジタル化することでアクセシブルとなり、市民の文化的生活向上に資するため、今後も継続するべきである。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660180

005

【1.基本情報】

事業名	シビックプライドライブラリー活用事業（みんなの図書館おとなの夜学）					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	図書館	
実施方法	委託(NPO)		補助等の種類		実施主体	NPO法人ORGAN
開始・終了年度	平成	27	年度～		年度	根拠法令・関連計画

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	岐阜ならではの慣習、生活の知恵、歴史的な経緯、地域文化など岐阜の奥深さを図書館から発信するため、市民協働を視野に入れて、市民目線でわかりやすく伝えるための多角的・多分野な講座や展示を開催する。また、岐阜市立図書館から全国に向けて、岐阜の魅力アピールする試みとして、WEB動画を用いて講座の様子を情報発信し、過去の講座をブックレットにする。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	岐阜の地域文化に通じた様々な分野の専門家、その道の第一人者による対談やパネルディスカッションを実施する。					
事業の 対象	何を	岐阜ならではの慣習、生活の知恵、歴史的な経緯、地域文化など岐阜の奥深さを伝えるための多角的・多分野な講座や展示の開催及びWEB動画を用いて講座の様子を情報発信、およびブックレットの制作				
	誰に	一般成人・WEB動画視聴者				
	どのくらい	一般成人(会場定員)+WEB動画視聴者				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	95	3	97	3	99	3
パートタイム会計年度任用職員A	30	3	30	3	36	3
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	126	6	127	6	135	6

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	2,431	2,511	2,471
決算額(C)	2,369	2,369	2,422
差額(B-C)	62	142	49
執行率(C/B)	97%	94%	98%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	2,495	2,496	2,557

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	72	63	67
決算額(F)	52	64	76
差額(E-F)	20	-1	-9
執行率(F/E)	72%	102%	113%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般財源(D-F)	2,443	2,432	2,481

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	開催数		単位	回
	令和4年度	令和5年度		
目標値	6		6	6
実績値	6		6	6
達成率	100.0%		100.0%	100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	岐阜ならではの地域文化など岐阜の文化的資源の深さを市民が知ることができ、シビックプライドの醸成につながる。			
指標	受講者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
目標値(以上)	400		170	170
実績値	112		178	172
達成率	28.0%		104.7%	101.2%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	NPO法人と協働で事業を実施するものであり、市民協働事業推進に寄与している。また、市民のシビックプライドの醸成のための役割を担っており、市民からのニーズに合っている。
	3 ある程度のニーズがあり必要性がある			
1 必要性はあまり高くない				
必要性	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	市民協働事業推進のガイドラインに沿い、NPOとの協働事業として実施している事業である。
	3 市が実施することにより事業効果が高くなる			
	1 市が実施する必要性はあまり高くない			
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	「岐阜にいながら知らなかった岐阜のこと」をコンセプトにした講座の実施である。魅力あるイベントとするため、企画や講師の選定などのアイデアと人脈等が豊富なNPO法人に委託している。NPO法人のメリットを活かした魅力あるイベントが運営でき、職員だけで進めるよりも効率的に実施している。
	3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
	1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	開催回数を確保し、受講者数を増加させている。 アウトプット:開催数6回 アウトカム指標:受講者数150人、実績172人 達成率:115%
	3 相関関係を示すデータがある			
1 つながっていない又は不明確				
	アウトカム目標達成度	11 / 15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	自分たちの手で暮らしやすい街をつくるという主体的な思いである「シビックプライド」を具現化した事業である。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	岐阜市の未来のまちづくり構想 ・シビックプライドの醸成 岐阜市協働のまちづくり指針
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	36 / 50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
おとなの夜学は、「岐阜にいながら知らなかった岐阜のこと」をコンセプトとした岐阜の地で古くから語り継がれてきた人の想いや伝統と新しい感覚が混ざり合うイベントで、市民のシビックプライドを醸成し、住み続けたいと思う人を増やす取組として、中央図書館の開館からR6末まで累計54回開催してきた。毎回参加者から好評を得ており、「岐阜のことを好きになって、まちに関心を持ってもらいたい」というシビックプライドの醸成につながる意義のある事業であるとする。今後も様々な地域に眠っている岐阜市の魅力を掘り起こし、テーマや内容に工夫を凝らして事業を継続して実施する。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号	0660180	006
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	めざせ直木賞作家！ ぼくのわたしのショートショート発表会					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	図書館	
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	27	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	YA世代を中心に幅広い人気のある作家を招き、将来作家を目指すYA世代の子どもたちによる自作短編作品の発表会を行う。市民の小説を書くことへの意欲や、読書意欲、図書館への関心を喚起し、将来岐阜市から直木賞や芥川賞、ノーベル文学賞等の受賞者を生み出す契機とするとともに、図書館のさらなる利用促進を図る。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	YA世代から原稿用紙5枚程度の短編小説を募集、数点を選抜し発表会で発表し、作家からのコメントや交流を行う。また、応募作品を作品集として製本する。					
事業の対象	何を	YA世代からの応募された短編小説				
	誰に	YA世代を含む一般成人、およびWEB動画視聴者				
	どのくらい	一般成人(会場定員)+WEB動画視聴者				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	954	30	966	30	987	30
パートタイム会計年度任用職員A	909	90	909	90	1,089	90
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,863	120	1,875	120	2,076	120

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	2,431	2,511	2,938
決算額(C)	1,805	2,067	2,545
差額(B-C)	626	444	393
執行率(C/B)	74%	82%	87%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	3,668	3,942	4,621

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般財源(D-F)	3,668	3,942	4,621

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	作品募集チラシ		単位	枚
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	35,000	35,000		35,000
実績値	35,000	35,000		35,000
達成率	100.0%	100.0%		100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	YA世代への小説を書くことへの関心や読書意欲、図書館への関心を喚起する。			
指標	応募作品数		単位	件
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値(以上)	150	150		150
実績値	171	148		232
達成率	114.0%	98.7%		154.7%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	5	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	応募作品数が増加傾向にあり、図書館イベントとして認知されている。 応募作品数:R3 162件 ⇒ R6 232件
	3 ある程度のニーズがあり必要性がある			
1 必要性はあまり高くない				
必要性	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	岐阜市子どもの読書活動推進計画で読書活動を推進するための取り組みの一つとして、当該事業を掲げている。YA世代への読書推進を進めるうえで、市立図書館が実施する意義はある。
	3 市が実施することにより事業効果が高くなる			
	1 市が実施する必要性はあまり高くない			
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	発表会の進行や会場設営などを委託することにより、経費の抑制・作業負担の軽減が図られている。
	3 効率化によりミスが防止される、作業負担が軽減されるなど生産性が向上している			
	1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	1	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	作品募集のチラシは、近隣の中学校、高等学校に送付し、事業の周知を図っており、多くの作品応募に繋がっていると考える。
	3 相関関係を示すデータがある			
	1 つながっていない又は不明確			
有効性	アウトカム目標達成度	14/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
	先見性	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	図書館への関心の喚起だけでなく、将来岐阜市から直木賞や芥川賞等の受賞者を生み出す契機として進める事業である。
3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である				
1 将来の課題解決に対する効果はあまりない				
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	岐阜市未来のまちづくり構想 ○子どもと教育を中心とするまちづくり ・公共施設やオープンスペースなど、まちの至る所の多様な地域資源を活かした学びと実践ができる機会や場づくりを推進
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	37/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
YA世代への小説を書くことへの関心や読書意欲、図書館への関心を喚起する事業であり、市民からの関心も高いことから、今後も継続する。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660180

007

【1.基本情報】

事業名	作家と語ろうin岐阜事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	図書館	
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	28	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	市民に作家の作品の魅力を伝え、作品への興味を持ち読書に親しむことの大切さを啓発する。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	普段、作品を通じてしか接することのできない作家を招いて語ってもらうことにより、作家の作品のみならず作家自身の魅力に触れる機会を作る。作家を知り、作品の理解を深め、興味を持つきっかけとなるようなイベントを行う。					
事業の 対象	何を	作家の講演会				
	誰に	市民				
	どのくらい	年に1回				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	159	5	161	5	165	5
パートタイム会計年度任用職員A	101	10	101	10	121	10
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	260	15	262	15	286	15

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	325	325	325
決算額(C)	224	324	324
差額(B-C)	101	1	1
執行率(C/B)	69%	100%	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	484	586	610

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般財源(D-F)	484	586	610

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	開催回数		単位	回
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	1	1		1
実績値	1	1		1
達成率	100.0%	100.0%		100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	生涯学習の機会の提供と、読書推進を図るため			
指標	参加者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値(以上)	500	500		500
実績値	255	262		94
達成率	51.0%	52.4%		18.8%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	会場回覧とZOOM配信を行っているが、会場観覧は定員の5~8割の集客を得ており、参加者の関心の高さがうかがえる。また、来場者アンケートでは79パーセントの「満足」「おおむね満足」の回答を得ている。
	3 ある程度のニーズがあり必要性がある			
1 必要性はあまり高くない				
必要性	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	公共図書館で、特に市立図書館でこういった企画を行うことは、地域の文化の醸成と、生涯学習の機会の提供に資する。
	3 市が実施することにより事業効果が高くなる			
	1 市が実施する必要性はあまり高くない			
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	ZOOM配信を行ったり、LoGoフォームでの受付を行ったりすることで事務の効率化と、利用者への利便性を図っている。
	3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
	1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	1	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	興味を持って事業に参加する層はあるものの、催し物の内容によって結果が左右されるため、回数と参加者のつながりは不明確。
	3 相関関係を示すデータがある			
	1 つながっていない又は不明確			
有効性	アウトカム目標達成度	4 /15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
	先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である
3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である				
1 将来の課題解決に対する効果はあまりない				
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	くらしを豊かにするために、新たな分野の読書体験をもち、学習の機会を得ることは未来のまちづくり構想方向性に関わっている。
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		拡充	25 /50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	この事業は、通常の読書体験では得られない、本の作者の話を聞くという体験を通じて、知的好奇心を満たし、暮らしを豊かにする文化的事業であり、今後も継続していくべき。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号	0660180	008
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	はじめての図書館事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	図書館	
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	令和	5	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市こども計画

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	乳幼児に絵本を配布し、幼い頃から本と触れ合う機会をつくることにより、親子で本に興味を持つきっかけとなり、その後の読書活動を推進し、子どもたちの豊かな人間性を育む。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	図書館、図書室等へ来館し、利用カードを作成した乳幼児に対して、絵本を配布することにより、様々な本に興味をもってもらうきっかけとなり、図書館利用を促進する。					
事業の 対象	何を	絵本				
	誰に	市内在住の令和5年4月以降生まれ、かつ3歳の誕生日までの乳幼児				
	どのくらい	1人あたり1冊				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	225	7	691	21
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	101	10	351	29
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	326	17	1,042	50

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	0	2,647	2,519
決算額(C)	0	2,632	2,022
差額(B-C)	0	15	497
執行率(C/B)	-	99%	80%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	0	2,958	3,064

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般財源(D-F)	0	2,958	3,064

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)）

指標	絵本の配布数		単位	冊
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	-		2,400	2,400
実績値	-		742	2,020
達成率	-		30.9%	84.2%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	登録者の増加により、図書館利用の促進、親子のスキンシップにつながっている。			
指標	乳幼児の利用者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値(以上)	-		55,000	55,000
実績値	-		58,403	63,108
達成率	-		106.2%	114.7%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	令和5年度生まれの約82%に絵本を贈呈しており、ニーズに合っている。
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1 必要性はあまり高くない	
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	子どもに等しく読書の機会を提供することは、市が担うべき事業である。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる	
			1 市が実施する必要性はあまり高くない	
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	利用カードの作成という既存の事務手続きに絵本贈呈を組み込むことで効率的に実施している。	
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している		
		1 効率化されていない		
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	利用登録者の増加により、利用者数も増加し、図書館利用が促進され親子のスキンシップや読書習慣の形成につながっている。
			3 相関関係を示すデータがある	
			1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	10 15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	絵本の贈呈により、親子で読み聞かせを行うことで、良好な親子関係がつけられれば、家庭円満となり虐待のない社会の実現など、社会課題の解決にもつながる。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	5	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	岐阜市子ども計画に位置付けられた事業である。
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	30 50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	絵本の贈呈により子どもに読書の機会を提供し、乳幼児期からの読書環境づくりに寄与しており、継続して実施する。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660210

001

【1.基本情報】

事業名	科学館運営(施設管理・常設展示・プラネタリウム)					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	科学館	
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	55	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	市民の科学に対する興味・関心を高め、科学する心や創造力を育み、合わせて科学教育の普及向上を図る。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	科学技術の進歩や自然のすばらしさを感じ取ることのできる体験展示やプラネタリウムにおける天体解説や番組上映等					
事業の 対象	何を	科学に対する興味・関心				
	誰に	主に市民(子どもから大人まで)				
	どのくらい	月曜日、祝日の翌日および年末年始を除く毎日				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	全天デジタル投映システムをリリースにて導入(R7.3)。					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	43,979	1,383	42,021	1,305	28,952	880
パートタイム会計年度任用職員A	15,069	1,492	17,635	1,746	9,922	820
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	59,049	2,875	59,656	3,051	38,874	1,700

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	137,224	93,371	175,691
決算額(C)	126,313	88,743	164,944
差額(B-C)	10,911	4,628	10,747
執行率(C/B)	92%	95%	94%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	185,362	148,399	203,818

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	46,845	22,279	96,851
決算額(F)	44,592	20,569	89,867
差額(E-F)	2,253	1,710	6,984
執行率(F/E)	95%	92%	93%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	140,770	127,830	113,951

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	開館日数		単位	日
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	308		309	309
実績値	308		309	309(239)
達成率	100.0%		100.0%	100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	科学に対する興味関心を高めるとともに、理科教育の場を提供。			
指標	入館者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値（以上）	50,000		50,000	50,000
実績値	56,534		70,972	66,291
達成率	113.1%		141.9%	132.6%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	毎年5万人以上の方にご利用いただく中、令和6年度は学校等143団体(7,840人)の利用があり理科教育としてのニーズが高い。
	3 ある程度のニーズがあり必要性がある			
1 必要性はあまり高くない				
必要性	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない	社会教育施設として公共が実施する必要性は高く、市内には国や県が運営する同種の施設がないため、市内児童生徒の理科教育の一部として必要性がある。
	3 市が実施することにより事業効果が高くなる			
	1 市が実施する必要性はあまり高くない			
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	施設管理において、受付、警備、清掃といった業務を委託し、人件費等コストの低減に努めている。
	3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
	1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	会館日数が増えれば入館者数も増え、その分成果に繋がる可能性は増えるが、平日の利用実績を見ると検討が必要。
	3 相関関係を示すデータがある			
	1 つながっていない又は不明確			
	アウトカム目標達成度	15 / 15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	科学に興味関心をもつことで、将来的に科学的な研究や企業での開発等に携わる人材育成につながる。
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	方向性「子どもファーストでみんなを笑顔にするまちへ」にかかる事業であるとともに、教育大綱の目指す姿を実現するための事業である。
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)	
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)	
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		拡充	40 / 50	拡充	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	子どもを主体とした探求を核とする自律的学びの充実を図っていくとともに、地域におけるサードプレイスとしての役割、プラネタリウムを活用した市外からの誘客など今後も取り組んでいく。						

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660210

002

【1.基本情報】

事業名	科学館教育活動					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	科学館	
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	30	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	児童生徒の科学分野などに対する知識・技能と創造力の啓発や一般市民の学習意欲の向上につなげる					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	各種科学講座の実施、サイエンスショー、観望会、出前講座等の実施					
事業の 対象	何を	科学に関する工作・実験、天体観測等				
	誰に	主に小・中学生				
	どのくらい	サイエンスショーは、土日及び学校休業日、講座は定期的に				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	16,790	528	19,417	603	21,155	643
パートタイム会計年度任用職員A	4,010	397	4,697	465	7,817	646
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	20,800	925	24,113	1,068	28,971	1,289

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	4,962	3,768	4,334
決算額(C)	2,230	2,911	2,992
差額(B-C)	2,732	857	1,342
執行率(C/B)	45%	77%	69%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	23,030	27,024	31,963

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	655	923	1,219
決算額(F)	375	663	808
差額(E-F)	280	260	411
執行率(F/E)	57%	72%	66%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	22,655	26,361	31,155

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	講座数		単位	回
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	103		104	99
実績値	103		104	99
達成率	100.0%		100.0%	100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	体験型学習を通じ、知識や技能向上に繋げるとともに、天文に関する興味を深め自立的な学びに繋げる。			
指標	講座参加者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値(以上)	1,978		1,964	2,016
実績値	1,682		1,515	1,714
達成率	85.0%		77.1%	85.0%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	5	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記) 3 ある程度のニーズがあり必要性がある 1 必要性はあまり高くない	講座の参加者も多く、中には定員を大きく上回る応募がある講座もある。また、サイエンスショー(22,286人)、観望会(7,237人)など多くの方が参加。
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない 3 市が実施することにより事業効果が高くなる 1 市が実施する必要性はあまり高くない	常設展示やプラネタリウム等科学館の基幹事業に付加する形での年齢やレベルに応じた講座やサイエンスショー、観望会であることから、高い効果が期待でき市が担う必要性は高い。
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記) 3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している 1 効率化されていない	講座によって、科学館職員が講師となる講座と、より専門的に外部の講師に依頼する講座と分けるなか、地域の学校等の教授や教員などの連携等も含め効率的に実施。
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記) 3 相関関係を示すデータがある 1 つながっていない又は不明確	ほとんどの講座のアンケートによる満足度は高く、受講者がタイアップしている高校へ進学するなどにつながる事例もある。
	アウトカム目標達成度	11/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)	
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である 3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である 1 将来の課題解決に対する効果はあまりない	次代を担う児童生徒の科学分野などに対する知識及び技能と創造性の啓発や一般市民の学ぶ意欲の向上に繋がる。
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である 8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である 5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記) 3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記) 1 事業が市の計画に直接的に関係していない	方向性「子どもファーストでみんなを笑顔にするまちへ」にかかる事業であるとともに、教育大綱の目指す姿を実現するための事業であるとともに、生涯学習として楽しく学ぶことを通じ心身ともに健康で生活の質を高めることにつながる事業。

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	36/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
講座のテーマを常に見直しながら参加者のニーズに合わせていくとともに、天文に関する学びを充実していく。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号

0660210

003

【1.基本情報】

事業名	ぎふサイエンスフェスティバル					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	科学館	
実施方法	補助等		補助等の種類	その他負担金	実施主体	ぎふサイエンスフェスティバル実行委員会
開始・終了年度	平成	24	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	広く市民の科学に関する興味関心を高めるとともに、理科好きな児童生徒に更なる科学体験を提供することを目的とする。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	講演会及び科学実験工作展示を行う。					
事業の 対象	何を	通常では体験できない科学に関する講話や実験工作の体験				
	誰に	主に市民(子どもから大人まで)				
	どのくらい	年1回				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	会場となる文化センターが工事のため、メモリアルセンターで実施					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,272	40	1,288	40	987	30
パートタイム会計年度任用職員A	303	30	303	30	363	30
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,575	70	1,591	70	1,350	60

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	2,000	2,000	2,000
決算額(C)	1,938	1,907	1,676
差額(B-C)	62	93	324
執行率(C/B)	97%	95%	84%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	3,513	3,498	3,026

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般財源(D-F)	3,513	3,498	3,026

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)）

指標	ブース出展		単位	ブース
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	40	40		40
実績値	44	40		39
達成率	110.0%	100.0%		97.5%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	科学への興味関心のきっかけづくりのイベントとして、科学館への来場、科学に関する学びに繋げるとともに、高等教育機関を含めた団体を知るきっかけに繋げる。			
	指標	入場者数		単位
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値(以上)	3,000	2,000		2,000
実績値	1,695	1,850		1,387
達成率	56.5%	92.5%		69.4%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)	
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	5	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	一度に多くの実験や体験ができるイベントとして、来場者向けのアンケート調査において満足度が高く(95%以上)、また、出展する団体からも活動の場としてのニーズが高い。	
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある		
			1 必要性はあまり高くない		
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない		通常の科学館事業による学校や団体等との連携を生かしたイベントであり、出展規模等事業効果は高い。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる		
			1 市が実施する必要性はあまり高くない		
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	実行委員会形態により、当日の役割分担等他機関の協力を得るとともに、科学館ボランティアの活用も図っている。		
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
		1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	1	5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	出展規模が増えれば、受け入れるキャパが増え、来場者の満足度の向上や興味関心へのきっかけには繋がるが、科学館の来場に繋がった等のデータは持ち合わせていない。	
			3 相関関係を示すデータがある		
			1 つながっていない又は不明確		
	アウトカム目標達成度	9/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	イベントを通して、科学に対する興味がわくことで、科学館への来場や高校等での学び、研究開発など可能性がある。	
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である		
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない		
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	方向性「子どもファーストでみんなを笑顔にするまちへ」にかかる事業及び、教育大綱の目指す姿を実現するための事業であるとともに、生涯学習として楽しく学ぶことを通じ心身ともに健康で生活の質を高めることにつながる事業。	
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である		
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)		
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)		
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない		

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		拡充	32/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
<p>広く市民に、科学に触れる機会を提供することができるイベントであり、多くの団体等との協働で行うことから意義は高く、今後も継続して実施していく。</p>							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号	0660210	004
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	夏の特別展					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	科学館	
実施方法	補助等		補助等の種類	その他負担金	実施主体	実行委員会
開始・終了年度	平成	10	年度～		年度	根拠法令・関連計画

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)	夏休みの家族のレジャーイベントとして、また科学館への来場を促す目玉事業として趣向を凝らした期間限定の展覧会を実施。					
内容(アクティビティ) (手段・手法など)	岐阜新聞社と実行委員会形式をとり、毎年テーマを変えながら企画・運営を行う。					
事業の 対象	何を	科学への興味・関心を高めるとともに、科学館の展示物では味わえない体験や思い出の場を提供				
	誰に	市民及び市外の子どもとその家族				
	どのくらい	夏休み期間の40日程度				
前年度からの改善点 (継続事業の場合)	令和5年度のテーマである空や宇宙から、より子どもたちの興味・関心をひく川魚や海の生き物をテーマとし、他部署との連携に意を用い、環境保全の取組を紹介するなど、SDGsについても学べる展覧会とした。					

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,434	108	3,606	112	2,566	78
パートタイム会計年度任用職員A	818	81	848	84	944	78
パートタイム会計年度任用職員B	305	61	0	0	0	0
計(A)	4,558	250	4,455	196	3,510	156

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	9,000	9,000	11,000
決算額(C)	9,000	7,185	11,000
差額(B-C)	0	1,815	0
執行率(C/B)	100%	80%	100%

(3)総コスト

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
総事業費(D)=A+C	13,558	11,640	14,510

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	9,000	9,000	11,000
決算額(F)	9,463	3,627	8,640
差額(E-F)	-463	5,373	2,360
執行率(F/E)	105%	40%	79%

【5.収支(インプット)】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
市負担額一般 財源(D-F)	4,095	8,013	5,870

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物(サービス)

指標	開催日数		単位	日
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	41	42		42
実績値	41	42		42
達成率	100.0%	100.0%		100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	夏休みの家族で子供を連れていく場所の提供。			
指標	来場者数		単位	人
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値(以上)	30,000	30,000		30,000
実績値	29,861	14,244		19,803
達成率	99.5%	47.5%		66.0%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準	根拠となるデータ等・評価の説明 (評価基準に適合することを示す具体的な数値等)	
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5 ニーズが高く必要性が高い(データを明記)	毎年特別展を楽しみに期待される家族も多く、来場者アンケート調査では満足度も高く(90%以上)必要性は高いが、目標の来場者には近年届いていない。	
			3 ある程度のニーズがあり必要性がある		
			1 必要性はあまり高くない		
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	3	5 制度の主旨等から市以外が実施できない		科学館で行う夏季限定の特別な展覧会であり、来場者を科学館利用者へと繋げることが期待できるため事業効果は高い。
			3 市が実施することにより事業効果が高くなる		
			1 市が実施する必要性はあまり高くない		
効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5 効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している(金額を明記)	かつては期間限定でアルバイトをお願いしていたが、業務委託や科学館ボランティアの活用など効率化を図っている。		
		3 効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している			
		1 効率化されていない			
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3		5 データの比較などにより、因果関係を示すことができる(データの分析内容を明記)	会期日数により全体の来場者数は増えるが、一日平均で見ると7月の数字は思ったより伸びていない。
				3 相関関係を示すデータがある	
				1 つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	9/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	3	5 将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	科学館への来場に繋がる事業であり、来場が増えれば科学館の目的達成に繋がる。	
			3 将来の課題解決に間接的に結びつく事業である		
			1 将来の課題解決に対する効果はあまりない		
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である		科学館の来場に資する目玉事業であり、間接的ではあるが、結果として方向性「子どもファーストでみんなを笑顔にするまちへ」、教育大綱の目指す姿を実現するための事業である。
			8 未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である		
			5 事業が市の各種計画に定められている(計画名を明記)		
			3 事業の一部が市の計画に関係している(計画名を明記)		
			1 事業が市の計画に直接的に関係していない		

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	32/50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	科学館事業の中では収益率の高い事業であり、テーマ設定や会期日数、料金設定などの検討、広報改善など目標人数達成を図るとともに、より来場者数を増やせるような投資も検討していく。						